

令和7年度事業報告書

社会福祉法人 合志市社会福祉協議会

目 次

全体総括	1
実施事業一覧表	3
(1) 総務課	11
(2) 地域福祉課	16
(3) こども支援センター	34
(4) 生活支援相談センター	48
(5) 介護支援相談センター ケアプランセンター班	53
包括支援センター班	56
(6) 介護サービス課 デイサービスセンター班	58
ヘルパーステーション班	61
(7) 障がい者支援センターれんがの家 児童発達支援班	63
障がい相談支援班	66
基幹相談支援センター班	67
(8) 障がい者支援センタースピーシアれんが 放課後等デイ班, 生活介護班	68
(9) このみ坂保育園	72

総 括

法人理念である「やさしくておだやかな福祉社会の創造」の実現を目指し、すべての事業は地域福祉の推進のために実施するという方針のもと、合志市をはじめ、地域住民、民生・児童委員等関係機関と連携しながら各種事業を展開した。

本市は、人口増加を続ける自治体であるものの、少子高齢化の進行や地域のつながりの希薄化に加え、生活困窮、ひきこもり、認知症、権利擁護など複合的な生活課題を抱える世帯が増加している。このような状況の中、使命である「地域福祉の推進」のため、子育て支援、各分野の相談支援、介護・障害・保育サービスを相互に連携させながら、合志市民の生活課題に寄り添った事業を展開した。

地域福祉活動の推進においては、第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、地域で支え合う仕組みづくりを進め、地域福祉コーディネーターと生活支援コーディネーターが連携して、困窮やひきこもり状態にある方の社会参加を支援する「スモールステップ」の取組を実施した。公益法人プラットホームに参画する市内事業所と協働し、施設業務（デイサービス・リネン交換・売店等の補助業務）など、21件を紹介し、うち8件が就労につながるなど社会参加の機会の創出につながった。

また、福祉教育では学校や企業、地域団体等を対象に延べ27回、2,008人の参加があり、地域福祉への理解促進と担い手の育成に寄与した。高齢化に伴い全国的な地域課題でもある認知症対策としては、西合志中央小学校区でのささえ愛模擬訓練や認知症サポーター養成講座、認知症予防教室などを実施し、地域における理解啓発と見守り意識の向上を図った。

子育て支援の分野では、地域子育て支援センターにおいて年間4,594件の相談・支援を行い、入園や復職に関する情報提供などを通じて、子育て家庭の不安軽減と子育てと就労の両立支援につなげた。

西児童館や放課後児童クラブでは、体験活動や多世代交流を取り入れた事業を展開し、市内公共施設を活用するなど地域の中で子どもたちの健全育成を支える取組を進めた。

施設改修により保育室を4室へ拡充した病児・病後児保育では、年間延べ657人の利用につながり感染対策の徹底と事前登録システムの活用により安全で利用しやすい環境を整備した。また、ファミリーサポート事業では年間791件の活動があり、協力会員養成講座や交流会を実施し、地域で支え合う子育て支援体制の充実に努めた。このみ坂保育園では、90名の園児を預かっている。異年齢保育やつどいの広場事業に取り組むとともに、ボランティアグループ男のサロンとの農園活動やデイサービスセンターや地域の高齢者との交流活動を推進した。

相談支援の分野では、生活困窮者支援、高齢者支援、障がい児者支援、子育て支援の各専門相談業務を通じて、生活課題を抱える世帯へ寄り添った相談対応に努めた。

生活困窮者自立支援事業では、新規相談298件、月25件と国が定める目標値（月16件）を大幅に超える相談に対応した。就労につながったケースも31件あり、食料品・衣類等の支給など400件を超える緊急支援を行い、地域におけるセーフティネットとしての役割を果たした。さらに、新たに開始した「ひきこもり支援事業」では新規相談57件、電話・訪問等666件の支援を行い、居場所支援や家族向け講演会などを通じて地域における支援体制の構築を進めた。

地域包括支援センターサブセンターでは、職員体制の強化を図り、年間2,000件を超える相談に対応するとともに、成年後見制度の利用支援22件、高齢者虐待対応17件など権利擁護の取組を行った。

介護サービスやインフォーマルサービス等の計画・調整を行うケアプランセンターでは、土日祝・夜間など営業時間外に対応できるよう24時間体制を敷いており、月130名を超える利用者の支援を行った。

本年度、新たに開設した基幹相談支援センターでは、複合的課題を抱える困難ケースに対し関係機関と連携した伴走支援を行い、地域の相談支援体制の中核として機能強化を図った。

指定相談支援では、障がい者計画相談226件、障がい児計画相談415件の対応を行い、合志市における障がい児者の相談機能を維持するとともに、各種加算の適切な管理により安定した事業運営を確保した。

介護サービスの分野では、通所介護や訪問介護など在宅生活を支えるサービスを提供し、高齢者や障がいのある方が住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援した。

ふれあい館デイサービスセンターでは要支援者を対象とした第一号通所事業、要介護者を対象とした通所介護事業を実施している。通所介護では7月から営業日を週6日から5日へ見直した。個別機能訓練をはじめ季節行事、外出活動を実施するとともに、このみ坂保育園児やキッズクラブ、障がいのある方との多世代交流にも取り組んだ。また、障がいがある方を対象とした基準該当生活介護では利用者の継続利用を支援したほか、みどり館で実施していた通所型サービスAでは、調理実習や買い物外出など自立支援につながる活動を実施した。本事業は、本会での営業は年度末で終了し、今後は他事業所が引き続き実施する。

訪問介護では延べ1,576件の利用があり、身体介護や生活援助を通じて自立支援と重度化防止に取り組んだ。また、障がいのある方への訪問支援では延べ569件の利用に応じ、重度訪問介護や移動支援などを通じて社会参加の機会の確保を図った。

一方で、介護人材の確保が困難な状況が続いており、営業日の見直しや運営体制の調整を行いながら事業を継続している。

障害福祉サービスの分野では、未就学児童から成人までのライフステージに応じた支援を実施した。

児童発達支援(定員10名)では一日平均8.6人の利用があり、個別支援と保護者支援を通じて子どもの発達を支援した。

放課後等デイサービス(定員15名)では一日平均14人の利用があり、5領域の視点に基づく個別支援や作業療法士による専門的支援を実施した。地域活動支援センターでは延べ1,000人を超える利用があり、交流の場の提供を通じて社会参加や居場所づくりに取り組んだ。

生活介護事業(定員7名)では一日平均6人の利用があり、農作業や合志市から委託された記章リボン制作など利用者の役割づくりに努めるとともに、利用ニーズの増加に対応するため定員を9名へ見直し受入体制の強化を図った。



放課後等デイサービスでの夏祭り

地域づくりの担い手であり受け手でもある住民とともに福祉活動の推進に努め、生活課題を抱える住民に寄り添った相談や福祉サービスの提供を通じて、地域における支え合いの仕組みづくりを進めることができた。一方で、福祉制度の改正への対応や困りごとの多様化・複雑化、福祉専門職の不足など、本会を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にある。事業の見直しや再編を進めながら組織力の強化に努め、持続可能な組織運営を図り、地域福祉の中核的な担い手として、誰もが安心して暮らすことができる「やさしくておだやかな福祉社会の創造」の実現に向けて取り組んでいく。

項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
令和7年度 事務事業の実施方針		課 名	総 務 課	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
組織経営管理	1	経営組織運営管理	1	評議員会の運営
			2	評議員選任・解任委員会の運営
			3	理事会の運営
			4	監事監査の実施(上半期、決算時及び必要時)
	2	社外監査への対応	5	社会福祉法人指導監査
			6	合志市財政援助団体監査
			7	その他事務事業監査
	3	苦情解決体制整備	8	福祉サービス第三者委員の設置
			9	苦情解決責任者、受付窓口の整備
			10	情報公開制度の整備
			11	個人情報保護体制の整備
	4	人事・労務管理業務	12	人事評価制度実施にむけた準備業務
			13	人事管理システム業務
			14	人材交流業務
			15	社会保険労務士による労務指導
			16	市地域包括支援センター出向業務
	5	就業支援業務	17	福利厚生支援業務(健診、被服貸与等)
			18	ヘルスケア推進業務(産業医との連携)
			19	特定求職者就労促進業務
			20	職員研修、資格取得支援業務
			21	職員互助会支援業務
組織経営管理	6	安全管理業務	22	安全運転管理者設置及び安全運転管理推進事業
			23	産業医及び衛生管理者による労働安全衛生体制の確立
			24	拠点施設防火管理者の設置、自主防災体制の整備
			25	防犯訓練、防犯設備の整備
	7	財務管理業務	26	経営戦略事業(課長会の実施)
			27	資産管理(償却資産の補修保全)
			28	積立資産管理(投資先選定と果实管理)
			29	適正な会計処理に向けた、公認会計士による会計事務指導(毎月)
	8	事業管理業務	30	事業計画策定(事業統括管理)
			31	予算管理(予算との差異分析)
			32	施設整備計画の策定
			33	事務事業評価の推進
			34	福祉事業における情報処理技術(ICT)の活用
	9	指定管理施設管理業務	35	合志市保健福祉センターふれあい館指定管理業務
			36	合志市老人憩の家指定管理業務

項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
令和7年度 事務事業の実施方針		課 名	地域福祉課	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
地域福祉推進事業	10	(福祉課・委)地域支えあい推進事業	37	第4期合志市地域福祉計画、地域福祉活動計画の推進
			38	地域福祉コーディネーター設置事業(4中学校区)(個別ニーズ調査・情報提供事業)
			39	重層的支援体制整備事業(参加支援・アウトリーチ)
			40	地域福祉座談会開催、地域状況・課題把握事業
			41	避難行動要支援者システム管理事業
			42	民生委員児童委員協働事業
			43	シングルシルバー事業(民生委員助成:日赤募金からの助成事業)
			44	安心ほっとライン設置推進(命のバトン)
			45	各種福祉団体助成事業
			46	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(地域公益活動推進プラットフォーム)
			47	シニア活動の各種・多方面からの促進(社会貢献活動:聞き書き、ブレンド珈琲倶楽部等)
災害ボランティアセンター設置	11	災害ボランティアセンター設置事業	48	災害ボランティア養成講座
			49	災害ボランティアセンター設置訓練(職員・一般含)
地域福祉財源確保事業	12	地域福祉活動財源推進事業	50	社会福祉協議会会員募集の推進(一般会員・賛助会員・法人会員)
			51	活動寄付・募金の募集(日赤募金)
			52	活動寄付・募金の募集(共同募金)
			53	共同募金運営委員会・審査委員会の実施
赤い羽根共同募金事業	13	安心生活サポート事業	54	ぽっかぽかサポート個別利用会員登録業務
			55	ぽっかぽかサポート協力会員個人・団体登録推進(サポーター養成・フォローアップ講座)
			56	ぽっかぽかサポート生活困窮者、(委:環境衛生課)高齢者ゴミだし支援事業
			57	ぽっかぽかサポート他事業連携(ファミリーサポート)
	14	ボランティアセンター・活動育成事業	58	ボランティアセンター設置業務(情報発信LINE構築・管理業務含)
			59	ボランティア体験実習支援
			60	ボランティア活動用品貸し出し業務
			61	視覚障がい者向け情報提供事業(音声訳CD・再生機器プレクストーク提供)
			62	各種ボランティア養成講座(入門講座等)
			63	子育てサロン等地域組織化助成活動
	15	老人福祉活動費	64	地域見守り(歳末)支援事業(民生児童委員との協働)
	16	児童・青少年福祉活動	65	地域食堂ネットワーク事業(福・委)
			66	小中高生職場体験実習支援
			67	ワークキャンプ事業(小学生)
			68	ボランティアスクール、福祉教育
			69	ボランティア協力校推進事業(16校)
			70	オモイカタルバ(各種青少年ボランティア、居場所づくりLINK共同事業:すずかけベース)(福・委)

項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
赤い羽根共同募金事業	17	福祉育成・援助活動事業	71	福祉イベント推進事業(eボッチャ等)
			72	地域福祉推進助成事業(ボラ連・民児協)
			73	モデル地区社協組織化活動助成推進事業(地協)(福・委)
			74	小地域組織化推進事業(地域支え合い活動)
			75	教育教材の資料作成(365歩の脳活③)
	18	障がい者福祉活動事業	76	ヘルプカード事業
介護予防・生活支援事業	19	〈高齢者支援課/包括・委〉 地域住民グループ支援事業(サロン事業)	77	地域サロン活動推進・助成事業
			78	サロンボランティア育成・研修事業
			79	独居高齢者等訪問事業(民生児童委員協働)
			80	各種サロン普及事業 (体操サロン・趣味活動サロン 脳活きサロン等)
			81	男の井戸端サロン、木工やろう会、ブレンド珈琲倶楽部 男の出前キッチンかせるモン協働事業
	20	〈高齢者支援課/包括・委〉 認知症予防 「脳活き生き教室」事業	82	脳活きサポーター・送迎ボランティア養成講座
			83	脳活き生き教室開催・通常版(ふれあい館他)
			84	脳活き生き教室開催・地域版(須屋・みどり館・泉ヶ丘)
			85	脳活き生き各種(講話・体力検定・ウォークラリー・青空教室)
			86	認知症予防評価事業(ファイブ・コグ)
介護予防・生活支援事業	21	〈高齢者支援課/包括・委〉 認知症地域支援体制構築 等推進事業	87	認知症サポーター・脳ケアルームサポーター養成事業
			88	認知症理解啓発推進事業(講演会・フォーラム等)
			89	ささえ愛ネットワーク模擬訓練(徘徊模擬訓練)
			90	認知症関連地域支援組織化事業 (ささえ愛隊協働・チームオレンジの結成)
			91	脳ケアルームの開催
			92	認知症カフェ(ありがとうカフェ)・家族のつどいの開催
			93	ささえ愛メール配信・LINE配信事業
介護予防・生活支援事業	22	〈高齢者支援課/包括・委〉 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	94	終活講座、フォローアップ講座の開催
			95	スマホ講座、フォローアップ講座の開催
			96	農園活動、フォローアップ講座の開催
			97	木工教室、男性の料理教室フォローアップ講座の開催
			98	生きがい特別講座の開催
	23	地域の絆づくり推進事業	99	シニア活動の各種多方面からの促進(48番の事業を含む)
	24	(高齢者支援課・委) 生活介護支援サポーター 養成事業	100	生活・介護支援サポーター養成・登録管理事業
			101	元気応援サポーター養成・登録管理事業
	25	(高齢者支援課・委) 家族介護教室	102	家族介護教室事業(スーパー・サポーター認定)
	26	(高齢者支援課・委) 生活支援体制整備事業	103	生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第1層)
			104	生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第2層)
			105	買い物支援(お出かけ応援プロジェクト)

項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
相談体制整備事業	27	(総務課・委)総合相談事業	106	法律相談(ふれあい館) 行政書士・行政心配ごと相談(ふれあい館)
広報啓発事業	28	地域福祉広報強化事業	107	ほっとラインの発行(年12回)
			108	ホームページ運営
			109	SNS開設運営(フェイスブック、ツイッター、YouTube)
	29	機動的広報事業	110	出前講座・職員派遣事業(はってん組、各種講座等)
			111	視察研修受入事業
			112	社会福祉関係講習会講師派遣
人材育成事業	30	人材育成事業	113	社会福祉士育成支援事業
			114	教職員福祉体験実習支援事業

令和7年度 事務事業の実施方針		課 名		こども支援センター	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称	
地域子育て支援センター事業 (地域子育て相談機関(利用者支援事業))	31	子育てに関する相談・援助事業(利用者支援事業)	115	子育てに関する相談職員(利用者支援専門員)配置・相談対応	
			116	子育て関連情報提供・ネットワーク構築	
	32	子育て親子の交流促進事業	117	親子の集いの場の提供(あかぐみ)	
			118	就園前の親子の体験活動(わっこくらぶ)	
			119	障がいを持つ親子の支援(おもちゃ図書館)	
	33	親子の育ち支援事業	120	同じ悩みをもつ親子の集いの場(ソインズ)	
			121	子育てに関する講習会の実施(講演会・離乳食教室)	
			122	父親の育児促進	
			123	親子の絆づくりプログラム実施(年4回)	
	34	地域の子育て力育成事業	124	子育てサロン育成支援	
			125	地域の子育て支援者育成(子育てサロン)	
			126	子育て交流事業(異世代交流・交流運動会)	
	35	出張ひろば(出張相談会)	127	子育てに関する相談職員配置	
			128	子育てに関する個別の相談対応・情報提供	
			129	身近な場所での親子の集いの場の提供	
			130	子育て交流事業(異世代交流・交流運動会)	
児童センター事業	36	児童館設置事業	131	安心な居場所の提供(遊びの場開放・ちょこっとタイム)	
			132	定期点検・避難訓練実施	
	37	子育てに関する相談・援助事業	133	児童厚生員配置、スキルアップ研修	
			134	子育て関連情報提供	
			135	関係機関との連携体制	

項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
児童センター事業	38	健全育成(個別・集団)事業	136	遊びによる子どもの育成と子育て支援
			137	児童福祉週間特別事業
			138	異世代交流促進事業(クリスマス交流音楽祭 キッズフェス)
			139	ボランティア育成
			140	自然体験・食育活動・あぐりっこくらぶなど
	39	体力増進事業	141	体力増進指導の専門員による指導
	40	地域組織化活動育成事業	142	子育てネットワークの構築(西児童館クラブ)、子育てサークル育成支援
	41	年長児童育成事業	143	地域福祉課連携中高生居場所づくり及び音楽スペース開放
			144	中高生ワークキャンプ(赤ちゃんふれあい体験)
ファミリーサポートセンター事業	42	アドバイザー設置事業	145	多様化する相談と安全な利用を提供するための職員スキルアップ
			146	相談、会員登録、会員管理、援助活動調整業務
	43	協力会員養成及び育成事業	147	提供(協力)会員養成講座・フォローアップ研修実施
			148	事業推進のための会員募集及び啓発・広報活動
			149	会員交流促進(全体交流会)
	44	緊急サポート事業(病児・宿泊支援)	150	医療機関との連携体制強化
			151	提供(協力)会員育成
病児保育事業	45	病児保育事業(すこやか)	152	看護師・保育士配置による保育看護業務
			153	利用登録・広報活動及び定期的職員研修の実施
			154	感染予防・環境整備の実施
			155	医療機関との連携体制整備強化
	46	育児に関する相談・情報提供事業(すこやか)	156	定期的健康育児相談(毎週)と情報提供及びすこやか通信の発行
放課後児童健全育成事業	47	学童保育事業(キッズクラブ・くすの木クラブ)	157	放課後児童支援員配置及び職員研修実施
			158	環境整備・避難訓練実施
	48	発達に応じた育成支援事業	159	自主性、社会性及び創造性の向上と生活習慣確立支援
			160	障がい児支援
			161	保護者・関係機関等との連携体制強化 ICT化による情報共有及び発信強化
ひとり親家庭等日常生活支援	49	生活援助・子育て支援事業	162	家庭生活支援員派遣業務
			163	関係機関との連携体制
子育て短期支援事業	50	緊急的な児童預かり支援事業	164	関係機関との連携体制
ふらっとホーム太陽事業	51	地域活動促進事業	165	ボランティア育成、地域交流促進(出張子育てひろば)
子育て世帯訪問支援事業	52	生活援助・子育て支援事業	166	子育て世帯訪問支援員派遣業務
			167	こども家庭センターとの連携体制

項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
令和7年度 事務事業の実施方針		課 名		生活支援相談センター
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
自立相談支援事業	52	自立相談支援事業	166	窓口及び訪問(アウトリーチ)での相談対応業務
			167	就労準備支援事業(任意事業との連携)、就労支援業務
			168	家計相談支援事業(任意事業との連携)
			169	子どもの学習支援事業(任意事業との連携)
			170	緊急支援業務(食糧・ライフライン維持・住居など)
ひきこもり支援ステーション事業	53	ひきこもり支援推進事業	171	相談支援業務
			172	居場所づくり
			173	支援連絡協議会の設置及びネットワーク構築
生活福祉資金貸付事業	54	福祉資金貸付事業	174	生活福祉資金貸付事業(熊本県社会福祉協議会受託業務)
			175	新型コロナウイルス感染症特例貸付債権管理業務
			176	福祉金庫貸付事業
権利擁護	55	地域福祉権利擁護事業	177	相談支援、支援計画の作成
			178	生活支援員の養成・指導及び監督
			179	福祉サービス利用援助、日常生活金銭管理
	56	法人後見事業	180	適正な後見業務を担保する運営委員会の実施
			181	成年後見人等受任
	57	市民後見人育成事業	182	市民後見人養成講座修了者フォローアップ(今年度対象者なし)
	58	制度外支援	183	制度外支援(死後事務等)の研究

令和7年度 事務事業の実施方針		課 名		介護支援相談センター
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
地域包括サブセンター設置事業	59	〈高齢者支援課/包括・委〉 地域包括支援センター	184	地域包括支援センターサブセンター運営
介護保険居宅介護支援事業	60	指定居宅介護支援事業	185	指定居宅介護支援
			186	介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント(委託)
			187	介護認定訪問調査支援
	61	福祉用具貸出事業	188	福祉用具貸出事業

項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
令和7年度 事務事業の実施方針		課 名		介護サービス課
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
通所介護事業	62	(委)総合事業	189	通所型サービスA
	63	通所介護事業	190	指定第1号通所事業
			191	指定通所介護事業
			192	基準該当生活介護サービス
訪問介護事業	64	(委)訪問型サービスA業務事業	193	訪問型サービスA支援事業
	65	(委)認知症高齢者家族やすらぎ支援事業	194	認知症高齢者家族やすらぎ支援事業
	66	訪問介護事業	195	指定訪問介護事業
			196	日常生活総合事業
			197	有償ホームヘルプサービス事業(制度外支援)
居宅介護等事業	67	障がい者訪問支援事業の実施	198	ホームヘルパー派遣事業の実施
			199	重度訪問介護事業の実施
			200	同行援護事業の実施
			201	地域支援事業移動支援事業の実施

令和7年度 事務事業の実施方針		課 名		障がい者支援センターれんがの家・スペーシアれんが
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
地域活動支援センター	68	創作的活動・生産活動(自己実現プログラム) (自立支援プログラム)	202	陶芸
			203	手芸・木工クラブ等
	69	社会との交流を促進する活動(社会参画プログラム)	204	地域イベントへの参加促進
			205	高齢者サロンとの交流事業の開催
	70	地域住民へのボランティアの育成及び地域啓発活動	206	手話教室の開催
			207	広報「れんがだより」の発行
相談支援	71	指定一般相談支援事業	208	指定一般相談支援事業所(地域移行・地域定着)の設置運営
	72	指定特定相談支援事業	209	障害者相談支援事業所の設置運営
			210	障害児相談支援事業所の設置運営
	73	合志市相談支援事業	211	地域障がい者支援相談事業の受託運営
			212	合志市障がい者虐待防止センターの受託運営
			213	地域生活支援拠点等整備事業の実施
	74	基幹相談支援センター事業	214	合志市障がい者基相談支援センター受託運営
通所支援	75	障がい児通所事業所の設置経営	215	就学前児童発達支援事業の実施
	76	障がい児通所事業所の設置経営	216	指定放課後等デイサービス事業の実施(重心児を含む)
			217	就学期日中一時支援事業
	77	障がい者通所事業の設置経営	218	指定生活介護事業

項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
令和7年度 事務事業の実施方針	課 名		このみ坂保育園	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
保育園の運営	78	通常保育事業	219	通常保育事業
			220	異年齢保育事業
			221	体力増進事業
			222	食育推進事業
	79	その他の事業	223	障がい児保育事業
			224	延長保育事業
			225	一時保育事業(自主事業)
	80	地域子育て拠点事業(ひろば型)	226	家庭的保育を行う方への支援事業
			227	保育所体験交流事業

令和7年度 事業報告書

担 当 課	班
総務課	総務施設班、人事班、経理班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 組織運営状況 (重要事項の決議:理事会、評議員会審議事項、監事監査の実施)

- ・任期満了に伴う役員及び評議員候補者の推薦
- ・令和6年度事業報告及び決算報告
- ・令和7年度補正予算の審議(2回)
- ・令和8年度年度事業計画、社会福祉事業会計当初予算の審議
- ・評議員選任・解任委員の選出(外部委員:2名、監事:1名、職員:1名 計4名)
- ・規則規程(定款、就業規則、育児介護休業、給与退職手当に関する規程)の改正
(経営適正化の推進:監査、社内経理等事務指導の実施)
- ・監事による監査(2回)
- ・公認会計士事務所による事務指導(毎月)

(2) 人事労務状況(法人全体)

・職員数 (数字)は割合

正規職員	任期付職員	嘱託職員	臨時職員	登録職員	合 計
73人(35.3)	1人(0.4)	29人(12.3)	74人(31.5)	48人(20.4)	235人(100)

・入局及び退職

入 局			退 職		
常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計
7人	13人	20人	4人	21人	25人

(3) 財務状況

本業の福祉事業である事業活動収入は、9億0478万6千円。施設整備等収入16万円、投資有価証券売却収入及び積立資産取崩収入2088万7千円を加えた収入の総額は、9億2583万3千円であった。一方、事業活動支出は、8億6336万9千円。固定資産取得費、退職給付引当資産支出等を加えた支出総額は8億9901万9千円で、差異2681万4千円であった。

損益状況(事業活動計算書)では、サービス活動収益対経常は2917万1千円の増益であった。なお、事業活動収入に占める人件費比率が76パーセントとなっており、従事する職員の処遇改善も比率上昇の一因となっている。とりわけ他事業所と競合する事業の事業効果や収益状況といった現状分析が必要である。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) 適切な労働時間に基づく労務管理、人事評価制度の再構築と運用
- (2) 社内規則の整理
- (3) 拠点区分毎の財務管理の体制整備
- (4) 合志市施策との整合性と経営上の影響(活動拠点や施設管理、補助金及び委託事業)

3 今後の方向性

福祉業界に限らず、人材不足への対応が経営課題となっており、安定的な法人経営を実現するためには、職員の働きやすい職場環境を整え、選ばれる組織とならなければならない。「働き方改革」の趣旨も踏まえ、関連法令への対応と本会の組織状況にあわせた人事評価制度の構築に推進していく。

また、法人が行うすべての活動には、多くの公費が充当されていることから、適正な会計処理を行うとともに内部牽制体制の強化に努めていく。

なお、本会は介護、障がい及び児童福祉関係の制度事業を財源とする収益が大半を占める。安定的な収益が確保できるよう環境整備等を行いながら運営を行っていく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
1-3	理事会、評議員会の運営・実施	継続	独自事業
・理事会 数 5回(5/26、6/27、9/25、12/9、3/17) ・評議員選任会 2回(6/11、3/24) ・評議員会 3回(6/26、12/18、3/27) (主な協議事項) ・評議員の選任 ・令和6年度事業報告、決算報告 ・令和7年度補正予算の審議(2回) ・令和8年度事業計画、社会福祉事業区分予算の審議 ・障がい児支援センター新築事業について ・規則規程(職員給与規程)の改正ほか	根 拠 法	社会福祉法	
	実 施 回 数	① 理事会 5回 ② 選任委員会 2回 ③ 評議員会 3回	
	実 施 場 所	ふれあい館	
	定 数	① 理事 10人 ② 監事 2人 ③ 評議員 14人	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
4	経営適正化推進事業(監事による監査:令和6年度分対象)	継続	独自事業
(1) 計算書類関係資料について 計算書等は詳細まで整理されている。定期的に公認会計士による指導も受けていることもあり、特段なし (2) 組織運営について 前年度にあった市からの業務委託契約では消費税の取扱いについて、各事業の委託契約書上で明記し、対応ができていると認める。今後は重層的の支援体制整備事業も踏まえて、市との連携も含めて組織運営に臨んでいってもらいたい。 (3) 事業報告書類について 特段なし	根 拠 法	社会福祉法 第45条第18項	
	実 施 日 時	R7年5月15日 R7年11月6日	
	実 施 場 所	ふれあい館	
	実 施 機 関	本会監事	
	人 数	2名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
5	社会福祉法人指導監査	継続	その他の事業
社会福祉法人の適正な運営等を確保するため、監督機関である合志市から、関係法令等に基づく指導監査が定期的に実施されている。 本会の一般監査の周期は3年に1回で、令和7年度は対象年度であることから実施された。 【改善指導(口頭指摘)事項】 ・理事の就任について(一時的に総数の5分の1を超えた時があった) ・評議員選任・解任委員会について(選任決議を一括して行っていた) ・経理規程について(文言の修正と勘定科目の追加) ・会計職員について(統括責任者、会計責任者の実務と合致してない) ・拠点区分の名称について(計算書類と規程の名称が不一致であった) ※文書指摘事項なし。	根 拠 法	社会福祉法 第56条第1項	
	実 施 日 時	令和7年12月23日	
	実 施 場 所	ふれあい館	
	実 施 機 関	合志市	
	前回実施日	令和4年8月4日	

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
8-11	苦情解決体制整備	継続	独自事業								
(事業の内容) 社会福祉法の規定に基づき、本会の実施する福祉サービスの提供に対する利用者からの苦情に関する社内体制を整備。 (業務体制) ・苦情受付担当者：各課の課長 ・苦情解決責任者：事務局長 ・第三者委員：監事1名、民生委員1名 (取扱件数) ・苦情、要望受付状況 6件 ・申出人 ①利用者2人、②保護者家族4人、③その他なし ・内容 職員の対応(言動)等		根拠法	社会福祉法								
		実績年度	令和7年度 報告を掲載								
		対象者	福祉サービス等の 利用者								
		受付件数	6件								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
15	人事・労務管理業務	継続	独自事業								
15 社会保険労務士による労務指導 ・委託業者 有限会社ビジネス・アシスト ・委託内容 ① 労働契約書締結 ② 育児休業に伴う手続き ③ 業務災害の場合の労災保険諸手続き ④ 傷病手当金手続き ⑤ 就業規則の変更、36協定等労働基準監督署への諸届出 ⑥ 助成金・奨励金等の申請 ⑦ 障がい者雇用納付金申請書等の作成		事業費	360千円								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
19	特定求職者就労促進業務	継続	その他の事業								
(1) 高年齢者や障害者等の就職困難者の雇い入れを実施。障害の程度により雇用保険の一般被保険者として雇入れることで助成金の対象。 (2)雇用実績 <table><tr><td>手帳所持者数</td><td>ひとり親家庭</td><td>高年齢者(60歳以上)</td><td>合計</td></tr><tr><td>5</td><td>4</td><td>78</td><td>87</td></tr></table> (3)障がい者の就労状況 ①就業場所 ふれあい館の清掃業務 ②勤務日 月曜日～金曜日 8:00～12:00/13:00～17:00 ③雇用実績 5名		手帳所持者数	ひとり親家庭	高年齢者(60歳以上)	合計	5	4	78	87	根拠法	雇用保険法
		手帳所持者数	ひとり親家庭	高年齢者(60歳以上)	合計						
		5	4	78	87						
		助成金額	1,544千円								
		助成対象事業	障害者雇用調整金 特定求職者雇用開発助成金								
対象者	障がい者 本会での実績										
助成金対象者数	9名										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
17-21	就業支援事業	継続	独自事業
17	17 福利厚生支援業務 職員の福利厚生事業として健康診断、ストレスチェック、インフルエンザ予防接種の補助、被服貸与等を実施。 ・健康診断受診者数 164名 ・ストレスチェック 139名 ・インフルエンザ予防接種 201名 18 産業医 公立菊池養生園に委託。 21 互助会支援事業 福利厚生の一環として職員互助会へ補助を実施。 124名	17 事業費	1,996千円
		18 事業費	330千円
		21 事業費	372千円
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
22-25	安全運転管理者設置及び安全運転管理推進事業 拠点防災管理者の設置・自衛防火・防犯推進事業	継続	独自事業
22	22 安全運転管理者設置による安全運転管理推進 正:事務局長 副:安全運転管理者2名を配置 (公用車による事故等の状況) ・人身事故・・・0件、物損事故・・・12件(前年度16件) ・安全運転管理者によるアルコールチェック義務化に伴って毎朝、目視による確認とアルコール検知器を使用して飲酒運転撲滅および安全運転の意識向上を図った。 23 防火管理者による自衛防火組織の編成及び日常の防火管理 (総合防災訓練) ・指定管理2施設(ふれあい館、老人憩の家) ・このみ坂保育園、れんがの家、各事業所で総合防災訓練の実施。	22 事業費	6万5千円
		23 事業費	0千円
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
26	経営戦略事業(管理者会の実施)	継続	独自事業
	(実施日) 毎月1回(主に第2月曜日) (協議内容) ・大雨や台風等、災害の恐れがあるときの対応について ・半期業務執行状況及び決算見込状況 ・労務管理、安全衛生管理にかかわる実務 ・職員採用計画、職員意向調査ほか、各課懸案事項や事業計画等の協議を実施	実施回数	12回 (毎月1回)

番号	事業の名称				新規・継続	事業形態		
29	公認会計士による会計事務指導(毎月)				継続	独自事業		
・委託業者・・・加久公認会計士事務所 ・委託内容・・・毎月の定期指導、決算事務指導及び消費税申告事務他 【内容補足】より適正な会計処理を行うべく、財務会計に関する事務処理体制に係る支援項目リストに基づき、事務処理体制の向上支援を受けている。					実 施 日	毎月1回 決算前1回		
					事 業 費	1,364千円		
番号	事業の名称				新規・継続	事業形態		
35	合志市保健福祉センターふれあい館指定管理業務				継続	合志市受託事業		
(事業の内容) ・本施設は平成14年5月、保健センター、子育て支援センター、児童館の複合施設として開館。以来、社協の拠点として介護保険事業、市委託事業、乳幼児健診・がん検診の会場、ボランティアセンター、市民交流の場として総合的な保健・福祉事業を展開。 ・現在、第5期(令和4～8年度)の基本協定を合志市と締結。(利用者及び利用料金) 各部屋に使用料が必要。(実績)					営 業 日	※貸室:火～日		
					営 業 時 間	7:30～22:00		
					休 日	貸室:月曜日・祝日 および12/29～1/3		
					対 象 者	合志市民		
(その他) ・10/19(日)、合志市総合防災訓練に併せ、指定福祉避難所開設訓練として避難所運営、避難行動要支援(要配慮)者の受入訓練を実施した。					年 間 利 用 者 数	43,419人		
番号	事業の名称				新規・継続	事業形態		
36	老人憩の家指定管理業務				継続	合志市受託事業		
・本施設は平成6年4月開館。平成18年9月より指定管理者制度により本会が管理運営を行っている。 ・現在、第5期(令和4～8年度)の基本協定を合志市と締結。(利用者及び利用料金) ・60歳以上の高齢者 合志市内/100円、市外/400円 (実績)					営 業 日	火曜日～日曜日		
					営 業 時 間	9:00～19:00		
					休 日	月曜日および 12/29～1/3		
					対 象 者	60歳以上の高齢者		
(その他) ・利用者の要望に応えるべく、12/30を臨時で開館し、サービス向上を図った。 ・受付管理業務(一部)を合志市シルバー人材センターへ委託。 ・毎週火曜日体操教室、毎週金曜日eスポーツを実施し、介護予防や通いの場の定着を図った。また、今年度より介護予防(認知症予防)の一環として健康麻雀を開始。 ・3/10～温泉設備故障のため臨時休館の対応。3/19より部屋のみ利用可能とし、一部営業再開。					年 間 利 用 者 数	40,461人		

令和7年度 事業報告書

担 当 課	班
地域福祉課	地域福祉班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

第4期合志市地域福祉計画活動計画の方針に基づき、重点項目を進めることを目標に以下の項目を工夫しながら取り組むことができた。

(1) 重層的支援体制整備事業「参加支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援、生活困窮者支援等のための地域づくり事業」の実施に伴う総合相談体制の構築と強化

地域共生社会の実現に向け、複合・複雑化した相談について社協内でも各課の垣根を越えて課題解決できるように、月1回社内重層会議を設けケース検討を行った。その中で、各中学校別地域福祉コーディネーター(CSW)と生活支援コーディネーター(SC)が連携し、合志市より委託を受けた参加支援事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業を展開することができた。

(2) 認知症に対する地域住民の理解(共生)と予防強化

ささえ愛ネットワーク(徘徊)模擬訓練を、本年度は西合志中央小校区で実施した。転入者や若い世帯が多い地域や既存の地域が混在した地域特性の中、各区長のご理解や協力体制により、スムーズに準備を進めることが出来た。小学校との連携を積極的に行い、認知症サポーター養成講座の実施、周知啓発ポスターの作成、安全安心メールを活用した訓練の周知を行った。認知症予防の強化については、軽度認知障害(MCI)の人が通える居場所(脳ケアルーム)、認知症予防教室を年間通して実施した。

(3) 福祉教育の推進

福祉教育の内容を各学校のボランティア担当教員へ丁寧に説明・周知したことで、多くの学校から依頼があり、授業において講話・体験を実施した。生活介護支援サポーターの受講生も体験のサポートとして活動し、新たな担い手の確保につながった。

(4) 募金活動の見直し・強化

区長会での募金活動の説明や、共同募金を活用した事業における募金の使用目的の周知を行うことで、募金活動の理解を周知することができた。さらに、各課が関わる事業所への法人募金の募集や、市内の小中学校への職域募金の依頼を実施し、協力を得ることができた。年末には、赤い羽根共同募金街頭募金運動を合志市内ショッピングモール等2店の協力を得て実施することができ、募金活動の強化を図ることができた。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) 重層的支援体制整備事業が目指している地域共生社会の本質について理解を深めていく必要がある。

また、法人内においても関係部署職員が重層的支援体制整備事業の理解し、部署の垣根を越えて協力していく必要がある。

(2) 住民主体のまちづくりや地域でのつながりや居場所づくりが地域福祉課として特に力を入れていく必要がある。しかし、その活動を支える財源としての会費や募金の加入率が年々低下しており大きな課題である。

3 今後の方向性

(1) 地域社会の課題は、単一の要因で起こるものではなく、貧困、孤立、健康問題、子育ての困難さなどが複雑に絡み合っていることが多い。今まで以上に、多機関・多分野との連携強化による「包括的な支援体制」を構築していく必要がある。

(2) 複雑化・複合化する地域社会の課題解決には、専門家だけでなく、地域住民一人ひとりの主体的な参加が不可欠のため、「地域共生社会」実現に向けた「住民参加と住民自らの強みを発揮すること」の促進を図る。

(3) 住民主体のまちづくりや地域でのつながりや居場所づくり等の活動を支える財源としての会費や募金の加入率の向上を図る。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
37-40	地域福祉コーディネーター設置事業(4中学校区) (個別ニーズ調査・情報提供事業)	継続	合志市受託事業						
住み慣れた地域において安心した生活を営むことができるよう、一人暮らし高齢者等への生活支援を目的とした基盤整備を行い、地域で安心して暮らせるためのニーズ調査、仕組みづくりを実施。中学校区ごとにコーディネーターを配置し、支援を必要とする人とそのニーズを把握する活動を実施した。 (地域福祉座談会及びコミュニティ会議の実施) ① 地域福祉連絡協議会代表者会議(5月29日・3月11日) 述べ参加者 38名 ② 地域福祉座談会 (1) 西合志中央小学校区【7月10日】参加者 21名 (2) 西合志東小学校区【8月 7日】参加者 15名 (3) 西合志南小学校区【9月19日】参加者 52名 (4) 人権ふれあいセンター周辺【2月20日】参加者 12名 ③ 相談・対応件数(電話・来館・訪問・調整すべて含む) 合志中学校区:299件 / 西合志中学校区:144件 西合志南中学校区:371件 / 楓の森中学校区:27件		実施日時	通年						
		対象者	市民全般						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
39	重層的支援体制整備事業(アウトリーチ・参加支援)事業	継続	合志市受託事業						
誰もが支え合う地域共生社会の実現に向け、支援を必要とする市民が抱える生活課題へのアプローチを展開。また本会として横断的に、地域で包括的な支援体制を推進するために、月一回の社内重層的支援会議を実施。 ケース検討数 延べ152名 会議回数 12回 <table><tr><td>事業名</td><td>ケース対応数</td></tr><tr><td>アウトリーチ等を通じた継続的支援事業</td><td>43件</td></tr><tr><td>参加支援事業</td><td>19件</td></tr></table>		事業名	ケース対応数	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	43件	参加支援事業	19件	実施日時	通年
		事業名	ケース対応数						
		アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	43件						
		参加支援事業	19件						
		対象者	複合的課題を抱えた市民						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
44	避難行動要支援者システム管理事業(安心ほっとライン設置推進)	継続	合志市受託事業						
職員による訪問と合わせ、各地域の民生児童委員と連携し、要支援者の情報収集に取り組んだ。地域包括支援センターやサブセンターに協力依頼し、状況から介護保険サービス等へつなげるなど、連携をとるケースもあった。運用に際しては、福祉課と綿密な連携のもとに実施し、今年度は避難行動要支援者の登録をすべて委託事業の中で行った。また内容不備を防ぐため、3重チェックするようにした。 (整備内容) ・市同意書入力 0人 ・要支援者の台帳管理 登録者 769人 ・安心ほっとライン配布・設置(新規69人＋更新700人) 769件 ・市指定の広域避難所と最寄りの二次避難所に関する調査 ・支援者の登録内容確認		実施日時	通年						
		実施場所	ふれあい館						
		対象者	要支援者						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
42, 43	民生委員児童委員協働事業 地域見守り	継続	独自事業
75歳以上の一人暮らし高齢者の孤立防止と高齢者同士の交流の場の提供、自立生活の助長の目的にシングルシルバーふれあいの集いを民生児童委員協議会が主催で実施。東西の両地区の会場に集客し開催した。 ・東部地区 実施日:10月23日(木)、対象者276人中57人が会場参加 会 場:すずかけ台コミュニティセンター 取組内容:各委員による出し物、南部保育園の園児たちによる出し物 ・西部地区 実施日:10月20日(月)、対象者442人 うち50名参加 会 場:老人憩の家 取組内容:ステージ発表 (ひょっとこ踊り・日舞・レクダンス・このみ坂保育園太鼓演奏)		実 施 日 時	東部 10月23日 西部 10月24日
		実 施 場 所	要支援世帯
		対 象 者	一人暮らし高齢者(75歳以上)
		人 数	57人(東部) 50人(西部)
		事 業 費	291千円
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
45	各種福祉団体助成事業	継続	独自事業
地域福祉推進を目的に下記のとおり助成を行った。 1、各種福祉団体助成事業 保護司会合志分会、身体障害者福祉協議会、ひとり親家庭福祉協議会、子ども会育成連絡協議会、更生保護女性会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会、市内こども食堂、音訳グループ 2、地域福祉連絡協議会 モデル地区5地区(須屋、黒石、中央、野々島、合生地区) 3、サロン推進助成事業 高齢者サロン46団体、子育てサロン7団体、趣味活動サロン6団体		実 施 日 時	通年
		対 象 者	各種団体
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
46	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業(地域公益活動推進プラットフォーム)	継続	独自事業
福祉分野を中心に、小規模法人を含め様々な地域の事業所同士が、地域貢献のための取り組みを推進できるよう、法人間プラットフォームの構築と重層的な支援体制の構築を図ることを目的とし、定例会議及び協働事業を展開した。 ○参加法人:16法人・団体(社会福祉法人7、医療法人2、独立行政法人3、協同組合1、民間企業(福祉関係)2、行政) ○プラットフォーム会議 計4回 社協各部署間のさらなる横断的連携を図るため、社協内プロジェクトチームも発足し、連携を図った。 ○社協内プロジェクトチーム(活動名称:LINK) 協議回数 計11回 ○協働事業 次年度の協働事業として、プラットフォームで共同の福祉避難所設置訓練を計画。		実 施 日 時	左記記載
		対 象 者	16法人

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
47	シニア活動の各種・多方面からの促進 (社会貢献活動:聞き書き、ブレンド珈琲倶楽部等)	継続	独自事業
1 聞き書き講座・サークル活動 聞き書き講座受講者有志により「聞き書きサークルふれあい隊」が結成され、月1回の活動を実施し、本年度は、ご家族2名の方の「聞き書き本」を製作。「語り手」と「聞き手」そしてそれを読む「読み手」が、あたたかくゆるやかなにつながっていく活動を継続している。 2 ブレンド珈琲倶楽部 珈琲講座受講者有志により「ブレンド珈琲倶楽部」が結成され、“ありがとうカフェ”や地域のイベント等で、珈琲のおもてなしを実施。障がい者福祉施設のサンシャインワークスと協働で、オリジナル珈琲を作り窓口で販売を行っている。今年度講座受講者4名も新たに加わり活動されている。	対 象 者	市民(シニア世代)	
	人 数	21人	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
48, 49	災害ボランティア養成講座 災害ボランティアセンター設置訓練(職員・一般含)	継続	その他の事業
●災害ボランティア養成講座 ・一般市民向け講座 開催日:10月5日(日) 参加者:21人 今年度は子どもやその親世代をターゲットに、防災士連絡協議会の協力のもと、子ども版避難所運営ゲーム(HUG)と防災すごろくを実施した。 プログラム終了後には、防災士連絡協議会より「子ども防災士認定証」を参加した子どもたちに贈呈し、防災意欲向上を促すことに繋がった。 ・職員向け講座 開催日:10月15日(水) 参加人数:19人 ●災害ボランティアセンター設置訓練 開催日:11月1日(土) 場 所:ふれあい館 参加者:訓練参加者 35名 ボラ連 3人 スタッフ 14人 菊池ブロック社協 7人 今年度は合志市総合防災訓練と別日で実施。災害ボランティアセンター設置訓練だけでなく、実際の災害時を想定したニーズを設定し、送迎等での活動場所への移動も行った。また、菊池ブロック社協の参加もあり、連携強化の機会にもなった。 ●令和7年8月からの大雨に伴う災害ボランティアセンター設置市町村への派遣 玉名市災害ボランティアセンター 8月18日(月)～21日(木) 延べ10名 玉東町災害ボランティアセンター 8月29日(金)～31日(日) 延べ3名 上天草市災害ボランティアセンター 9月5日(金)～8日(月) 延べ4名 9月17日(水)～20日(土) 延べ4名 八代市災害ボランティアセンター 10月3日(金)～4日(土) 延べ2名 10月17日(金) 延べ1名 11月6日(木)～7日(金) 延べ2名	実 施 日 時	左記記載	
	実 施 場 所	ふれあい館	
	対 象 者	合志市民	
	人 数	左記記載	
	事 業 費	183千円	

番号	事業の名称			新規・継続	事業形態																													
50	社会福祉協議会会員募集の推進 (一般会員・賛助会員・法人会員)			継続	独自事業																													
社協会員は、本会の運営のほか地域福祉活動を支えるため、本会の趣旨に賛同した個人・団体により構成され、実績は下記のとおり。一般会員(戸別)の加入率は45.6%(前年比4.2%減)となった。				募 集 実 績	5,744千円																													
				実 施 日 時	通 年																													
				対 象 者	市民及び事業所																													
<table><tr><td colspan="2">種別</td><td>件数</td><td>実績額</td></tr><tr><td rowspan="3">一般会員</td><td>普通会員</td><td>9,446口</td><td>4,723,000円</td></tr><tr><td>賛助会員</td><td>128口</td><td>132,000円</td></tr><tr><td>特別会員</td><td>0口</td><td>0円</td></tr><tr><td rowspan="2">法人会員</td><td>賛助会員</td><td>74社</td><td>370,000円</td></tr><tr><td>特別会員</td><td>37社</td><td>470,000円</td></tr><tr><td colspan="2">寄付金扱い</td><td></td><td>62,390円</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td></td><td>5,757,390円</td></tr></table>				種別		件数	実績額	一般会員	普通会員	9,446口	4,723,000円	賛助会員	128口	132,000円	特別会員	0口	0円	法人会員	賛助会員	74社	370,000円	特別会員	37社	470,000円	寄付金扱い			62,390円	合計			5,757,390円		
種別		件数	実績額																															
一般会員	普通会員	9,446口	4,723,000円																															
	賛助会員	128口	132,000円																															
	特別会員	0口	0円																															
法人会員	賛助会員	74社	370,000円																															
	特別会員	37社	470,000円																															
寄付金扱い			62,390円																															
合計			5,757,390円																															
番号	事業の名称			新規・継続	事業形態																													
-	活動寄付・募金等の募集			継続	独自事業																													
地域福祉活動財源として寄付・寄贈の受入を実施した。 ・ 寄付金 <table><tr><td>種 別</td><td colspan="2">実績額</td></tr><tr><td>香典返し</td><td>148 件</td><td>2, 553, 000 円</td></tr><tr><td>一般寄付</td><td>43 件</td><td>1, 199, 510 円</td></tr></table> うち10万円以上の高額寄付 5件 ・ 寄 贈 41件				種 別	実績額		香典返し	148 件	2, 553, 000 円	一般寄付	43 件	1, 199, 510 円	実 施 日 時	通年																				
				種 別	実績額																													
				香典返し	148 件	2, 553, 000 円																												
				一般寄付	43 件	1, 199, 510 円																												
対 象 者	市 民 及 び 事 業 所																																	
番号	事業の名称			新規・継続	事業形態																													
51	活動寄付・募金の募集(日本赤十字会員募集)			継続	その他の事業																													
日本赤十字社は、人々の命と健康を守るために、国境を越えた災害救護活動や血液事業など幅広い活動を展開している。このような活動を支えている会費(活動資金)を募集するために5月を「赤十字運動月間」として、会員及び協力会員募集を、本会が窓口となり業務を行った。				募 集 実 績	4,145千円																													
				実 施 日 時	5月																													
				対 象 者	市民及び事業所																													
<table><tr><td colspan="2">種 別</td><td>件 数</td><td>実 績 額</td></tr><tr><td colspan="2">会 員</td><td>10件</td><td>20,000円</td></tr><tr><td rowspan="2">寄 付 金</td><td>自治会</td><td>20件</td><td>1,161,850円</td></tr><tr><td>個 人</td><td>6,030件</td><td>2,962,270円</td></tr><tr><td colspan="2">貯金利息</td><td>2件</td><td>1,152円</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>—</td><td>4,145,091円</td></tr></table>				種 別		件 数	実 績 額	会 員		10件	20,000円	寄 付 金	自治会	20件	1,161,850円	個 人	6,030件	2,962,270円	貯金利息		2件	1,152円	合 計		—	4,145,091円								
種 別		件 数	実 績 額																															
会 員		10件	20,000円																															
寄 付 金	自治会	20件	1,161,850円																															
	個 人	6,030件	2,962,270円																															
貯金利息		2件	1,152円																															
合 計		—	4,145,091円																															

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																											
52-53	赤い羽根共同募金募集事業	継続	その他の事業																											
赤い羽根共同募金の募集を行使し共同募金委員会が実施し、本会が事務対応を行った。今年度より、新しくできた「ゆめモール」にも協力していただき街頭募金を3か所で開催。また、募金箱設置箇所を増やして募金活動を行ったが、目標額：6,800,000円に対し、97.8%にとどまり目標額には届かなかった。一方で、職域募金・法人募金・その他の募金(募金箱)では昨年の実績を上回ることができた。		実施日時	10月～12月																											
		対象者	市民及び事業所																											
		目標額	6,800千円																											
		募金実績	6,181千円																											
<table><tr><th>募金種別</th><th>件数</th><th>実績額</th></tr><tr><td>戸別募金</td><td>8,650件</td><td>4,219,800円</td></tr><tr><td>街頭募金</td><td>6件</td><td>108,647円</td></tr><tr><td>個人募金</td><td>3件</td><td>9,997円</td></tr><tr><td>法人募金</td><td>143件</td><td>1,196,554円</td></tr><tr><td>職域募金</td><td>18件</td><td>357,611円</td></tr><tr><td>イベント募金</td><td>11件</td><td>99,091円</td></tr><tr><td>その他の募金</td><td>44件</td><td>189,100円</td></tr><tr><td>合計</td><td>8,875件</td><td>6,180,800円</td></tr></table>		募金種別	件数	実績額	戸別募金	8,650件	4,219,800円	街頭募金	6件	108,647円	個人募金	3件	9,997円	法人募金	143件	1,196,554円	職域募金	18件	357,611円	イベント募金	11件	99,091円	その他の募金	44件	189,100円	合計	8,875件	6,180,800円		
募金種別	件数	実績額																												
戸別募金	8,650件	4,219,800円																												
街頭募金	6件	108,647円																												
個人募金	3件	9,997円																												
法人募金	143件	1,196,554円																												
職域募金	18件	357,611円																												
イベント募金	11件	99,091円																												
その他の募金	44件	189,100円																												
合計	8,875件	6,180,800円																												
54	ぽっかぽかサポート個別利用会員登録業務	継続	独自事業																											
基盤支援を必要とする人々がもれなくカバーされる体制について、「安心生活サポート事業」(通称:ぽっかぽかサポート)の運営継続及び団体登録の推進を行った。 ・ぽっかぽかサポート登録(令和8年3月末) 利用会員764人 協力会員542人 団体登録12団体 対応件数(チケットベース) 3,649件 ・ぽっかぽかサポート養成講座含む住民説明：計2回 72人(延べ)		実施日時	通年																											
		対象者	要支援者																											
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																											
55	ぽっかぽかサポート協力会員個人・団体登録推進 (サポーター養成・フォローアップ講座)	継続	独自事業																											
地域の高齢者や障がい者等の生活ニーズに応える仕組みを安定的に持続するため、市民が主体的に運営する新たな住民参加サービス等の担い手としての育成(ぽっかぽかサポーター養成講座)に努めた。		実施日時	通年																											
		対象者	要支援者																											
<table><tr><th>サポーター種別</th><th>登録数</th><th>実働数</th></tr><tr><td>ぽっかぽかサポーター(個人)</td><td>23人</td><td>14人</td></tr></table>		サポーター種別	登録数	実働数	ぽっかぽかサポーター(個人)	23人	14人																							
サポーター種別	登録数	実働数																												
ぽっかぽかサポーター(個人)	23人	14人																												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																											
56	ぽっかぽかサポート生活困窮者、(委)高齢者ゴミだし支援事業 ファミリーサポート連携	継続	委託事業																											
1 ぽっかぽかサポート(生活困窮者対策、他事業連携) ぽっかぽかサポートにおいて、生活困窮者支援として安心サポート合志や他部署と連携を図り活動を展開。 2 ぽっかぽかサポート高齢者ゴミだし支援事業 市環境衛生課からの委託事業により、燃えるゴミ出しの利用料免除による利用会員の負担軽減を実施 実施人数:延べ 12人 3 ファミリーサポートとの連携のため定期会議にファミリーサポート事業担当者も参加し、相互の情報共有を行うことで協力体制を整えた。		実施日時	通年																											
		対象者	要支援者																											

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
58	ボランティアセンター設置業務(情報発信LINE構築・管理業務含)	継続	独自事業								
○コーディネーターの設置 地域のボランティア活動状況などを把握し、活動の継続や発展などを支援する視点でその促進に努めた。また、ボランティア活動に携わる人の知りたいと思っている情報を個別に提供するといった視点からセンター事業を進めるとともに、安心して活動できるよう、ボランティア活動保険の加入促進を実施した。 (ボランティアセンター・体験活動情報センター相談件数) ・相談件数 94 件(前年度 84 件) ・調整回数 447 回(前年度 200 回)		実施日時	通年								
		実施場所	ふれあい館								
		対象者	市民全般								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
58	ボランティアセンター運営事業、ボランティア組織支援事業 普及推進事業	継続	独自事業								
○ボランティア連絡協議会活動支援 多種多様なボランティアが、それぞれの活動分野から一歩前進してお互いに協力、理解、連携しあうために自主的な活動を行う連絡協議会の活動が円滑に行われるよう協力・支援した。 役員会開催数:12回 主な開催行事: (1) 令和7年5月17日 ボランティア連絡協議会総会 参加者 76名 (2) 令和7年8月9日 ボランティア連絡協議会代表者会議 参加者 51名 (3) 令和7年9月13日 スポーツ交流会 参加者 32名 (4) 令和8年3月1日 ボランティア連絡協議会交流会 参加者 67名		実施日時	通年								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
59, 60, 61	ボランティア地域活動業務 活動用品貸し出し業務 視覚障がい者向け情報提供事業(音声訳CD・再生機器プレクストーク提供)	継続	独自事業								
1 ボランティア地域活動支援 (ボランティア登録人数) ・個人登録者 69 人(前年度 84 人) ・団体登録 101 団体 1,218 人(前年度 102 団体 1,233 人) <table border="1" data-bbox="201 1650 887 1740"> <tr> <td>ボランティア活動保険加入状況</td><td>基本プラン</td><td>天災</td><td>合計</td></tr> <tr> <td></td><td>948 人</td><td>115 人</td><td>1,063 人</td></tr> </table>		ボランティア活動保険加入状況	基本プラン	天災	合計		948 人	115 人	1,063 人	実施日時	通年
ボランティア活動保険加入状況	基本プラン	天災	合計								
	948 人	115 人	1,063 人								
		対象者	市民全般								
		人数	1,317 人								
2 機材貸付 地域住民が行う福祉活動の円滑な推進と、地域への福祉啓発・広報活動を行うため、活動用品の整備を図り広く貸与を行った。 ・総貸出件数31件(体験・地域イベント用具、レクリエーション用品等)											
3 視覚障がい者向け情報提供事業 毎月広報こうし、議会だよりきずな、社協の広報誌ほっとラインを5個人・5施設にCD配布。											

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
62	各種ボランティア養成講座(入門講座等)	継続	独自事業						
今年度は、生活支援サポーター養成のフォローアップも含め傾聴講座、認知症サポーター養成講座を2部制で実施した。 ①学習サポーター養成講座:日時:令和7年12月3日(水)・12月10日(水) 参加者:5名 ②送迎サポーター養成講座:日時:令和7年11月12日(水)・11月14日(金)参加者:1名 ※城北自動車学校にて安全運転講習を実施した ③Eスポーツ講座関係 ・UDeスポーツ養成講座 日時:8月21日(木) 参加者:27名 2月19日(木) 参加者6名 ・通いの場での新たな取り組みとして、高齢者サロン等でeスポーツ活用を行った。 延べ実施回数:57回		実施日時	通年						
		実施場所	養成の内容 で決定						
		対象者	市民全般						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
66	福祉教育推進事業(職場体験等受入れ)	継続	独自事業						
自分達が住む地域で暮らしを支える仕事との関わりを通じて、働く喜びや自分自身の生き方を考えるきっかけとして、また「福祉」の仕事へ興味関心を持ってもらうことを目的に職場体験等の受入れを積極的に行った。 <table><tr><td>西合志南中学校</td><td>2人</td><td>職場体験(各福祉活動について)</td></tr><tr><td>阿蘇中央高校</td><td>9人</td><td>職場体験(各福祉活動について)</td></tr></table>		西合志南中学校	2人	職場体験(各福祉活動について)	阿蘇中央高校	9人	職場体験(各福祉活動について)	実施日時	左記記載
		西合志南中学校	2人	職場体験(各福祉活動について)					
		阿蘇中央高校	9人	職場体験(各福祉活動について)					
		実施場所	ふれあい館						
対象者	市内小中高生 大学生								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
64、79	地域見守り(歳末)支援事業(民生児童委員との協働)	継続	独自事業						
例年、歳末たすけあい運動の一環として、民生委員・ボランティア協力校、地区の小学生などの参加・協力のもと、80歳以上一人暮らし高齢者等を対象に年末の防災・防犯の声掛けと共に小学生からのメッセージカードや記念品を持参し、訪問している。今年度は民生委員の改選の年であったため、1月に実施した。 ○対象者:80歳以上一人暮らし高齢者等(福祉票登録者) ○対象者人数:408人(東部:168人 西部:240人) ○記念品:オリジナルフェイスタオル ○協力:合志市民生委員児童委員協議会連合会		実施日時	1月						
		実施場所	要支援世帯						
		対象者	80歳以上 独居高齢者等						
		人数	408人						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
65	地域(こども)食堂ネットワーク事業	継続	独自事業																								
合志市内で活動している地域(こども)食堂同士の情報交換や共有、ボランティアのマッチング、さらにはフードバンクや企業等が食料支援(フードドライブ等)に取り組みやすい環境づくりを目的にネットワーク事業を展開。 ○ネットワーク会議:令和7年7月3日(木) 場所 ふれあい館 令和8年3月19日(木) 場所 ふれあい館 ○参加者:第1回 14名 第2回 19名 ○参加団体:市内こども食堂4か所 行政(子育て支援課等)・フードバンク等 ○協議内容:各食堂の活動・特色について 今後のネットワーク構築に向けた意見交換		実施日時	左記記載																								
		実施場所	左記記載																								
		対象者	こども食堂運営者																								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
67	ワークキャンプ事業(小学生)	継続	合志市受託事業																								
熊本県にて7、8月に展開されている「ボランティア体験月間」に伴い、福祉やボランティアへの関心を深める体験や講習会を通じて、地域の様々な問題・自分たち自身の問題について考えるきっかけづくりとして児童・生徒を対象とした体験学習を各ボランティア協力校等に参加を呼びかけ開催した。 <table><tr><th>実施日</th><th>参加者</th><th>人数</th><th>場所</th></tr><tr><td>令和7年7月25日(金)</td><td>小学5～6</td><td>20人</td><td>ふれあい館</td></tr><tr><td>令和7年8月18日(月)</td><td>小学5～6</td><td>17人</td><td>ふれあい館</td></tr><tr><td>令和7年8月22日(金)</td><td>小学5～6</td><td>14人</td><td>ふれあい館</td></tr></table> ワークキャンプ終了後、クリエイターボランティアとしての登録・活動 登録者:5名 活動日:11月15日(土)／12月13日(土)／1月24日(土)／3月7日(土)／3月28日(土)		実施日	参加者	人数	場所	令和7年7月25日(金)	小学5～6	20人	ふれあい館	令和7年8月18日(月)	小学5～6	17人	ふれあい館	令和7年8月22日(金)	小学5～6	14人	ふれあい館	実施日時	左記記載								
		実施日	参加者	人数	場所																						
		令和7年7月25日(金)	小学5～6	20人	ふれあい館																						
		令和7年8月18日(月)	小学5～6	17人	ふれあい館																						
		令和7年8月22日(金)	小学5～6	14人	ふれあい館																						
実施場所	左記記載																										
対象者	市内小中高校																										
人数	65人 127人																										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
45.80	特化型サロン普及事業(体操サロン・趣味活動サロン 脳活きサロン等)、子育てサロン等地域組織化助成活動	継続	独自事業																								
サロンが休止している地域や通常サロンとは別で1回でも多く外出する機会を増やし交流、介護予防運動をひとつのきっかけとして、地域の集いの場として開催。総合事業や趣味活動サロンへと繋ぎの役目も担うこととして事業を実施した。 <table><tr><td>1</td><td>上須屋いきいき体操サロン</td><td>上須屋学習センター</td><td>第3水曜</td><td>12回</td><td>282人</td></tr><tr><td>2</td><td>ドレミの会</td><td>灰塚改善センター</td><td>毎週水曜</td><td>42回</td><td>356人</td></tr><tr><td>3</td><td>上庄ほのぼの健康サロン</td><td>上庄公民館</td><td>第1, 3木曜</td><td>21回</td><td>487人</td></tr><tr><td>4</td><td>ふれあいカフェ</td><td>東大池公民館</td><td>年3回</td><td>3回</td><td>20人</td></tr></table> 子育てサロン 7団体 (笹原、東須屋、武蔵野台、須屋地協、杉並台、新開、若原) 子育て世代が増える地域状況の中で、子育て中の保護者の集える場所がまだまだ少ない現状である。		1	上須屋いきいき体操サロン	上須屋学習センター	第3水曜	12回	282人	2	ドレミの会	灰塚改善センター	毎週水曜	42回	356人	3	上庄ほのぼの健康サロン	上庄公民館	第1, 3木曜	21回	487人	4	ふれあいカフェ	東大池公民館	年3回	3回	20人	実施日時 及び 実施場所	左記記載
		1	上須屋いきいき体操サロン	上須屋学習センター	第3水曜	12回	282人																				
		2	ドレミの会	灰塚改善センター	毎週水曜	42回	356人																				
		3	上庄ほのぼの健康サロン	上庄公民館	第1, 3木曜	21回	487人																				
		4	ふれあいカフェ	東大池公民館	年3回	3回	20人																				
対象者	市民																										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
69	ボランティア協力校推進事業(16校)	継 続	合志市受託事業																																																
地域の一員として、福祉課題を感じ、考え学び、相手の立場に立った視点や心を醸成する、また小学生または中学生に対し思いやりの心を育み、「地域で支え合う」ことの重要性を感じ、多様性を認め合う地域の基盤づくり、いわゆる社会的包摂に向けた福祉教育を目的とする。 ○小学校…7校(計20回) 延べ1,816人 ○特別支援学校…2校(計2回) 延べ58人 ○その他…4ヵ所(計4回) 延べ134人 ※内容については認知症サポーター、福祉講話、車イス体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験を実施。		実 施 日 時	左記記載																																																
		実 施 場 所	各学校																																																
		対 象 者	1,830人																																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
70	子どもの居場所づくり (各種青少年ボランティア、居場所づくりLINK共同事業)	継続	独自事業																																																
将来の社会や合志市の担い手となり得る中高生へ福祉や社会貢献活動等を通じた居場所づくり「オモイカタルバ」を実施した。放課後の時間に立ち寄れる子どもの居場所づくりとして「すずかけベース」を開放。また、eスポーツボランティアとして子ども会や地域のイベントに参加しボランティア活動を行った。 ○ 子どもの居場所づくり すずかけベース 場所:NPO法人 ぽっかぽかすずかけよんなっせ 時間:毎週水曜日 15:30～ 参加費:無料 開放日:38回 年間利用人数:延べ130人 ○ eスポーツボランティア活動実績 依頼数:3回(子ども会活動でのeスポーツ交流) 登録人数:14人 活動のべ人数:9人		実 施 日 時	毎週水曜日																																																
		実 施 場 所	ふれあい館																																																
		対 象 者	小学高学年～ 大学生																																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
45.73	モデル地区社協組織化活動助成推進事業(地協)	継続	合志市受託事業																																																
地域の福祉課題や福祉活動の状況の把握、行政や各地協間の連携を推進するため、5つの地域福祉連絡協議会の代表者会議を9月と12月に行った。 (構成メンバー)区長、民生委員、老人クラブ、ボランティア、学識経験者等 <table><tr><th>項目</th><th>須屋</th><th>黒石</th><th>中央</th><th>野々島</th><th>合生</th></tr><tr><td>自治会数</td><td>8区</td><td>5区</td><td>8区</td><td>12区</td><td>10区</td></tr><tr><td>加入区数</td><td>7区</td><td>4区</td><td>4区</td><td>8区</td><td>9区</td></tr><tr><td>会員数</td><td>82人</td><td>48人</td><td>—</td><td>39人</td><td>32人</td></tr><tr><td>高齢者サロン</td><td>7ヵ所</td><td>3ヵ所</td><td>4ヵ所</td><td>4ヵ所</td><td>1ヵ所</td></tr><tr><td>子育てサロン</td><td>1ヵ所</td><td>2ヵ所</td><td>1ヵ所</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>交流会回数</td><td>4回</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td><td>1回</td></tr><tr><td>訪問活動</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table> また、地域福祉連絡協議会に所属していない自治会の地域福祉活動に対して、助成できる仕組みとして「地域づくり活動応援事業助成金要綱」を作成し、1団体に適応。 令和6年度～令和7年度はモデル事業として運用する。 自治会:黒石原区 沖野台区(明日葉会) 活動:子どもの居場所作り 地域交流活動		項目	須屋	黒石	中央	野々島	合生	自治会数	8区	5区	8区	12区	10区	加入区数	7区	4区	4区	8区	9区	会員数	82人	48人	—	39人	32人	高齢者サロン	7ヵ所	3ヵ所	4ヵ所	4ヵ所	1ヵ所	子育てサロン	1ヵ所	2ヵ所	1ヵ所	—	—	交流会回数	4回	2回	2回	2回	1回	訪問活動	○	○	○	○	○	実 施 日 時	通年
		項目	須屋	黒石	中央	野々島	合生																																												
		自治会数	8区	5区	8区	12区	10区																																												
		加入区数	7区	4区	4区	8区	9区																																												
会員数	82人	48人	—	39人	32人																																														
高齢者サロン	7ヵ所	3ヵ所	4ヵ所	4ヵ所	1ヵ所																																														
子育てサロン	1ヵ所	2ヵ所	1ヵ所	—	—																																														
交流会回数	4回	2回	2回	2回	1回																																														
訪問活動	○	○	○	○	○																																														
実 施 場 所	各コミュニティー ター																																																		
対 象 者	市民全般																																																		

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
74	小地域組織化推進事業(地域支え合い活動)	継続	独自事業＋委託						
(見守りネットワークの状況) 住みなれた地域で自立生活を送るためには、地域の福祉問題を解決するためにフォーマル・インフォーマルの資源と連携し活用するネットワークが不可欠になり、近隣住民がボランティア活動を展開していくことが課題となってくる。 現在西部地区においては5ヵ所の地域にて、高齢者やこどもたちのネットワーク活動やボランティア活動を支えるため自主的に組織化している。また東部地区においては地域サロンまたは、ぽっかぽかサポート協力団体等を中心に小地域(行政区)で取り組んでいる。 ○地協組織化数:5箇所 ○ぽっかぽかサポート団体(行政区単位):8団体		実施日時	通年						
		実施場所	各地協・サロン・行政区等						
		対象者	市民全般						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
45.77	地域高齢者サロン活動推進(見守り活動含む)・助成事業	継続	合志市受託事業						
地域住民と協働し閉じこもりがちな高齢者を対象に参加しやすい地域内の公民館等に「通いの場所」を設置することで、仲間づくりと閉じこもり防止や福祉問題の早期発見につなげるなど介護予防効果と住民同士の交流促進から互いに見守り、支えあえる地域づくりを推進するために実施した。 今年度、新規立ち上げ1地区(みずき台区)、令和8年度活動休止サロン2地区(西須屋団地区、御領地区)となる。 □開催ヵ所数 44ヵ所 □開催回数 574 回 □利用者数 6,741人 □ボランティア 3,451人 □サロン参加者合計 10,192人 ※人数は延べ人数。		実施日時	通年						
		実施場所	各公民館等						
		対象者	要支援者含む市民						
		人数	10,192人						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
78	サロンボランティア育成・研修事業	継続	合志市受託事業						
サロンボランティア研修を今年度2回実施した。サロン立ち上げから、15周年が1団体(榎ノ本区)を迎え表彰を行った。グループに分かれ各活動について意見交換を行うことで、研修後に活動内容のマンネリ化を防ぎ実施するところがあった。		実施日時	左記記載						
		実施場所	ふれあい館						
		対象者	65歳以上 サロンボランティア						
<table><tr><td>実施日</td><td>7月15日(水) 7月19日(土)</td><td>2月17日(火)</td></tr><tr><td>参加人数</td><td>76名</td><td>55名</td></tr></table>		実施日	7月15日(水) 7月19日(土)	2月17日(火)	参加人数	76名	55名		
実施日	7月15日(水) 7月19日(土)	2月17日(火)							
参加人数	76名	55名							

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
81	男の井戸端サロン	継 続	合志市受託事業																				
市内在住の概ね60歳以上の男性を対象とし経験や知恵、技を生かして無理なく出来る範囲で楽しく、生きがいを感じるような活動を社協と協働にて行っている。今年度は農園での活動を主とし、多世代交流や地域活動、会員同士のレクリエーション活動、月1回の周辺道路のゴミ拾いを実施。 (活動内容) ・野菜の栽培・販売、農園での交流活動(あぐりっこ・このみ坂保育園・社協デイ) ・定例会(毎月第2火曜日) ・生きがいづくり活動(パークゴルフ・ハイキング等) (農園交流活動) <table><tr><th>活 動</th><th>回数</th><th>人数</th></tr><tr><td>農園活動</td><td>104回</td><td>285人</td></tr><tr><td>あぐりっこ合同</td><td>4回</td><td>8人</td></tr><tr><td>このみ坂保育園合同</td><td>21回</td><td>51人</td></tr><tr><td>延べ合計</td><td>165回</td><td>344人</td></tr></table>		活 動	回数	人数	農園活動	104回	285人	あぐりっこ合同	4回	8人	このみ坂保育園合同	21回	51人	延べ合計	165回	344人	実 施 日 時	通年 (毎週火、金 農園活動)					
		活 動	回数	人数																			
		農園活動	104回	285人																			
		あぐりっこ合同	4回	8人																			
		このみ坂保育園合同	21回	51人																			
		延べ合計	165回	344人																			
対 象 者	シニア世代男性																						
実 施 場 所	ふれあい館																						
会 員 数	5人																						
実 施 日 時	通年																						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
83～86	認知症予防事業「脳活き生き教室」	継続	合志市受託事業																				
脳活き生き教室を認知症の予防と学習活動を通じた交流の促進、生きがい作りの場として実施した。また、地域版として脳いきいき教室修了者へ継続的な学習の場を3箇所開設し、地域のより身近な場所で開催する事で、地域で支え合い見守りあえる関係を築くきっかけとなるよう働きかけた。 <table><tr><th>項 目</th><th>ふれあい館 (通常版)</th><th>須屋 (地域版)</th><th>みどり館 (地域版)</th><th>泉ヶ丘 (地域版)</th></tr><tr><td>学習者</td><td>11人 150人</td><td>12人 230人</td><td>14人 191人</td><td>22人 366人</td></tr><tr><td>サポーター</td><td>12人 144人</td><td>8人 139人</td><td>8人 135人</td><td>11人 165人</td></tr><tr><td>送迎 サポーター</td><td>2人 30人</td><td> </td><td>3人 31人</td><td>2人 30人</td></tr></table> ※人数(上段:実人数、下段:延べ人数)		項 目	ふれあい館 (通常版)	須屋 (地域版)	みどり館 (地域版)	泉ヶ丘 (地域版)	学習者	11人 150人	12人 230人	14人 191人	22人 366人	サポーター	12人 144人	8人 139人	8人 135人	11人 165人	送迎 サポーター	2人 30人		3人 31人	2人 30人	実 施 日 時	通年
		項 目	ふれあい館 (通常版)	須屋 (地域版)	みどり館 (地域版)	泉ヶ丘 (地域版)																	
		学習者	11人 150人	12人 230人	14人 191人	22人 366人																	
		サポーター	12人 144人	8人 139人	8人 135人	11人 165人																	
		送迎 サポーター	2人 30人		3人 31人	2人 30人																	
		実 施 場 所	左記記載																				
対 象 者	65歳以上の方																						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
82	認知症サポーター養成事業	継続	合志市受託事業																				
認知症高齢者等と家族を支えるため、認知症への対応(予防、早期発見、ケア等)を行うマンパワーや拠点などの「地域資源」をネットワーク化し、相互連携を図りながら有効な支援体制の構築を目的に実施した。 【認知症サポーターの養成】 認知症の方との関わり方や、地域の中で認知症の方が穏やかに生活し続けていけるためにできることを考えるきっかけとして、住民・子ども・子育て親子・企業に「にわか劇」や認知症の動画等を用いて実施した。 ○ 実施回数・養成人数／13回・863人		実 施 日 時	通年																				
		実 施 場 所	公民館 小学校等																				
		対 象 者	市民全般																				
		人 数	861人																				

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
87, 91	認知症地域支援体制構築等推進事業 脳ケアルーム事業	継 続	合志市受託事業
MCI・認知症初期症状がある方への支援として、週1回の居場所を本会の拠点にて開催。認知症予防で参加する高齢者も増え、参加者自身の予防に対する意欲が感じられた。 【脳ケアルーム】 (日程) 毎週火曜日 10:00～11:30 (場所) ふれあい館 (開催回数) 45回 (メンバー) 延べ441人 (サポーター) 延べ245人 ※見学者、12名(内、13名が継続) 【脳ケアルームサポーター定期研修】 (日程) 2回 (受講人数)延べ33人		実 施 日 時	通年
		対 象 者	MCI 認知症初期
		延 べ 人 数	左記記載
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
88	認知症関連地域支援組織化事業(講演会)	継 続	合志市受託事業
本会で養成した認知症サポーターの中から有志で登録をいただいた方々を「ささえ愛隊」と名付けて、認知症の方を地域で支える活動を行う。 主な活動としては、徘徊行動による行方不明者が出た際にLINE配信を活用し、見守り活動を行ってもらった。また、認知症啓発のための活動(事業所への啓発)や学習会・講演会を実施した。今年度は、福祉講演会と併せて開催し、上映会・講演会の2部制で行った。 ○講演会 令和7年9月28日(日) 13:00～17:00 上 映 「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～」 講 演 「認知症の母が命がけで教えてくれたこと」 講 師 信友 直子 氏 (映画監督) 内 容 認知症の母親を介護する父親の姿を娘である信友監督が撮影したもので、在宅介護や老々介護の現実が描かれている作品。上映後、映画の裏話や家族介護の詳細、現状を話して頂いた。 参加者数 497人		実 施 日 時	左記記載
		実 施 場 所	ふれあい館
		対 象 者	市民全般
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
89	認知症地域支援体制構築等推進事業 ささえ愛ネットワーク模擬訓練、家族支援	継続	合志市受託事業
認知症に対する正しい理解を促進し、支援の輪と認知症予防に関する知識の普及を目的に研修会及び家族支援を実施した。医療機関や福祉施設の協力により、医師・看護師・精神保健福祉士等にも参加していただき、身近なところで家族同士の情報交換の場となるつどいを定期的に開催した。 【家族のつどい】 計4回、参加者11人 スタッフ19人 【認知症カフェ】 計12回、参加者276人、ボランティア58人、スタッフ57人 【ささえ愛ネットワーク模擬訓練2025(中央小校区)】 11月22日(土) 参加者延べ69人		実 施 日 時	左記記載
		実 施 場 所	ふれあい館 ほか
		対 象 者	ささえ愛隊 当事者・家族

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																
90, 93	認知症関連地域支援組織化事業 (ささえ愛隊協働・チームオレンジ・アクティブチーム登録業務)	継続	合志市受託事業																																
【ささえ愛隊公式LINE開設】 ささえ愛隊公式LINEアカウントを開設し不明者情報の発信などに活用している。 ・LINE登録:267件・LINE配信数合計:2,349件 ・行方不明情報2件発生、その他情報発信5件		実施日時	左記記載																																
		実施場所	ふれあい館 ほか																																
		対象者	ささえ愛隊 当事者・家族																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																
94～97	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 終活講座、スマホ講座、農園活動講座、珈琲講座、バルーンアート講座	継続	合志市受託事業																																
高齢者がその知識と経験を生かし、希望と能力に応じた生産又は創造的活動に参加することによって、老後の生きがいを高め、その生活を健康で豊かなものにする ことを目的に実施した。今年度新規講座として、珈琲講座を開催した。		実施日時	左記記載																																
		実施場所	左記記載																																
		対象者	市民 (65歳以上)																																
		人数	148名																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th><th>協力施設</th><th>日数</th><th>延人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>終活講座</td><td>ふれあい館</td><td>16日</td><td>246人</td></tr> <tr> <td>スマートフォン講座</td><td>ふれあい館・高専</td><td>6日</td><td>83人</td></tr> <tr> <td>エンジョイファーム講座</td><td>市内農家・農大</td><td>7日</td><td>107人</td></tr> <tr> <td>珈琲講座</td><td>武蔵焙煎工房</td><td>8日</td><td>76人</td></tr> <tr> <td>バルーンアート講座</td><td>ふれあい館</td><td>3日</td><td>26人</td></tr> <tr> <td>木工基礎教室</td><td>中央公民館工芸室</td><td>3日</td><td>36人</td></tr> <tr> <td>料理入門教室</td><td>ふれあい館</td><td>2日</td><td>31人</td></tr> </tbody> </table>		講座名	協力施設	日数	延人数	終活講座	ふれあい館	16日	246人	スマートフォン講座	ふれあい館・高専	6日	83人	エンジョイファーム講座	市内農家・農大	7日	107人	珈琲講座	武蔵焙煎工房	8日	76人	バルーンアート講座	ふれあい館	3日	26人	木工基礎教室	中央公民館工芸室	3日	36人	料理入門教室	ふれあい館	2日	31人		
講座名	協力施設	日数	延人数																																
終活講座	ふれあい館	16日	246人																																
スマートフォン講座	ふれあい館・高専	6日	83人																																
エンジョイファーム講座	市内農家・農大	7日	107人																																
珈琲講座	武蔵焙煎工房	8日	76人																																
バルーンアート講座	ふれあい館	3日	26人																																
木工基礎教室	中央公民館工芸室	3日	36人																																
料理入門教室	ふれあい館	2日	31人																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																
81,98, 99	生きがい特別講座の開催 シニア活動の各種多方面からの促進	新規	合志市受託事業																																
高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の実施講座から、自主グループ(組織化)に向けて働きかけ、助成または活動支援を行った。 ① 木工やろう会 参加者数:会員 10人、延べ 92人 活動内容:生きがいの木工製作に励みながら、木工製作で地域に社会貢献をする。社協主催の木工教室での講師補助や社協玄関前のベンチ3台を作製し寄贈した。 ② 男の出前キッチン“かせするモン” 参加者数:会員17人、延べ147人 活動内容:料理教室で習った料理を介して、地域でささやかな社会奉仕活動をする。ありがとうカフェでのデザート提供、ささえあい徘徊模擬訓練で、カレーを提供した。また“料理入門教室”の講師補助として参加した。 ③ 聞き書きサークルふれあい隊 会員:5人 活動内容:地域の高齢者を語り手に、聞き書き本を製作するボランティア。今年度は、家族2名の聞き書き本を作成した。講座講師であった、熊保大竹熊教授と交流をはかり、アドバイスをいただいている。 ④ もりもりなかま 会員:5人 エンジョイファーム講座受講生により結成し、メンバーそれぞれが得意分野を教え合い、地域貢献活動へとつなげている。		実施日時	通年																																
		実施場所	ふれあい館																																
		対象者	市民(シニア世代)																																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																							
100, 101	生活・介護支援サポーター養成・登録管理事業 元気応援サポーター養成・登録管理事業	継続	合志市受託事業																							
地域の高齢者や障がい者等の生活ニーズに応える仕組みを安定的に持続するため、市民が主体的に運営する新たな住民参加サービス等の担い手としての育成に努めた。受講者にサポーター認定制度を取り入れ、啓発と地域での積極的活動へ促進を図った。また今年度も入門的研修(基礎講座)と位置づけ、受講者を市認定の「元気応援サポーター(訪問型Aサービス活動者)」としての認定・登録管理を行った。 <table><tr><td>講座種別</td><td>認定数</td></tr><tr><td>生活介護支援サポーター (エグゼクティブサポーター)</td><td>182人</td></tr><tr><td>介護予防サポーター</td><td>10人</td></tr><tr><td>サポーター種別</td><td>登録数</td><td>実働数</td></tr><tr><td>ぽっかぽかサポーター</td><td>87人</td><td>18人</td></tr><tr><td>元気応援サポーター</td><td>25人</td><td>10人</td></tr></table> <table><tr><td>養成種別</td><td>受講時間</td><td>参加人数</td><td>新規登録人数</td></tr><tr><td>入門的研修(基礎講座) (その他講座)</td><td>3時間 16.5時間</td><td>12人</td><td>12人</td></tr></table>		講座種別	認定数	生活介護支援サポーター (エグゼクティブサポーター)	182人	介護予防サポーター	10人	サポーター種別	登録数	実働数	ぽっかぽかサポーター	87人	18人	元気応援サポーター	25人	10人	養成種別	受講時間	参加人数	新規登録人数	入門的研修(基礎講座) (その他講座)	3時間 16.5時間	12人	12人	実施日時	6月～7月
		講座種別	認定数																							
		生活介護支援サポーター (エグゼクティブサポーター)	182人																							
		介護予防サポーター	10人																							
		サポーター種別	登録数	実働数																						
ぽっかぽかサポーター	87人	18人																								
元気応援サポーター	25人	10人																								
養成種別	受講時間	参加人数	新規登録人数																							
入門的研修(基礎講座) (その他講座)	3時間 16.5時間	12人	12人																							
実施場所	ふれあい館																									
対象者	一般住民 家族介護者等																									
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																							
102	家族介護教室事業(スーパー・サポーター認定)	継続	合志市受託事業																							
高齢者を介護している家族等に対し、介護方法や介護予防、また家庭で起こる緊急時の対応や福祉制度等の基礎知識や技術を習得させるための家族介護教室(＝今年度より介護教室と名付け)を開催した。また、今年度も、「生活・介護支援サポーター養成事業」と同時開催した。 <table><tr><td>日程</td><td>テーマ</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>5月23日</td><td>介護に関する基礎知識、高齢者の理解</td><td>1人</td></tr><tr><td>5月28日</td><td>口腔ケア、認知症の理解</td><td>1人</td></tr><tr><td>5月30日</td><td>障がいの理解、介護予防・認知症予防に使える体操</td><td>1人</td></tr><tr><td>6月4日</td><td>高齢者に必要な栄養と食事</td><td>1人</td></tr><tr><td>6月6日</td><td>基本的な介護方法、介護における安全確保</td><td>1人</td></tr><tr><td>9月28日</td><td>上映会「ぼけますから、よろしくお願いします～おかえり お母さん～」 講演会 信友 直子 氏 「認知症の母が命がけで教えてくれたこと」</td><td>416人</td></tr></table> 福祉講演会は、認知症予防啓発講演会と併せて開催し、第1部を上映会、第2部を講演会と2部制で行った。		日程	テーマ	参加者数	5月23日	介護に関する基礎知識、高齢者の理解	1人	5月28日	口腔ケア、認知症の理解	1人	5月30日	障がいの理解、介護予防・認知症予防に使える体操	1人	6月4日	高齢者に必要な栄養と食事	1人	6月6日	基本的な介護方法、介護における安全確保	1人	9月28日	上映会「ぼけますから、よろしくお願いします～おかえり お母さん～」 講演会 信友 直子 氏 「認知症の母が命がけで教えてくれたこと」	416人	実施日時	ふれあい館		
		日程	テーマ	参加者数																						
		5月23日	介護に関する基礎知識、高齢者の理解	1人																						
		5月28日	口腔ケア、認知症の理解	1人																						
		5月30日	障がいの理解、介護予防・認知症予防に使える体操	1人																						
6月4日	高齢者に必要な栄養と食事	1人																								
6月6日	基本的な介護方法、介護における安全確保	1人																								
9月28日	上映会「ぼけますから、よろしくお願いします～おかえり お母さん～」 講演会 信友 直子 氏 「認知症の母が命がけで教えてくれたこと」	416人																								
実施場所	介護者・一般																									
対象者	延べ394人																									

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
103	生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第1層) 生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第2層)	継続	合志市受託事業
○第1層生活支援コーディネーター 活動件数 445件 ○生活支援協議体の開催 【第1層生活支援協議体】 高齢者の健康寿命の延伸をテーマにボランティアを通じた健康づくりを促進する 「介護予防ボランティアポイント」の活性化を協議体で検討。 第1層協議体開催回数:4回(参加者延べ74人)		実施日時	左記記載
		実施場所	市内全域
		対象者	左記
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
104	生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第1層)その2 生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第2層)その2	継続	合志市受託事業
【第2層生活支援協議体】 (西部) ① 地域ケア会議にて、施設入所後に地域の友人との繋がりが薄くなることが課題として挙がり、施設と地域をつなぐ取り組みについて、協議することを目的に開催。 開催日:12月3日 開催場所:むべの里みよし 延べ11名 ○こうしぼちぼち元気ポイント制度 健康づくり、元気づくりの活動を登録し、週1回以上の通いの場創設を促す。 参加団体:8団体 登録者数:332人 ○第2層生活支援コーディネーター 主に旧西合志町を担当。本会の地域福祉コーディネーターやボランティアセンターと連携し、通いの場の活性化や人材育成・把握に努めた。 第2層生活支援コーディネーター業務(西部圏域)・活動件数433件			
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
103, 104	生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第1層)その3 生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第2層)その3	継続	合志市受託事業
○地域げんきフォーラムの開催:令和8年2月7日(土) 地域のお宝報告会&お裾分け会として、様々な地域団体にスポットをあて、活動の報告会を実施。また、フォーラム終了後は、手作りの手芸品等のお裾分け会を開催した。 【パネルディスカッション】テーマ:地域のお宝報告会&お裾分け会 ファシリテーター:鶴山氏(さわやか福祉財団 常務理事) パネリスト:①サロンの調査報告②東須屋ミニサロン③憩い体操クラブ ④元気市⑤健活教室 会場参加:40名		実施日時	左記記載
		実施場所	ふれあい館
		対象者	左記記載

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
105	買い物支援(お出かけ応援プロジェクト)	継続	合志市受託事業																				
生活支援体制整備事業の一環として、他分野に渡る行政や企業との連携・協力により、ご自身で買い物に行けない方への生活支援・閉じこもり予防・つながりづくりを目的に移動販売を展開。4年が経過、利用者も定着しつつある。また、本活動から新たな通いの場も生まれている。 ①南部ルート(泉ヶ丘市民センター・笹原公民館・西須屋団地公民館・南陽公民館・須屋市民センター・南須屋学習センター※上半期のみ) ○運行回数:22回 , 延べ利用者数:1,368人 ②北部ルート(野々島市民センター・上庄公民館・みどり館・すずかけ台住民サロン) ○運行回数:24回 , 延べ利用者数:883名		実施日時	左記記載																				
		実施場所	ふれあい館ほか																				
		対象者																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
106	法律相談	継続	合志市受託事業																				
熊本県弁護士会の協力により月2回法律相談を実施。弁護士に無料で相談できる機会とあって、毎回キャンセル待ちが出る状況であるため、毎月1日の9時からを受付開始日とし、初回相談者を優先とすることで一人でも多くの市民が相談できるよう配慮した。 ・日程:毎月2回(第2水曜日、第4木曜日) 午後1時～午後3時半(1組30分×5組) ・場所:ふれあい館 ・相談件数:125件(相談者実数118人) <table><tr><td>相談内容内訳:</td><td>相続</td><td>42件</td><td>近隣トラブル</td><td>12件</td></tr><tr><td></td><td>不動産</td><td>18件</td><td>借金</td><td>8件</td></tr><tr><td></td><td>離婚</td><td>14件</td><td>家庭内トラブル</td><td>6件</td></tr><tr><td></td><td>その他</td><td>25件</td><td></td><td></td></tr></table> ・キャンセル待ち人数:64人		相談内容内訳:	相続	42件	近隣トラブル	12件		不動産	18件	借金	8件		離婚	14件	家庭内トラブル	6件		その他	25件			実施日時	左に記載
		相談内容内訳:	相続	42件	近隣トラブル	12件																	
			不動産	18件	借金	8件																	
			離婚	14件	家庭内トラブル	6件																	
	その他	25件																					
対象者	市民全般																						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
106	行政・心配ごと相談の実施	継続	合志市受託事業																				
地域住民のニーズをいち早くキャッチし、多様な相談内容に対応するために、行政相談員及び行政書士による相談支援を実施した。行政相談員と行政書士が同席することで、行政施策に関することや近隣トラブル、また相続に関する手続きなど幅広い相談内容に対応することができた。 ・日程:毎月1回(奇数月:第3木曜日、偶数月第1木曜日) 午前9時半～午前11時半(1組30分×4組) ・場所:ふれあい館 ・相談件数:37件(相談者実数40人) <table><tr><td>相談内容内訳:</td><td>行政施策</td><td>3件</td><td>相続手続等</td><td>22件</td></tr><tr><td></td><td>近隣トラブル</td><td>2件</td><td>不動産</td><td>3件</td></tr><tr><td></td><td>離婚</td><td>1件</td><td>その他</td><td>6件</td></tr></table> ・キャンセル待ち人数:2人		相談内容内訳:	行政施策	3件	相続手続等	22件		近隣トラブル	2件	不動産	3件		離婚	1件	その他	6件	実施日時	左に記載					
		相談内容内訳:	行政施策	3件	相続手続等	22件																	
			近隣トラブル	2件	不動産	3件																	
			離婚	1件	その他	6件																	
対象者	市民全般																						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
107～109	ほっとラインの発行(年12回) 、地域福祉広報強化推進事業、ホームページ運営 SNS開設運営(YouTube)	継続	独自事業															
毎月、百いき体操や口腔体操など高齢者だけでなく幅広い年齢層の方が気軽に自宅で行える体操動画をYouTubeで配信した。広報誌やカレンダー・高齢者サロンで配布するサロン通信に二次元コードを掲載したことで若い世代にも活用していたことができた。 1 ほっとラインの発行 (ア) 毎月発行(年間12回)、ポスティングにて全戸配布、総発行299,405部 ※ホームページは随時更新・発信 ホームページ閲覧件数:108,000件 2 種別広報 (ア) ふれあいサロン情報等の種別広報発行(月1回) (イ) ファンクショナル(実用的な)広報のあり方、掲示板へのチラシ掲載 広報誌のテーマは時流に合わせて検討した。		実施日時	通年															
		対象者	市民全般															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
110～112	出前講座・職員派遣事業 視察受け入れ、社会福祉関係講習会講師派遣	継続	独自事業															
1 視察研修・情報交換受入事業 ○受入回数:6回 ○研修内容 生活支援体制整備事業、ぽっかぽかサポート、地域づくり 2 出前講座・職員派遣事業 ○今年度回数: 計39回 ○出前先: 民生児童委員、自治会、地域福祉連絡協議会、ボランティア団体、老人会、子ども会、自主活動企業 ○講座内容 認知症サポーター、運動指導(介護予防)、認知症予防、災害関連、地域福祉、福祉体験、eスポーツを通じたボランティア等		実施日時	左記記載															
		実施場所	市内全域															
		対象者	左記記載															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
113, 114	社会福祉士育成支援事業 教職員福祉体験実習支援事業	継続	独自事業															
社会福祉士や介護福祉士の資格取得のため、またボランティア体験等を通じ、福祉の仕事に対するやりがいや関心を高めてもらう、福祉人材育成の推進を行った。 また、社会福祉士においては育成の新カリキュラムが始まったことで、より多くの学生受け入れを行っている。 今年度の実績		実施日時	左記記載															
		実施場所	ふれあい館															
		対象者	左記記載															
<table><tr><th>学 校</th><th>人 数</th><th>内 容</th></tr><tr><td>熊本学園大学</td><td>4人</td><td>社会福祉士</td></tr><tr><td>九州看護福祉大学</td><td>4人</td><td>社会福祉士</td></tr><tr><td>YMCA学院</td><td>1人</td><td>社会福祉士</td></tr><tr><td>阿蘇中央高校</td><td>9人</td><td>福祉活動研修</td></tr></table>		学 校	人 数	内 容	熊本学園大学	4人	社会福祉士	九州看護福祉大学	4人	社会福祉士	YMCA学院	1人	社会福祉士	阿蘇中央高校	9人	福祉活動研修		
学 校	人 数	内 容																
熊本学園大学	4人	社会福祉士																
九州看護福祉大学	4人	社会福祉士																
YMCA学院	1人	社会福祉士																
阿蘇中央高校	9人	福祉活動研修																

令和7年度 事業報告書

担 当 課	班
こども支援センター	こども支援センター班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

子育て世帯が求められる情報の把握・周知に努めつつ、家庭保育から仕事との両立、ひとり親家庭まで、幅広いニーズに応えられる体制を構築した。各家庭の状況を深く理解し、一人ひとりに寄り添う伴走型の支援を重視した結果、下記の通り事業を推進することができた。

(1) 地域子育て支援センター

各事業にて職員が相談支援を行い、入園や復職時期の情報共有を促進した。両立の難しさに悩む方や育児に専念中の方々の想いに寄り添い、それぞれの声に耳を傾ける姿勢を大切にしながら、伴走型の支援を行った。

(2) 児童センター(西児童館)運営

地域へのアウトリーチ支援(出張児童館など)を前年度に引き続き実施することができた。新たな分野として、ダンス講師に依頼をし、ダンス体験イベントを実施。好評を得たこともあり、その後キッズフェスにも出演していただけた。各イベントにて新しいつながりができており、次年度の事業展開や中高生へのアプローチにもつながられる活動を行うことができた。

(3) 放課後児童健全育成事業

他課との交流では感染症の流行などもあったが、れんがの家やデイサービス利用者など、多世代交流、福祉教育の視点も踏まえた、包括的な実践を行うことができた。さらには支援員間の情報を常日頃から共有しつつ、児童の成功体験を増やせるように事前の声掛け等にも引き続き努めた。

(4) 病児・病後児保育事業

増築改修工事後、利用人数も増えた。4部屋に増えてからも、換気や湿度調整を行うことで、ウィルス拡散防止を徹底することができた。事前登録フォーム入力システムは継続して利用しており、利用者の負担軽減に繋がっている。入室の際の抗原検査を実施しつつ受入れを行った。

(5) ファミリーサポート事業

協力会員養成講座は8名の参加であったが、公開講座を含めた受講者は126名となり、多くの方に周知できる機会となった。全体交流会も昨年度に引き続き開催し、利用会員協力会員同士の情報交換につながることができた。送迎支援や特性のあるこどもの利用など、相談内容も複雑・多岐化しているものの、協力会員への活動協力への声かけ、行政をはじめとする関係機関との連携を図り保護者に寄り添う支援が出来るように努めた。

(6) 利用者支援事業

令和7年度より市から委託を受けて実施。幼稚園、保育園、事業所等へ訪問を行い、特色や雰囲気などを把握しておくことで、地域資源の情報を把握し、保護者への確実な情報提供に繋げることができた。出張ひろばについては、地域に根差したつどいのある場となっていた「ひかり」が今年度で終了となった。次年度は「みどり館」にて引き続き地域に向けて活動を行っていく。

(7) 子育て世帯訪問支援事業

令和7年度より市から委託を受けて実施。行政との連携不足やニーズをつかめなかったことで、利用はなかった。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) 子育て家庭が抱える多様なニーズへの相談業務に対応できる職員の相談援助技術の向上
- (2) 相談を受け止める体制づくりも含め、ICT活用による相談記録・子育て支援に関する情報の整理
- (3) 配置基準を満たすための人員配置の調整・確保

3 今後の方向性

- (1) 地域子育て相談機関として日常的な相談・ニーズ把握を行い、関係機関と連携した「切れ目ない支援体制」を発展させていく。
- (2) 安心できる子育ての環境を作るために、児童館や地域子育て支援センターが「身近な居場所」であることを周知すると同時に、成長支援を行いつつ安心して仲間づくりができる遊びや体験の場を提供する。
- (3) 事業を支えるボランティアや役員との信頼関係を継続しつつ、次世代の人材発掘や運営方法の最適化を検討する。地域福祉課等の他課と協働し、時代の変化に即した持続可能な体制を維持・構築する。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
116	子育て広報促進事業(相談含む)	継続	合志市受託事業															
(事業の内容、実績) 育児不安などの身近な相談の窓口として、登録、受付、相談コーナーを設置し、情報提供するとともに情報誌の発行を行った。合志市保健師の赤ちゃん訪問事業と連携し、こども支援センター事業の一覧チラシ配布を行った。母子手帳配布の際、あそびのへや・BPプログラムのチラシを配布し妊婦さんへの周知促進を図った。こども支援センターLINEでは行事の受付開始や報告、開館情報などを発信し情報提供を行った。 <実績数> ・こども支援センターだより・ほっとライン・・・毎月1回発行 ・ホームページ 常時掲載・更新 ・こども支援センターチラシ配布 毎回(市:赤ちゃん訪問時) ・LINE配信 イベント開催や募集時 登録者数 559名 <相談実績数> ・来所相談、コーディネート 3,689件 ・電話 905件		事業費	地域子育て支援事業 10,491千円															
		実施日時	月～土															
		実施場所	ふれあい館															
		対象者	妊婦、子育て世帯															
		人数	相談数 4,594件															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
117	あそびのへや(0～1歳:あかぐみ)	継続	合志市受託事業															
(事業の内容、実績) 同年齢の子どもを持つ親子の集まる場をつくり、育児力を育てることを目的に育児相談や情報交換、育児援助を行った。年齢ごとに開催することで、子育ての悩みも共有しやすく、悩みや不安の軽減につながっている。また、あかぐみ開催日時の中で、離乳食教室を開催。管理栄養士に直接相談できる場を設け、離乳食についてアドバイスを受け、月齢の近い親同士で情報共有を行った。 <利用実績> <table><tr><th>区分</th><th>実施日</th><th>実施回数</th><th>保護者</th><th>こども</th></tr><tr><td>あか組(0歳)</td><td>毎週水曜日</td><td>48回</td><td>481名</td><td>472名</td></tr><tr><td>離乳食教室</td><td>あかぐみ時、年4回</td><td></td><td>49名</td><td>48名</td></tr></table>		区分	実施日	実施回数	保護者	こども	あか組(0歳)	毎週水曜日	48回	481名	472名	離乳食教室	あかぐみ時、年4回		49名	48名	事業費	地域子育て支援事業
		区分	実施日	実施回数	保護者	こども												
		あか組(0歳)	毎週水曜日	48回	481名	472名												
		離乳食教室	あかぐみ時、年4回		49名	48名												
		実施日時	毎週水曜 10時30分～11時30分															
		実施場所	ふれあい館															
対象者	0歳																	
人数	自由参加 参加総数1,006名																	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
118	子育て社会体験事業	継続	独自事業															
(事業の内容及び実績) 就園前の子どもとその親が、公共の場所への外出などを通して、集団の中での様々な経験や自然体験をすることで社会性や感性を育てることを目的に実施した。 ○わっこくらぶ野外活動 ・実施回数 2回 (令和7年5月1日)(令和8年3月5日) ・参加者数 保護者13名、こども14名		事業費	地域子育て支援事業															
		実施日時	随時															
		実施場所	近隣の広場															
		対象者	就園前の親子															
		人数	参加者総数27名															

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																										
118	わっこくらぶ	継続	合志市受託事業																																										
(事業の内容、実績) 親子の集まりを毎週実施し、家庭保育中の親子の閉じこもりを予防、保護者のつながりができるようなきっかけづくり、育児相談、地域の子育て関連の情報提供などを行った。安全、安心して参加する中で、季節に合わせた様々な体験や音楽あそび、発達に応じた運動遊びなどができるように活動を行った。 <利用実績> ・実施回数 41回 ・参加人数 保護者 484名 こども 512名 講師 3名		事業費	地域子育て支援事業																																										
		実施日時	毎週木曜日																																										
		実施場所	ふれあい館																																										
		対象者	就園前の親子																																										
		人数	登録あり自由参加 参加総数996名																																										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																										
126	地域子育て文化交流事業	継続	独自事業																																										
(事業の内容、実績) 乳幼児を持つ親子が気軽に音楽に触れる機会や、文化的体験に参加して子育ての負担感をなくし子どもと一緒に楽しむ機会を地域住民の協力により実施した。 <table><tr><th>内容</th><th>回数</th><th>保護者</th><th>こども</th><th>その他</th><th>合計</th></tr><tr><td>クリスマスコンサート</td><td>1</td><td>105</td><td>106</td><td>4</td><td>215</td></tr><tr><td>音楽会</td><td>1</td><td>15</td><td>31</td><td>5</td><td>51</td></tr><tr><td>餅つき</td><td>1</td><td>12</td><td>12</td><td>3</td><td>27</td></tr><tr><td>ミュージックケア</td><td>2</td><td>34</td><td>35</td><td>0</td><td>69</td></tr><tr><td>茶話会</td><td>1</td><td>7</td><td>6</td><td>0</td><td>13</td></tr><tr><td>DANパネ団</td><td>1</td><td>10</td><td>27</td><td>2</td><td>39</td></tr></table>		内容	回数	保護者	こども	その他	合計	クリスマスコンサート	1	105	106	4	215	音楽会	1	15	31	5	51	餅つき	1	12	12	3	27	ミュージックケア	2	34	35	0	69	茶話会	1	7	6	0	13	DANパネ団	1	10	27	2	39	事業費	地域子育て支援事業 共同募金 他
		内容	回数	保護者	こども	その他	合計																																						
		クリスマスコンサート	1	105	106	4	215																																						
		音楽会	1	15	31	5	51																																						
		餅つき	1	12	12	3	27																																						
		ミュージックケア	2	34	35	0	69																																						
		茶話会	1	7	6	0	13																																						
DANパネ団	1	10	27	2	39																																								
実施回数	6回																																												
実施場所	ふれあい館																																												
対象者	就園前の親子																																												
延利用数	292名																																												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																										
119	障がいをもつこどもの支援	継続・新規	共同募金配分金																																										
(事業の内容、実績) 発達に心配のある児童が、音楽や遊び(運動・おもちゃ)を通して心の安定をはかり、身体機能の発達を促すと共に、仲間との関係づくりを行っていくことを目的に実施した。専門知識を持ったボランティアの協力を得ながら取り組み、療育への足がかりとなるように実施した。また、障がい児の親の会については、新たに親の会(まあぶる)が立ち上がり、情報交換をはじめこどものこと、育ちのこと、家庭のことなど日頃の生活での不安や悩みを共有する機会を作ることができた。 ○おもちゃ図書館ちゃちゃちゃ 実施回数 12回・保護者78名・子ども90名・ボランティアその他52名 ○親の会(まあぶる) 実施回数 11回 保護者76名 子ども5名		事業費	障害者福祉活動費																																										
		実施日時	毎月第4土曜日 年間計画による																																										
		実施場所	ふれあい館																																										
		対象者	障がいもつ子どもと 保護者																																										
		人数	301名																																										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
127～130	利用者支援事業　子育て出張ひろば	継続	独自事業										
(事業の内容、実績) 妊娠・出産・育児と切れ目のない地域子育て相談機関として相談体制を充実させ、地域住民との活動を展開し、だれもが安心して子育てできる環境づくりを行う。地域に出向くことで、ふらっと気軽に来られる居場所を作る。 ＜利用実績＞ 南ヶ丘福祉支援センター　ひかり ・実施回数　39回　・相談件数:137件　・参加人数　保護者295名 子ども310名　研修参加者:13名　合計:618名 黒石原コミュニティーセンター ・実施回数　11回　・相談件数:9件　・参加人数　保護者62名　子ども67名 ボランティア:2名　合計:131名 ・社会資源との連携 <table><tr><td>サロン</td><td>つどい</td><td>保育園</td><td>その他</td><td>合計</td></tr><tr><td>21件</td><td>4件</td><td>21件</td><td>24件</td><td>70件</td></tr></table> ・広報配布(ポスティング等):714件　・広報掲載:1件		サロン	つどい	保育園	その他	合計	21件	4件	21件	24件	70件	事業費	地域子育て支援事業
		サロン	つどい	保育園	その他	合計							
		21件	4件	21件	24件	70件							
		実施日時	毎月/月曜日										
		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター 黒石原コミュニティーセンター										
対象者	就園前親子												
人数	749名												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
120	にこにこツインズ(ふたごちゃんのつどい)	継続	合志市受託事業										
(事業の内容、実績) 同じ悩みをもつ家族同士の集いの場を提供し、仲間づくりや情報交換をしながら、育児不安を解消する力を育むことを目的に開催した。 妊娠中の方の参加もあり、会を通してタイムリーな情報を得る事で多胎児育児のコツを知ったり、多胎児に特化した悩みや大変さ、子育ての喜びを共有したりする中で原動力となり、同じ境遇の方との繋がりが作りのきっかけとなった。また、ツインズの以前の参加者もボランティアで参加してもらい、子育ての不安に寄り添う体制も作ることが出来た。 ＜利用実績＞ 実施回数　3回 参加人数　保護者　7名　こども　8名　きょうだい児1名		事業費	地域子育て支援事業										
		実施日時	原則奇数月 第2月曜日10時半～										
		実施場所	ふれあい館										
		対象者	多胎児をもつ保護者 (妊婦も含む)										
		人数	16名										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
120-122	講習会の実施	継続	合志市受託事業										
(事業の内容、実績) 育児不安の解消や親子の愛着を深めることを目的に各種講習や年齢に合わせた保育講座や、子育て講演会は中高生の参加申し込みが多く、2部屋に分けて実施した。 ○離乳食教室 実施回数　4回(4.7.10.2月) 参加人数　保護者　49名、子ども　48名　その他　2名 ○BPプログラム 実施回数　4回(5.9.11.2月) 参加人数　保護者75名、子ども　75名 ○子育て講演「命の大切さについて」講師:田尻由貴子氏 参加人数　(保護者27名　子ども27名　中高生61名　その他12名) 合計127名		事業費	地域子育て支援事業										
		実施日時	左記										
		実施場所	ふれあい館										
		対象者	各時期にあった親子 とボランティア										
		人数	376名										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																										
123	BP(親子の絆づくりプログラム事業)	継続	合志市受託事業																										
(事業の内容、実績) 初めて子育てをする親子が集まり、育児の喜びや困りごと、親としての迷いなどを話し合いながら、親育ちのプログラムにより0歳時期に知っておきたい子育てについて必要な知識を学び、自分にあった子育てについて考え、悩みの解決・まわりの助けを得ることに気づき、あかぐみへの参加につながった。2ヶ月訪問時に市の保健師を通じて周知、チラシ配布を行うことができた。また、令和6年3月よりGoogleフォームの予約方法を取り入れている。 <table><tr><td></td><td>5月</td><td>9月</td><td>11月</td><td>2月</td></tr><tr><td>開催日数</td><td>4回</td><td>4回</td><td>4回</td><td>4回</td></tr><tr><td>保護者</td><td>29</td><td>15</td><td>12</td><td>19</td></tr><tr><td>子ども</td><td>29</td><td>15</td><td>12</td><td>19</td></tr></table> ○「パパのためのBPプログラム」を今年度も開催することができた。パパ同士、子育ての悩みや困りごと等を話し合うことで積極的に子育てに関わっていきこうと前向きにな <table><tr><td>開催日</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>7/13(日)</td><td>8組(計24人)</td></tr><tr><td>2/8(日)</td><td>5組(15人)</td></tr></table> 様子であった。			5月	9月	11月	2月	開催日数	4回	4回	4回	4回	保護者	29	15	12	19	子ども	29	15	12	19	開催日	参加人数	7/13(日)	8組(計24人)	2/8(日)	5組(15人)	事業費	地域子育て支援事業
			5月	9月	11月	2月																							
		開催日数	4回	4回	4回	4回																							
		保護者	29	15	12	19																							
		子ども	29	15	12	19																							
		開催日	参加人数																										
7/13(日)	8組(計24人)																												
2/8(日)	5組(15人)																												
実施日時	年4回(5/9/11/2月)																												
実施場所	ふれあい館																												
対象者	2～5ヵ月までの親子 1回5～12組																												
参加述数	189名																												

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																																						
124	子育てサロン事業	継続	その他の事業																																																																						
(事業の内容、実績) 地域のボランティア、民生委員児童委員の方が中心となり、支えあい安心して子育てができるような地域を目指して開催した。 <利用実績>								--------------	----	-----	-----	--------	-----		サロン名	回数	保護者	子ども	ボランティア	合計		ばおぞう(笹原)	12	56	58	24	138		ひよこサロン(東須屋)	7	15	19	49	83		コアラサロン(武蔵野台)	11	20	25	39	84		サロン愛(南須屋)	12	136	128	49	313		パンダサロン(杉並台)	12	37	48	56	141		こぐまサロン(新開)	12	74	73	91	238		めだかサロン(野々島)	12	46	52	70	168			事業費	各サロンの助成金 270,180円(共同募金)
実施日時	月1回程度、7ヵ所																																																																								
実施場所	公民館等																																																																								
対象者	就園前の親子																																																																								
延利用人数	1,165名																																																																								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																																						
130	地域子育てふれあい交流事業	継続	独自事業																																																																						
(事業の内容、実績) 乳幼児から高齢者、障がいを持った方や地域の方、ボランティア、民生委員児童委員などとの交流を促進し、孤立しがちな核家族の親子が異世代の交流を通してつながりを持ち、大切なことの伝承や人とふれあうことで、互いに理解を深め、支えあう地域づくりを目的に実施している。さらにはサロンボランティアにも声掛けし、就園前の親子を対象にした『子育て交流運動会』を実施した。 <活動実績> ・日時 11月1日(土) ・参加者数 保護者55人 子ども34人 その他2人		事業費	地域子育て支援事業																																																																						
実施日時	11/1(土)																																																																								
実施場所	野々島防災センター																																																																								
対象者	就園前の親子																																																																								
延利用数	91名																																																																								

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
131 132	児童センター設置運営事業	継続	合志市受託事業																								
(事業の内容、実績) 地域の子どもたちが健全な遊びを通じて、健康や体力を増進し、情操を豊かにしていくための施設として設置・運営した。 ゆうぎしつ・あそびにわ、児童図書の設置、おもちゃの貸出・管理、利用者登録管理、子育て支援の情報提供と相談、安全点検管理を行った。 引き続き感染対策として換気や遊具消毒などを実施して開館した。 <開設日数>287日 <開設時間>午前9時00分～午後12時00分 午後1時00分～午後5時00分(土曜日は4時30分)(日曜日は休館) <新規登録>こども 974名 保護者・大人 876名 <利用者数>幼児 4,451名 小学生 127名 中・高校生1名 保護者3,434名		事業費	児童センター事業 5,400千円																								
		実施日時	月曜日～土曜日(休館:日祝日・年末年始・)																								
		実施場所	ふれあい館																								
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族																								
		人数	8,013名																								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
138	キッズフェス	継続	合志市受託事業																								
(事業内容) 子どもが気持ちを発散して遊ぶことができる場を設け、子ども達が自ら活躍し、感性や創造力を養う。こどもの興味や関心を引き出しながら、親子で楽しむ。様々な人達と関わる事で、コミュニケーション力の向上及び社会性を身につける機会とする。また、親子で遊びの楽しさや面白さ、他者と関わる事の嬉しさを感じる。活動を通して市民との繋がりを持ち、合志市社協(共同募金会)や西児童館の取り組みを周知する。 (単位:名) <table><tr><td></td><td>保護者</td><td>幼児</td><td>低学年</td><td>高学年</td><td>中学生</td><td>高校生</td><td>合計</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>244</td><td>161</td><td>82</td><td>7</td><td>5</td><td>1</td><td>500</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>262</td><td>178</td><td>72</td><td>46</td><td>5</td><td>1</td><td>564</td></tr></table>			保護者	幼児	低学年	高学年	中学生	高校生	合計	令和6年度	244	161	82	7	5	1	500	令和7年度	262	178	72	46	5	1	564	事業費	児童センター事業
			保護者	幼児	低学年	高学年	中学生	高校生	合計																		
		令和6年度	244	161	82	7	5	1	500																		
		令和7年度	262	178	72	46	5	1	564																		
		実施日時	R7.10.12(日)																								
実施場所	ふれあい館																										
対象者	合志市在住の親子 18歳までの児童																										
利用者数	564名																										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
138	クリスマスコンサート	継続	合志市受託事業																								
(事業内容) ふれあい館で開催することで、日頃音楽会を聴きに出かける機会が少ない高齢者や障がいを持っている方、子育て中の方、地域の方々が、演奏家による素敵な演奏を楽しむ機会を設ける。人が集まれば音楽が始まるをテーマに音楽に合わせて歌ったり、リズム打ちをしたりと一緒に音楽を楽しむ、音楽を通して異世代交流を図り、クリスマス装飾をした館内でクリスマスの雰囲気を感じ味わう。さらには日頃ふれあい館を利用している方の発表の場とすることで、目標に向かって意欲的に取り組み、達成感を味わう。 (事業実績) <table><tr><td></td><td>幼児</td><td>低学年</td><td>高学年</td><td>中学生</td><td>高校生</td><td>大人</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>64</td><td>26</td><td>12</td><td>3</td><td>1</td><td>105</td></tr></table>			幼児	低学年	高学年	中学生	高校生	大人	参加者数	64	26	12	3	1	105	事業費	児童センター事業										
			幼児	低学年	高学年	中学生	高校生	大人																			
		参加者数	64	26	12	3	1	105																			
		実施日時	R7.12.13(土)																								
		実施場所	ふれあい館 交流ホール、児童館																								
対象者	18歳までの子どもをもつ家族(合志市在住)																										
利用者数	211名																										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
133-136 141-144	児童厚生員の設置事業	単年度	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 遊びや生活を通して健全育成を行うと共に、子どもや保護者が抱えている課題に対応し関係機関に繋いだ。また、母親クラブ等の地域組織の育成及び支援や、『ちょこっとタイム』を行い、読み聞かせや手遊びなどを実施して親子で楽しむ時間となっている。イベント「キッズフェスティバル」では、自然をテーマに「移動水族館」を開催し、自然に住む様々な生き物や現象への関心を高めた。また「クリスマスコンサート」では、キッズクラブやわっこくらぶなど、普段からふれあい館を利用しているこども達も発表を行い、地域の方と共に楽しい時間を過ごすことが出来た。 <利用者数> ○文化交流行事 (フルートコンサート・キッズフェス・クリスマスコンサート ・木工遊び) 859名 ○月曜日～金曜日(木曜日を除く)“ちょこっとタイム”として、読み聞かせ・体操、手遊び・ふれあい遊び等を行い、子育て相談を実施。 108名 ○西児童館クラブ(地域組織活動育成事業)では、サークル活動運営・入会に関する相談支援等を実施。 ○月1回の避難訓練(火災・地震・不審者対策) 27名 ○相談対応 93件		事業費	児童センター事業
		実施日時	開館日:月曜日～土曜日 287日
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	1,665名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
134 139-140	親と子の食事セミナー自然体験活動事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 子どもの栄養・食を通じた心の健全育成や、家族団らんの食事の楽しさ等を学ぶため、食事に関する講習会を行うとともに、親子や親同士の交流事業を実施しており、食の大切さを知ってもらい、生きる力を育むことを目的に実施した。 <利用者数> あぐりっこくらぶ 87名 たけのこ掘り 29名		事業費	児童センター事業
		実施日時	土曜日・長期休暇中
		実施場所	ふれあい館・ふれあい農園
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	116名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
136	長期休暇等の児童館特別企画	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 長期休暇等の期間を活用し、地域の方を講師に招いたり、この時期にしかできない体験を行うことにより、感性を高め、仲間づくりや児童の健全な育成を図ることを目的に実施した。また、遊びの提供の場としてアウトリーチ(出張児童館)に取り組み、地域のボランティアとの協働により実施した。 <利用者数> ・出張児童館 8月24日(日) 野々島市民センター 62名 2月21日(土) みどり館 198名 ・調理活動 15名 ・砂絵遊び 15名		事業費	児童センター事業
		実施日時	休暇中
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	275名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
137	児童福祉週間特別事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 児童福祉週間に伴い、児童の健全育成や親子・地域のふれあい交流の啓発を目的として開催。標語や来館者による子どもへのメッセージの掲示を行った。地域のボランティアの方と共に、ふれあい館玄関外に多くのこいのぼり掲揚を行った。		事業費	児童センター事業
		実施日時	5月5日～11日
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
141	体力増進活動	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 運動やスポーツを通して心と身体の健康づくりや意欲向上を図り、児童やその家族が健康・体力活動に取り組むことによって、家庭での健康づくりを推進するために事業を実施している。 <利用者数> ダンス体験 14名 マラソン教室 12名		事業費	児童センター事業
		実施日時	土曜日
		実施場所	ふれあい館等
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	26名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
45 142	子育てサークル育成事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 子どもの社会性を育むための交流活動や保護者同士の情報交換、学習会、食育などを行う子育て中の親子が自主的に集まるグループ育成に努め、地域の「子育て力」を高め、共に育ち合う豊かな子育てを応援する事を目的として事業を実施した。活動が円滑に行われるために助成金の整備、場所の提供、活動内容の相談及び協力、会員の紹介等を行った。 <利用実績> ○アリスくらぶ(就学前親子) 遊びを通して親子で仲間作り。子育ての悩みや情報交換をしながら互いに育ちあう。 ○クッキングママ(就園前の親子と子育て中の親) 食育を通して仲間作り ○子育てサークル ファミリー(就学中の親子を中心に、様々な遊びを通して情報交換・仲間作りを行う。) ○西児童館クラブ定例会議を1回実施		事業費	各サークル助成金 60千円(共同募金)
		対象者	3団体
		実施場所	ふれあい館
		対象者	就学前親子
		延べ参加数	655名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
143 144	年長児(小学生年長児・中高生)等来館促進事業	単年度	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 音楽やスポーツ等を通して、同世代の交流・情報交換ができることを目的に居場所づくりを促進した。赤ちゃんふれあい交流では、赤ちゃんや保護者と関わり命の大切さや親への感謝、自己肯定感を高め将来の子育ての貴重な体験とし虐待予防につなげることを目的に開催した。今年度は講師を招いて「命の大切さ」について学ぶ機会とした。また、中高生の居場所づくりは音楽スペース開放を実施し、行事としてドラムレッスンを開催した。 <利用者数> 赤ちゃんふれあい交流体験 中高生 61名 中高生居場所づくり「奏」 7名		事業費	児童センター事業
		実施日時	中高生居場所作り 第3土曜日
		実施場所	このみ坂保育園
		対象者	小学年長児～ 高校生
		人数	68名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
145 146	ファミリーサポートセンター事業 コーディネーターおよびアドバイザーの設置	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 核家族化や都市化の進展により、家族や現行の保育サービスでは応じきれない保育ニーズを補完し、仕事と育児の両立を支援するために会員登録制による組織化を行った。会員相互による育児の援助活動の調整等を行うコーディネーターの設置により、保育ニーズに合わせた協力会員のコーディネート柔軟に対応し、市役所(子育て支援課・女性子ども支援課・保健師)、保育所や医療機関など子育て支援関連機関との連絡調整を行い、サポートセンター活動を展開した。また、南ヶ丘福祉支援センターでも登録・報告書の提出が可能に対応した。 <活動時間> 6時～22時 <利用料金> 月～金 7時～20時 700円、 早朝・夜間・土・日・祝日800円 ※市内在住の方は市が半額助成 <広報>ファミサポ通信		事業費	19,260千円
		実施日時	月曜日～土曜日 8時30分～17時30分
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～小学校6年生(障がいをもつ18歳)の保護者
		人数	会員総数 1,682名



令和7年度 放課後児童健全育成事業(キッズクラブ)

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
146 148	ファミリーサポートセンター事業 会員登録及びサービス利用の促進	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 必要とする方に周知するため、保育所や市内医療機関にサービスの説明やチラシの設置協力を行った。 また、産褥期や多胎児を育てる家庭の家事支援についての相談対応を継続し、育児不安に対応を行った。 <会員登録数> ・利用会員1,158名 協力会員460名 両方会員64人 <利用状況> ・活動件数791件 活動時間 1,386時間 ・月平均件数 66件 <主な内容> ・学校への送り 179件 ・保護者等の短時間・臨時的就労の場合 168件 ・保護者の外出の場合 165件		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	活動時間 6時～22時
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～小学校6年生 (障がいをもつ18歳)
		人数	会員総数 1,682名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
145～ 149	ファミリーサポートセンター事業 会員養成講習会および交流会の開催	継続	合志市受託事業
<養成講座> ファミリーサポート協力会員養成講座、24時間以上(全10日間) 延べ受講者数126名 新規登録協力会員数8名 <全体交流会> 会員の親交を深めるとともに、会員の情報交換の場を目的に開催した。 実施日時:令和8年2月15日(日) <u>参加総人数:73名</u> 参加者23組(大人32名/子ども27名 計59名) 子育てサークル(クッキングママ 大人7名/子ども7名) 内容)大道芸人フーミンパフォーマンスショー、会食、会員交流		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	全21日間
		実施場所	ふれあい館
		対象者	登録会員及び会員になりたい方
		人数	参加総数 199名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
150 151	緊急サポートネットワーク事業 深夜・お泊り支援の実施	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) ファミリーサポートでは対応できない お泊り保育を補うことで、より充実した援助活動を実施した。24時間対応携帯電話により緊急時の相談に対応した。 <利用料金> 小学生 4,000円 3歳～就学前 5,000円 3歳未満 6,000円 ※市が半額助成、その他実費負担あり <会員登録数> ファミサポ登録数に準ずる <利用状況> 利用件数 0件(1世帯)		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	20時～翌8時
		実施場所	原則 協力会員宅
		対象者	0歳～小学校6年生をもつ保護者
		人数	登録会員 1,682名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
150 151	緊急サポートネットワーク事業 病児預かり促進	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) ファミリーサポートでは対応できない病院受診・病児預かりを補うことで、より充実した援助活動を実施した。保育所・医療機関の協力もあり、スムーズに行うことができた。 <利用料金> 月～金 1,000円、土1,100円 (日・祝日の活動は原則として行わない) ※市が半額助成、その他実費負担あり <会員登録数> ファミサポ登録数に準ずる <利用状況> ・緊急サポート活動 (病児預かり14件)		事業費	ファミリーサポート センター事業
		実施日時	病児預かり7:30～20 病院受診9～18
		実施場所	原則協力会員宅
		対象者	0歳～小学校6年生 をもつ保護者
		人数	登録会員 1,682名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
152-156	病児・病後児保育事業「すこやか」	継続	合志市受託事業
(事業内容) 病中、または病気回復期にある子どもの預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上を目的に実施した。嘱託医の協力により、職員のスキルアップ研修実施や病状の変化を相談しながら保育を行った。預かりを通して、保護者に子育てや病気時の対応について助言し、病気のお子のお世話と仕事の両立をする保護者に寄り添う支援を行うことができた。感染防止の観点から1人1部屋の個別対応保育を継続した。今年度より3部屋から4部屋に増築し受け入れを行った。 <実績者数> 4部屋(1人1部屋 定員6名) ・総登録者数1,898名(新規登録 265名)・延利用数 657名(市外利用者118名) ・利用世帯状況(課税343非課税2非課税ひとり親12生活保護0) ・当日及び前日キャンセル 195名 ・基準に基づき利用不可111名 ・開設日数291日(日・祝日、12/27～1/4は休日) (利用料金/1日) 5時間未満は半額 課税世帯・・・2,000円 非課税世帯・・・1,000円 非課税ひとり親世帯・生活保護世帯・・・無料 *減免は、証明書提出		事業費	病児保育事業 14, 181千円
		実施日時	月～金7:30～18:00 土曜日7:30～13:30
		実施場所	ふれあい館
		対象者	市内、熊本市在住、保護者が市内に勤務する (2ヶ月～小学3年生など)
		人数	定員6名,利用総数 657名 (内市外118名)
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
156	月曜こども健康・育児相談	継続	独自事業
(事業の内容、実績) 子どもの健康や、育児に関する相談について、病児病後児担当の看護師またはこども支援センター保育士等が対応し、身近な相談窓口として育児不安の解消になるように寄り添った対応を心がけながら実施した。事前予約制を取り入れ、今年度よりふれあい館のみで実施。 <相談内容> 主なもの ・身体測定や発達等(言葉や発達遅延の悩み)に関すること ・離乳食に関すること (食事量・食事形態について) ・こどもの病気に関すること (アレルギーや皮膚トラブルの対応等) ・便秘等排泄に関すること ・睡眠、夜泣き、断乳に関する事、母親の体調に関すること		事業費	病児保育事業
		実施日時	毎週月曜日 10:00～11:20
		実施場所	ふれあい館
		対象者	全子育て世帯
		人数	67名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
157-161	キッズクラブの設置運営	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 保護者が労働等により昼間家庭での保育が困難な家庭を対象とし、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に各学校で実施している学童クラブでは対応できない19時以降の利用が必要な児童の預かりを優先して実施した。また、引っ越しや出産等、家族状況が急遽変わり、支援が必要な家庭についても迅速に対応した。ICTサービス「コドモン」の導入により、保護者の携帯端末から利用申請や連絡帳の閲覧等が可能となっている。請求書等のペーパーレス化に加え、保護者との連絡、入退室管理等、様々な点で有効活用している。交流に関して、コロナ禍前に行っていた保育園交流が再開できたが、その後の交流は、感染症の流行により急遽中。ビデオレターや祝い鶴の制作等、違う形で交流を行った。クリスマスコンサートでは、限られた時間の中で練習を頑張り、歌とダンスを披露。協力することの素晴らしさや達成感を感じる機会となった。 <利用料> ・基本料金 3,000円 ・月曜日～金曜日 300円(軽食付) ・土曜日・長期休暇等 600円(軽食付) <利用状況> ・延べ利用者 6,856名(平日平均利用数28名) 開所日数 266日		事業費	放課後児童健全育成事業費 9,601千円
		実施日時	月～金 放課後～20時 土 8時～19時 長期休暇 9時～20時 年間 266日開設
		実施場所	ふれあい館
		対象者	西合志東小、西合志南小、 西合志中央小 1～6年生
		人数	(年度当初)定員42名 (年度末)定員42名 延べ利用数 6,856名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
159 160	学童クラブ障がい児受入	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 障がいのある子どもが、学童クラブを利用する機会を確保し、子ども同士が生活を通して共に成長できるよう職員配置を行い、保護者や関係機関と連携をとり支援を行った。 (登録数) (延べ利用数) キッズクラブ 3名 342名 くすの木クラブ 2名 421名 (計) 5名 763名		事業費	障害児預かり事業 6,696千円
		実施日時	各学童クラブと同じ
		実施場所	各学童クラブと同じ
		対象者	障がいがある児童
		人数	登録数 5名 延利用数763名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
157-161	第一小学校地域学童クラブ(くすの木クラブ)の設置運営	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 保護者が労働等により昼間保育が出来ない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に実施した。学校との連携を密に取り、情報共有に努めた。また、地域の中にある学童として子どもたちに意識させるために、隣接する公園の清掃や長期休暇時には公共施設の活用、ボランティアさんによる木工遊び、調理体験や社協学童の交流等を行った。 <利用料> ・通常月 7,000円 ・4、7、12月 8,000円 ・8月 10,000円 ・土曜利用料 1回600円 ・延長利用料 200円/1回 <利用状況> ・延べ利用者数 4,649名 (平日平均利用 19名) 開所日数 265日		事業費	放課後児童健全育成事業 7,764千円
		実施日時	月～金 放課後～19時 土 8時～19時 長期休暇 8時～19時 年間 265日開設
		実施場所	立割老人憩いの家
		対象者	西合志第一小1～6年生
		人数	(年度当初)定員26名 (年度末)定員27名 延利用者数4,649名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
162 163	ひとり親家庭等日常生活支援事業 「生活援助員派遣事業」「子育て支援員派遣事業」	継続	合志市受託事業
(事業内容) ひとり親家庭等が修学や疾病等の理由により一時的に家事、育児等の日常生活に支障が生じた場合に、家庭生活支援員が児童の世話、家事等日常生活の支援を行うことを目的に家庭生活支援員の調整を行い、ひとり親家庭等の生活の安定や自立を支援した。 ※家庭生活支援員は熊本県家庭生活支援員養成講習会を修了したもので、生活援助員派遣はホームヘルパー3級以上の有資格者とする。及び、ファミリーサポート養成講座を受講したもの。 (利用実績) ・利用日数 57日 利用時間 94.5時間 (3世帯利用) ・延べ派遣 57人		事業費	事務費300円×日数 支援員活動費
		実施日時	4月～翌年3月
		実施場所	利用者自宅
		対象者	児童を養育する母子・父子家庭及び寡
		利用者数	57人 延べ利用数 57回
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
164	合志市子育て短期支援事業	継続	合志市受託事業
(事業内容) 保護者が仕事やその他の理由により夜間や休日に不在となる家庭において児童を養育することが困難となった場合や緊急の場合において、児童を保護し、食事等の提供。 (利用実績) 令和7年度利用なし		事業費	実施要綱基準額による
		実施日時	必要時に 市より依頼
		実施場所	こども支援センター
		対象者	保護者の仕事等により夜間等に不在
		利用者数	利用なし

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
115-116 165	合志市利用者支援事業	継続	合志市受託事業
(事業内容) 地域子育て相談機関として相談体制を充実させ、子育てサロンやこども食堂との連携を図り、地域住民主体による子育て支援を展開し、だれもが安心して子育てできる環境づくりを行う。 (活動内容) ・幼稚園、保育園へ訪問を行い、地域資源の情報を把握することで、子育て家庭への適切な情報提供を行う。 ・子育て家庭から日常的に相談を受け、個別のニーズを把握、各事業と連携を行い、スムーズな利用・支援に繋げる。 ・出張子育て広場を実施し、定期的につどうことのできる場所をかくつほすることで、保護者同士の繋がりを強化し、孤立を防ぐ。 (利用実績) ・令和8年1月31日(土)須屋市民センター9:00～ こどもの居場所&食堂 プレイイベント「よりみちベース」を開催した。 総数:50名 ボランティア:10名		事業費	
		実施日時	4月～3月
		実施場所	ふれあい館 南ヶ丘福祉支援センター 黒石原コミュニティセンター
		対象者	
		利用者数	ひかり:605人 黒石原:131人 相談件数:707件

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
166 167	合志市子育て世帯訪問支援事業	継続	合志市受託事業
(事業内容) 訪問支援員が、家事・子育て等に対して不安・負担を抱えた子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ (利用実績) 令和7年度利用なし		事業費	実施要綱基準額による
		実施日時	必要時に市より依頼
		実施場所	こども支援センター
		対象者	
		利用者数	利用なし

令和7年度 事業報告書

担 当 課	班
生活支援相談センター	生活支援班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

- (1) 生活困窮者自立支援事業(市受託事業)
 - ・ 市重層的支援体制実施計画に基づき、経済的課題のみならず、病気や就労・居住、介護、家族との関係や判断力低下による権利擁護等、多岐に渡る生活に関する相談に対応。新規相談件数は前年度に比べ減少しているが、ひきこもり支援や基幹相談支援センターの配置による相談事業の強化、相談員の人数(6名から5名)減少が要因と考えられるが、1人当りの相談支援実施(継続含)数は増加している。
 - ・ 「生活費や食べるものがない」「居所を退去しなければならない」「ライフラインが停止する」等、切迫した緊急性の高い相談に対して、生計困窮者レスキュー事業等活用し、迅速に伴走型の支援を実施した。
また、食料の確保や保管は、フードバンクをはじめ、継続して市民や企業・関係機関の協力を得ながら、物価高騰下における支援の一環として年2回フードパントリー(食糧配布会)を展開した。
 - ・ 今年度から新たに組み込んだひきこもり支援事業では、新規相談延べ57件、電話や訪問等延べ666件の相談支援を実施。さらには居場所支援(えがおのたね)の定期開催、関係機関とのネットワークづくり(連絡協議会の開催)、家族向け講演会など本事業の周知啓発も行った。
 - ・ 社会参加や就労に向けた支援が必要な方に対し、市内法人の協力(プラットフォーム事業)を継続しつつ、新たな内職事業所の開拓や農業経営者に体験から就労の場となるような働きかけを行った。
- (2) 地域福祉権利擁護事業(県社協受託事業)、法人後見事業(独自事業)
 - ・ 地域福祉権利擁護事業(地権)は、自立相談、生活保護、障がい支援機関など多様な関係機関から相談が挙がり、新規契約件数が8件と増加している。
 - ・ 法人後見事業においては、法人後見運営委員会(専門職・健康福祉部長等)で適切に行い、新たに2件受任(計5名)。また、法人後見受任者支援は、専門職及び家庭裁判所の助言を受け実施した。
- (3) 生活福祉資金貸付(県社協委託)、福祉金庫貸付
 - ・ 貸付対象とならないケースも多いが、生活困窮自立相談員へのつながりを行いつつ、さらには相談員からのつながりから、福祉金庫貸付を5件貸付実施した。
- (4) 新型コロナウイルス感染症特例貸付に関する償還業務
 - ・ 償還期限を迎える方について架電等行いながら状況確認し、償還が難しい方には、生活困窮自立相談員と連携しながら、意見書の提出を行い、償還猶予承認14件・償還免除10件が決定した。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) 複合化する課題への対応、長期化する継続相談数の増加に伴い、業務量は増加している。相談員のアセスメント力の向上と業務の効率化。
- (2) ひきこもり相談窓口のさらなる周知と同時に他機関と連携した事例検討等方向性を共有する場づくり。
- (3) 相談室、電話回線の確保や、ひきこもり支援事業における居場所支援開催場所の確保。

3 今後の方向性

- (1) 各相談員が対応するケースについて、ひきこもり支援事業も含め情報共有・見える化し、業務負担も考慮しながら複数での相談対応も検討した上で伴走支援、アウトリーチ支援に努める。
- (2) 地域居住支援事業が始まったことで、一層の生活困窮者と地域住民とのつながりの構築、支え合いの体制づくりが求められるため、市内企業や各種法人との協力体制、地域福祉課との連携による地域づくりの機能(地域資源開発)を果たす
- (3) 社内重層会議や重層的支援体制のネットワークにより専門職や専門機関と連携した支援を強化
- (4) 権利擁護事業や法人後見の受任体制の整備、身寄りのない高齢者等への支援体制構築の検討

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
166～ 170	(委)生活困窮者自立相談支援事業	継続	合志市受託事業																		
(事業内容) 経済的困窮のみならず、心身の問題、家庭の問題、就労の問題など複合的な課題に対して相談対応及び支援を行った。訪問(アウトリーチ)による対応を含め、自立支援計画(支援プラン)を作成し、法に基づく事業等(支援サービス)を活用し対応した。 (実績)・新規相談受付件数 298件(前年度393件) ・支援決定確認数 99件 ・評価実施件数 86件 ・相談援助数 6,768件(前年度7,556件) ・社労士相談 12件 (法に基づく事業等の活用)()は前年度 ・住居確保給付金 5(3)件 ・一時生活支援事業 2(1)件 ・家計改善相談支援事業 88(77)件 ・就労支援 31(30)件 ・就労準備支援事業 3(3)件 ・子どもの学習生活支援事業 26(29)件 ・地域居住支援事業 2(0)		根拠法	生活困窮者自立支援法																		
		実施日時	月曜日～金曜日 8:30～17:15																		
		実施場所	ヴァーブル																		
		対象者	合志市民																		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
170	緊急食糧支援業務	継続	その他 独自																		
(事業内容) 緊急対応が必要な方に各機関に協力を得ながら実施した。 ○生計困難者レスキュー事業(熊本県社会福祉法人経営者協議会社会貢献事業)、現行制度で対応が困難な方の支援(ライフライン確保、食糧支援等) ・支援回数 6件(前年度8件) ○市民・団体(フードバンクママトコ、日本非常食推進機構・子ども食堂・合志市商工会など)の協力によりいただいた食料等を現物給付で支援 ・食糧支援 402回(前年度239回)・物品支援 65回 ・給付内容: 米、レトルト副菜、缶詰、日用品、衣類など ・生活品貸出 炊飯器など 3件(前年度4件) ○熊本県生活困窮者に対する緊急・一時支援事業 ・対人直接支援数 39件(ライフライン確保等) ・フードパントリー(食糧・生活用品配布)延べ45世帯配布 ○共同募金緊急支援 フードパントリー(ミニ) 世帯配布		支援日	随時																		
		対象者	合志市在住 生活困窮者																		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
177 179	相談支援、支援計画の作成 福祉サービス利用援助、日常生活金銭管理	継続	県社協委託事業 独自																		
認知症や知的障がい、精神障がいなど判断能力が低下されている方を対象に利用者との契約に基づき、地域で安心して暮らせるよう福祉サービス利用援助を中心として、支援計画に沿った日常的な金銭管理サービス及び重要書類の預かり等の権利擁護支援を実施。緊急的に支援が必要な方の本会預かりサービス事業も実施した。 <table><tr><td></td><td>令和7年度</td><td>前年度</td></tr><tr><td>相談援助件数</td><td>3,470件</td><td>4,035件</td></tr><tr><td>新規契約締結件数</td><td>8件</td><td>2件</td></tr><tr><td>新規相談件数</td><td>22件</td><td>17件</td></tr><tr><td>終了件数</td><td>7件</td><td>4件</td></tr><tr><td>社協預かりサービス数</td><td>1名</td><td>2名</td></tr></table>			令和7年度	前年度	相談援助件数	3,470件	4,035件	新規契約締結件数	8件	2件	新規相談件数	22件	17件	終了件数	7件	4件	社協預かりサービス数	1名	2名	根拠法	社会福祉法第2条 第3項
			令和7年度	前年度																	
		相談援助件数	3,470件	4,035件																	
		新規契約締結件数	8件	2件																	
		新規相談件数	22件	17件																	
		終了件数	7件	4件																	
		社協預かりサービス数	1名	2名																	
実施日時	通年																				
実施場所	ヴァーブル																				
実施機関	本会																				

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
178	生活支援員の指導及び監督(地域福祉権利擁護事業)	継続	県社協委託事業								
認知症や知的障がい、精神障がいなど判断能力が低下されている方を対象に、利用者との契約に基づき、福祉サービス利用援助において、利用者宅を生活支援員と同行訪問した。 (利用者実人数) R8.3月末現在 <table><tr><td>認知症</td><td>知的障害</td><td>精神障害</td><td>合計</td></tr><tr><td>10</td><td>4</td><td>4</td><td>18</td></tr></table> (市民サポーター) ・生活支援員 6人:生活支援サポーター受講修了者4名 市民後見人養成講座修了者1名 その他 1名 (研修等) ・支援員研修の実施(職員合同) 2回		認知症	知的障害	精神障害	合計	10	4	4	18	根 拠 法	社会福祉法第2条第3項
		認知症	知的障害	精神障害	合計						
		10	4	4	18						
		実 施 日 時	通年								
		実 施 場 所	ヴァーブル								
実 施 機 関	本会										
人 数	5名										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
180～ 183	関係機関との協働研究及び委員会の運営 委員会による研究と連携ネットワーク	継続	独自								
○法人後見運営委員会設置 受任の適否の判断、後見業務の指導を行い、適正な後見業務を担保することを目的に設置 ・委員:弁護士・司法書士・社会福祉士・市福祉部長・社協常務理事 ・委員会開催 年2回実施 ・受任及び後見申立検討や受任している方の支援の助言・指導		根 拠 法	民法843条								
		実 施 日 時	通年								
		実 施 場 所	ヴァーブル								
		実 施 機 関	本会								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
181 183	成年後見等受任 任意後見人契約 後見人等との相談及び支援 市民向け相談及び周知 制度外支援(死後事務等)の研究	継続	独自								
認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人が成年後見人、保佐人または補助人となることにより財産管理、身上保護を行い、権利を擁護することを目的に実施。法定後見人等受任については、法人成年後見事業運営委員会で協議し、決定を行う。 ○法人後見事業 ・受任5件(後見類型1名 保佐類型2名 補助類型2名) ○成年後見相談 6人 ○法人後見運営委員会 ・成年後見制度についての相談対応を行い、必要時には関係機関へつなぎ支援した。 ※任意後見人契約及び制度外支援(死後事務等)の研究については、専門職からの助言を受けながら検討する。		根 拠 法	民法843条								
		実 施 日 時	通年								
		実 施 場 所	ヴァーブル								
		実 施 機 関	本会								

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
174	生活福祉資金貸付事務事業	継続	県社協受託事業																												
(事業内容) 低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支え、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的に実施 (貸付対象) 低所得世帯(市民税非課税程度)、高齢者世帯、障がい者世帯 (実績) 上段:相談件数、下段:貸付決定		相 談 日	月曜～金曜																												
		相 談 時 間	8:30～17:30																												
		対 象 者	低所得世帯、 障がい者世帯等																												
		<table><tr><th>母子等</th><th>障がい</th><th>失業</th><th>借金</th><th>生業</th><th>低所得</th><th>不動産担保</th><th>生活保護</th><th>コロナ特例貸付</th><th>合計</th></tr><tr><td>29</td><td>16</td><td>6</td><td>0</td><td>3</td><td>40</td><td>10</td><td>3</td><td>0</td><td>107</td></tr><tr><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td></tr></table>		母子等	障がい	失業	借金	生業	低所得	不動産担保	生活保護	コロナ特例貸付	合計	29	16	6	0	3	40	10	3	0	107	1	1	0	0	0	1	0	0
母子等	障がい	失業	借金	生業	低所得	不動産担保	生活保護	コロナ特例貸付	合計																						
29	16	6	0	3	40	10	3	0	107																						
1	1	0	0	0	1	0	0	0	3																						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
175	新型コロナウイルス感染症特例貸付債権管理業務	継続	県社協受託事業																												
(事業内容) 新型コロナウイルス感染症により生活福祉資金特例貸付を受けた方の貸付終了後の生活再建を目的に生活状況の把握と償還に向けた相談支援体制を整える。 (対象者) 新型コロナウイルス感染症特例貸付滞納者及び猶予者		相 談 日	月曜～金曜																												
		相 談 時 間	8:30～17:30																												
		対 象 者	特例貸付借入者																												
		<table><tr><th rowspan="5">県社協 データより</th><th colspan="3">借受人</th><th rowspan="5">(実 績) 対 応 数 130</th></tr><tr><th>緊急小口</th><th>総合支援</th><th>猶予</th></tr><tr><td>2024.4時点</td><td>231</td><td>326</td><td>24</td></tr><tr><td>2025.2時点</td><td>141</td><td>250</td><td>48</td></tr><tr><td>2026.2時点</td><td>119</td><td>243</td><td>22</td></tr></table> 件(架電76 受電21 訪問2 来訪24 その他7) ・猶予等相談者実数 29人(猶予(再猶予含)承認 14件、免除決定10件、終了(償還開始) 5件) 生活困窮者自立相談支援事業と連携を行い、18人の意見書を提出した。		県社協 データより	借受人			(実 績) 対 応 数 130	緊急小口	総合支援	猶予	2024.4時点	231	326	24	2025.2時点	141	250	48	2026.2時点	119	243	22								
県社協 データより	借受人				(実 績) 対 応 数 130																										
	緊急小口	総合支援	猶予																												
	2024.4時点	231	326			24																									
	2025.2時点	141	250			48																									
	2026.2時点	119	243	22																											
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
176	福祉金庫貸付事業	継続	独自事業																												
(事業内容) 生活困窮等の理由により、緊急一時的に資金を必要とする者に貸付けを行うことで、当該世帯の生活の自立更生を図ることを目的に実施 (貸付対象) 本市に1年以上居住の生活困窮で一時的に貸付を要する状態にある方 (貸付実績) ・令和7年度 5件(前年度2件) (返済状況) ・令和7年度 返済滞納なし(前年度なし)		相 談 日	月曜～金曜																												
		相 談 時 間	8:30～17:30																												
		対 象 者	低所得世帯																												
		限 度 額	10万円																												

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
171～173	ひきこもり支援事業	新規	合志市受託事業
○相談支援 (実績)・新規相談受付件数 57件 ・相談援助数(電話、訪問、同行支援等) 666件 ○居場所支援(当事者、家族および関係機関) (実績)・毎月第3木曜日開催(れんがの家にて) 参加者数延べ65名 ○ネットワークづくり(年2回) ・市関係部署、医療機関、熊本県精神保健福祉センター、熊本県臨床心理士・公認心理士協会、民生児童委員協議会などに参画いただき、本事業の相談支援状況の共有、課題整理などを実施。 ○広報・啓発 ・広報誌をはじめ、ボランティア研修等各地域のつどいにてチラシ配布・周知		根拠法	生活困窮者自立支援法
		相談日	月曜～金曜
		相談時間	8:30～17:15
		対象者	ひきこもり当事者
		実施場所	ヴィーブル

令和7年度 事業報告書

担 当 課	班
介護支援相談センター	ケアプランセンター班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 指定居宅介護支援事業(介護保険事業)

加齢や疾病による心身の機能低下から不安定な生活を送る方々に対し、指定居宅サービス等の紹介を行ない一人ひとりの意向に寄り添いながら支援を行った。また、生活困窮や虐待を受けた方に対し、安心サポート合志や地域包括支援センター及びサブセンター、民生委員等地域の方々と連携を図り、可能な限り利用者が安全で安定した生活が送れるように、チームでの支援を行うことができた。総合事業においては、インフォーマルサービス等の情報収集と導入を行い、利用者の有する能力を発揮できるケアプランを作成し、他機関多職種との連携に努めながら目標達成に向かうことで、安定した生活環境の確保、重度化防止ができた。また、外部研修や他事業所との事例検討会などに積極的に参加しケアマネジメントの質の向上に努めるとともに、地域医療連絡会などへの参加を通し医療機関との連携を図ることができた。

(2) 福祉支援センター事業

当事業所は当会独自事業である福祉支援センター事業(介護相談・福祉用具貸出)も兼務しており、合志市の一般市民の方々からの相談等に迅速に対応し、介護保険事業に留まることなく福祉相談の場としても機能しながら適切な支援へスムーズに繋ぐことができた。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) 福祉業界の人材不足により、利用者の意向に対応できない状況が度々みられるようになっている。施設環境は整うが専門職等の人員不足により閉所、休業、縮小を余儀なくされる事業所も多く、受け入れ先を探すことに苦慮する状況も続いている。
- (2) 地域福祉を主力とする社会福祉協議会が運営する居宅介護支援事業所であるため、住民の方からの直接の依頼や民生委員からの依頼、包括支援センターから課題を抱えた方の対応依頼が多い。地域の方の安心な生活環境を確保するために地域の方々との連携を強化し続ける必要がある。
- (3) 社会福祉協議会は単なる経営事業としてではなく、地域福祉の視点に立った事業所の運営が求められている。災害や感染症拡大時などの支援方法についても更に検討して行く必要がある。
- (4) 資格保持者の確保が困難となっているため、社協内においても資格取得への意欲が高まる発信に心掛ける。

3 今後の方向性

- (1) インフォーマルサービスを含む地域の社会資源について、利用者へ情報提供を適宜行うことで社協のケアプランセンター(地域福祉を目的とした介護事業)の特色を発揮し続けられるように努める。また、地域資源の創造に寄与できるよう活動を行う。
- (2) 利用者の意欲、能力を十分活用し、自立支援に向けたケアプランの内容充実を図り続ける。
- (3) 地域包括ケアの一員として行政や地域包括支援センター、各種団体(民児協等)との連携強化を図り、併せて社内他課と連携、協働しながら総合的な支援を提供し続けていく。
- (4) 支援が困難な事例に対しては、安心サポート合志や地域包括支援センター等と連携、粘り強い対応を行なっていくことで利用者の生活の質の向上を図り続ける。
- (5) 合志市全域をスムーズに支援できる体制作り(拠点整備等)の検討を行う。
- (6) ICT化により、業務の改善(スピーディーな対応、事務処理効率の向上、負担軽減等)に努める。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
183 184	指定居宅介護支援事業 介護予防、介護予防ケアマネジメント事業	継続	介護保険事業																
(事業の内容) 要介護・要支援認定者に対して自立支援や介護予防を目的に介護保険サービスやインフォーマルサービス等の調整、ケアプラン作成、サービス利用に係る給付管理・請求等を利用者に代わって実施。土日祝や夜間など営業時間外については社用携帯を使用し、24時間体制で相談やサービス調整などの支援を実施。 (実績) <table><tr><th>項目</th><th>人数</th></tr><tr><td>介護支援専門員常勤換算数</td><td>4.5名</td></tr><tr><td>要介護利用者数(年間)</td><td>1577名</td></tr><tr><td>要支援利用者数(年間)</td><td>107名</td></tr><tr><td>月平均利用者数</td><td>131.4名</td></tr><tr><td>月平均担当者数(要介護)</td><td>29.2名/CM</td></tr><tr><td>月平均担当者数(要支援)1/3換算</td><td>0.7名/CM</td></tr><tr><td>月平均合計担当者数</td><td>29.9名/CM</td></tr></table>		項目	人数	介護支援専門員常勤換算数	4.5名	要介護利用者数(年間)	1577名	要支援利用者数(年間)	107名	月平均利用者数	131.4名	月平均担当者数(要介護)	29.2名/CM	月平均担当者数(要支援)1/3換算	0.7名/CM	月平均合計担当者数	29.9名/CM	営 業 日	月曜日から金曜日
		項目	人数																
		介護支援専門員常勤換算数	4.5名																
		要介護利用者数(年間)	1577名																
		要支援利用者数(年間)	107名																
		月平均利用者数	131.4名																
		月平均担当者数(要介護)	29.2名/CM																
		月平均担当者数(要支援)1/3換算	0.7名/CM																
		月平均合計担当者数	29.9名/CM																
		営 業 時 間	8:30～17:30																
休 日	土・日・祝祭日 12／29～1／3																		
対 象 者	要介護・要支援認定者																		
月担当上限数	35人／CM																		
番号 事業の名称 新規・継続 事業形態																			
185	介護認定訪問調査事業	継続	合志市受託事業																
(事業の内容) 合志市からの委託を受けて、要支援認定者の更新時訪問調査を実施。認定者数等の状況に応じて委託依頼が入るため不定期の実施となっている。 ※本年度は市からの委託依頼がなかった為実績なし		営 業 日	月曜日から日曜日																
		営 業 時 間	8:30～17:30																
		休 日	12／29～1／3																
		対 象 者	合志市民																

番号	事業の名称			新規・継続	事業形態
186	介護保険代行申請事業			継続	独自事業
(実績)				営 業 日	月曜日から金曜日
				営 業 時 間	8:30～17:30
				休 日	土・日・祝祭日 12／29～1／3
				対 象 者	合志市民
				</	

令和7年度 事業報告書

担 当 課	班
介護支援相談センター	サブセンターふれあい館

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

合志市人口増に伴い、R7年度より社会福祉士1名増員で業務開始となり、また、6月より包括支援センター介護支援専門3名が当サブセンターに机を置き業務にあたっている。西部地区高齢者の自立支援と重度化防止、生活の課題解決に向け尽力している。

(1) 総合相談支援事業

独居や高齢者世帯、障がいを持つ方や子育て世代との同居など、様々な家族形態の中で様々な課題を持ち生活する方へ、できる限り住み慣れた地域でその人らしい生活を安心して継続出来るように寄り添い支援した。

(2) 権利擁護業務(成年後見・虐待・消費者被害)

日常生活の中で身上管理や金銭管理などの必要性を確認し、成年後見制度活用に繋げ、また、虐待者・被虐待者双方に対し、生活への基盤を整え、安心・安全な環境確保のために支援した。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメントの支援

高齢者が可能な限り自らの意志に基づき、機能の低下予防と機能の維持向上に向け、その有する能力に応じた質の高い生活が送れるように支援調整を行った。

また、介護支援専門員に対しケアプランの確認を行い、その人らしい生活が送れるような目標設定やその達成、及び困難な対応への助言や指導を行った。

(4) 地域ケア会議

包括的・継続的ケアマネジメントの為に、自立支援を目的とした会議へ参加し、理学療法士、薬剤師、栄養士、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員、行政(介護保険班)、生活支援コーディネーター、民生委員等各専門職からの意見を取りまとめ、個人、及び地域課題の解決に努めた。

(5) サービス判定会議

合志市の高齢者福祉事業サービスの申請者に対し、必要性を審査する会議へ参加し、専門職としての意見を述べた。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) 要介護認定者の居宅支援事業所への紹介において、個々の個性に応じた事業所の案内を行いたいが、人材不足を理由に受け入れ困難な事業所が増えている。サービス事業所においても人材不足から利用者の意向に応じる閉所する事業所もあり、利用先変更せざるを得ない状況もあった。

(2) 福祉の担い手不足に伴い、地域資源(インフォーマルサービス)の充実が必要である。

3 今後の方向性

(1) 利用者の意欲、能力を十分発揮し、自立支援に向けた介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの内容充実を図る。

(2) 地域包括ケアチームの一員として行政や地域の各団体(民児協等)との連携強化を図り、協働しながら総合的な支援を提供していく。

(3) 大きな課題を抱えた事例に対しては、地域包括支援センター、安心サポート合志等と連携を強化し利用者の生活の質の向上を図る。

(4) ケアプラン連携システム導入開始にて、簡素化による業務の負担軽減を図る。

番号	事業の名称			新規・継続	事業形態																																						
16	合志市地域包括支援センターへの専門職員の出向			継続	合志市受託事業																																						
地域で暮らす高齢者の方等に対し、介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から総合的に支える窓口である地域包括支援センターへ3名の職員を出向。 地域住民や各事業所等、多種多様の方々と連携し、地域課題解決に向け対応している。 <table><tr><td>主任介護支援専門員</td><td>社会福祉士</td><td>合 計</td></tr><tr><td>2名</td><td>1名</td><td>3名</td></tr></table>				主任介護支援専門員	社会福祉士	合 計	2名	1名	3名	実 施 日 時	月～金 8:30～17:15																																
				主任介護支援専門員	社会福祉士	合 計																																					
				2名	1名	3名																																					
				職 員 数	3名																																						
				派 遣 先	地域包括 支援センター																																						
事 業 費	14, 957千円																																										
番号	事業の名称			新規・継続	事業形態																																						
182	地域包括支援センターサブセンター			継続	合志市受託事業																																						
西部地区高齢者の相談窓口として開設し4年経過。社会福祉協議内に開設してある事もあり、東部地区の方からの相談もある。 <table><tr><td>主任介護支援専門員</td><td>社会福祉士</td><td>合 計</td></tr><tr><td>1名</td><td>2名</td><td>3名</td></tr></table> 身心機能低下や生活困窮に伴う相談のほか、高齢者虐待に関する相談件数の増加がみられている。 社会的に複雑化、複合化した課題を持つご家庭もあるため、他職種との連携強化とともに、地域の方々との関係構築を続け、早期に課題解決できるように努めている。 【年間相談件数】 <table><tr><td></td><td>電話</td><td>来所</td><td>訪問</td></tr><tr><td>上半期(件)</td><td>1, 058</td><td>162</td><td>545</td></tr><tr><td>下半期(件)</td><td>1, 089</td><td>116</td><td>567</td></tr></table> 要支援認定者や事業対象者に対して自立支援や介護予防を目的にケアプラン作成、サービス利用に係る給付管理等を実施している。 【事業種別月平均件数】 <table><tr><td colspan="4">総合事業</td><td colspan="2">介護保険</td><td>合計</td></tr><tr><td>通所 A</td><td>通所 C</td><td>訪問 A</td><td>訪問 C</td><td>要支援 1</td><td>要支援 2</td><td rowspan="2">108</td></tr><tr><td>22</td><td>4</td><td>12</td><td>1</td><td>19</td><td>50</td></tr></table> 身心機能の低下予防と安定した生活に向けた支援に心掛けている。				主任介護支援専門員	社会福祉士	合 計	1名	2名	3名		電話	来所	訪問	上半期(件)	1, 058	162	545	下半期(件)	1, 089	116	567	総合事業				介護保険		合計	通所 A	通所 C	訪問 A	訪問 C	要支援 1	要支援 2	108	22	4	12	1	19	50	実 施 日 時	月～金 8:30～17:15
				主任介護支援専門員	社会福祉士	合 計																																					
				1名	2名	3名																																					
					電話	来所	訪問																																				
				上半期(件)	1, 058	162	545																																				
下半期(件)	1, 089	116	567																																								
総合事業				介護保険		合計																																					
通所 A	通所 C	訪問 A	訪問 C	要支援 1	要支援 2	108																																					
22	4	12	1	19	50																																						
職 員 数	2名																																										
対 象 者	高齢者及び 2号被保険者																																										
事 業 費	19, 229千円																																										

令和7年度 事業報告書

担 当 課	班
介護サービス課	デイサービスセンター班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

通所介護事業では、筋力、認知機能の低下予防に努め、感染対策も継続しながら、体調管理を行い安全、安心して利用できるようサービス提供に努めた。

(1) 指定第一号通所事業:要支援認定者

- ① 利用日を週2日へ変更し、活動の活性化を維持することができた。
- ② 介護エクササイズ、脳トレなど認知機能や身体の維持向上に努め、また、楽しみの一つとして買い物外出を実施することができた。

(2) 指定通所介護事業:要介護認定者

- ① 安定的な事業継続のため、7月より営業日を月～金曜日へ変更。
- ② 個別機能訓練、脳トレ、集団体操、障がいの方や、保育園、学童との交流。季節行事や花見ドライブへの外出も実施することができた。
- ③ 関係機関との連携を図り、在宅生活持続できるような支援の提供へとつなげた。
- ④ 主に独居高齢者のための延長サービスに代わる夕食弁当持ち帰りは12月をもって終了。
- ⑤ 介護エクササイズへの参加を継続して促すことにより、参加される方も増え、機能の維持向上へとつながった。

(3) 生活介護事業:障害福祉サービスの基準該当サービス

- ① 今年度は1名入所をされたものの継続して利用することができた。

(4) 通所型サービスA:合志市委託事業(栄市民センターみどり館にて実施)

- ① 新規利用者の獲得をするため包括支援センターと連携を図ったが、利用者増とはならなかった。
- ② 自立支援の一環として調理実習や買い物の外出も継続でき、今年度末をもって委託事業を終了する。

(5) 感染症対策。

- ① 感染予防対策として、各所に消毒液設置を行い、利用者・職員共にマスク着用の徹底、一日2回の検温、手指消毒を実施した。テーブル、手すり、送迎車などの消毒を実施した。今後も対策を継続していく。
- ② デイホール及び食堂ホール内の密集を防ぐ為、介護保険利用者(含む生活介護利用者)と第一号利用者とは活動エリアを分けて事業を実施の継続。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) 通所介護事業を継続していくため、介護職員の高齢化に伴い、人材の確保および育成と採算性。
- (2) 業務の効率化を図るため、ICTの整備を加速させ、業務中の職員の連携を円滑化するため、補助金を活用しヘッドセット等を導入し、効率化を図る。

3 今後の方向性

- (1) 在宅生活継続と心身機能維持のためにも通所介護事業の必要性は依然高いと考えられるため、安定した事業継続を図っていく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
188	介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービスA(みどり館)	継続	合志市受託事業								
(事業の内容) 営業日は水曜・木曜・金曜。介護予防を目的に運動指導や栄養、口腔指導、認知症予防の脳トレ、レクリエーションを通して楽しみとなる趣味活動を実施。感染予防対策を徹底し、季節ごとの行事や創作活動、買い物、外食への外出も行うこともできた。今年度末にて事業を終了する。 <table><tr><th>内容</th><th>年間利用数</th><th>開設日</th><th>1日平均</th></tr><tr><td>通所型A</td><td>853人</td><td>150日</td><td>5.7人</td></tr></table>		内容	年間利用数	開設日	1日平均	通所型A	853人	150日	5.7人	営 業 日	水曜日 木曜日 金曜日
		内容	年間利用数	開設日	1日平均						
		通所型A	853人	150日	5.7人						
		営 業 時 間	10:00～14:30								
		休 日	祝日 12/29～1/3								
		対 象 者	65歳以上								
利 用 定 員	15人										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
189	総合事業:第1号通所事業(ふれあい館)	継続	介護保険事業								
(事業内容) 要支援1, 2の方を対象に、介護予防・日常生活の自立を目的に支援を行った。介護予防の観点から、運動機能向上・口腔機能向上・認知症予防・低栄養の予防を目的に講話を行った。感染予防対策を徹底し買い物外出や季節ごとの行事、創作活動に取り組んだ。運動や口腔ケアや脳トレを自宅でも取り組めるように元気積立帳を工夫し、介護予防への取り組みの強化を図り、また創作活動にも力を入れ、認知機能低下防止に努めた。一日の利用人数の減少により、利用日を火、木曜日へ変更し、一日の利用人数の増加により活性化を図ることが出来た。要介護認定へもスムーズに移行できるようにし、今後も機能維持へ努めていく。 利用実人数(令和7年度実績) <table><tr><th>開設日数</th><th>延べ人数</th><th>一日平均</th></tr><tr><td>98日</td><td>567人</td><td>5.8人</td></tr></table>		開設日数	延べ人数	一日平均	98日	567人	5.8人	営 業 日	火曜日 木曜日		
		開設日数	延べ人数	一日平均							
		98日	567人	5.8人							
		営 業 時 間	9:20～15:00								
		休 日	土・日曜日 12/29～1/3								
		対 象 者	要支援1、要支援2 の認定を受けた方								
利 用 定 員	40人(含む通所介護、生活介護)										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
190	指定通所介護事業(ふれあい館)	継続	介護保険事業								
(事業内容) 要介護1～5の方を対象に、自立支援を基本とし、家族支援を視野に入れサービスを行った。科学的介護加算、ADL維持加算にて、運動、訓練の充実を図り、介護エクササイズも継続し、楽しみながら参加される方も増え、機能維持に努めた。感染予防対策を徹底しながら、花見ドライブや交流行事を行うことができた。脳トレプリント実施。宿題に持って帰るなど認知症予防や意欲の維持向上をすることもできた。利用者の機能を維持できる支援の継続を行っていく。		営 業 日	月曜日～土曜日 月～金曜日(7月～)								
		営 業 時 間	9:20～16:30								
		休 日	土・日曜日(7月～) 12/29～1/3								
		対 象 者	要介護1～5の 認定を受けた方								
		利 用 定 員	40人(第1号通所、生活介護含む)								

190	(続き) 指定通所介護事業(ふれあい館)その2	継続	その他の事業												
また、お一人お一人に寄り添い、最期の時までデイサービスに利用して頂き、重度の方も積極的に受け入れ要介護4～5の利用者も又、延長サービスに代わる夕食弁当の提供は12月までで終了した。夕食弁当サービス(440)件。関連事業所との連携を図りながらより良い支援の提供を行っていく。新規利用者17名。 7月より利用日の調整を図り、月～金曜日へ営業日の変更を行った。 ・介護度別利用実人数(今年度実績)1日平均利用者数:24.8人 開設日数270日、延べ回数6693回 <table><tr><td>介護1</td><td>介護2</td><td>介護3</td><td>介護4</td><td>介護5</td><td>合計</td></tr><tr><td>265人</td><td>285人</td><td>117人</td><td>25人</td><td>24人</td><td>716人</td></tr></table>		介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	265人	285人	117人	25人	24人	716人		
		介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計								
		265人	285人	117人	25人	24人	716人								
191	基準該当生活介護サービス(ふれあい館)	継続	その他の事業												
(事業内容) 入浴や排泄、食事等の介護や、創作活動、レクリエーションを通して、他者との交流の機会を提供した。自立した生活や社会生活を営むことができるよう、生活能力の向上の為に必要なリハビリを個別に実施した。7月より利用日の調整を図り、月～金曜日へ営業日の変更を行った。 (実績) <table><tr><td>登録人数</td><td>年間利用回数</td><td>開設日</td><td>1日平均</td></tr><tr><td>2人</td><td>130回</td><td>270日</td><td>0.48人</td></tr></table>		登録人数	年間利用回数	開設日	1日平均	2人	130回	270日	0.48人	営 業 日	月曜日～土曜日 月～金曜日(7月～)				
		登録人数	年間利用回数	開設日	1日平均										
		2人	130回	270日	0.48人										
		営 業 時 間	9:30～15:00 9:30～16:30												
		休 日	日曜日 12/29～1/3												
対 象 者	障害手帳をお持ちの方														
利 用 定 員	5人以内 (合計40人含む通所介護、 第一号通所)														

令和7年度 事業報告書

担 当 課	班
介護サービス課	ヘルパーステーション班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 指定訪問介護、予防訪問介護事業

高齢者が増え続け介護保険制度の今後の推移が懸念される中、当事業所では、令和7年度は介護保険利用者が減少、介護予防総合事業(総合1号)の利用者は増となっている。介護保険利用者は認知機能低下の方が多いため、見守りの身体介護を行い、自立支援・重度化防止をケアの基本とし、病状の進行を防ぐことに努めた。一方、訪問介護員の高齢化により、担い手不足は慢性化している。今年度は、後継者育成のために、嘱託職員3名を訪問介護員とサービス提供責任者の兼務として登録し、今後を見据えてサービス提供責任者としても稼働開始した。また、今年度の登録ヘルパーの採用は2名。1名は社協職員で他部署との兼務、もう1名は65歳以上の高齢者で稼働率は少ないが貴重な人材となっている。

(2) 訪問型サービスA事業(市委託事業)

訪問A新規依頼が増えている。地域福祉課が開催する元気応援サポーター養成講座修了後、2名がサポーター登録に繋がった。新規採用サポーター1名を含め計3名のサポーター増員となった。そのことにより、3月末現在27名の利用者へ支援に入ることができている。

認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(市委託事業) 今年度利用実績なし。

(3) 有償ヘルパーサービス事業(介護 独自事業)

介護保険制度上の支援内容に該当せず、また代替もないサービスを、31件有償ヘルパーサービスにて実施した。通院同行、買い物同行、介護保険内で出来ない場所の掃除等、ご希望に沿った支援を提供した。

(4) 障がい福祉サービス事業(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)

居宅介護は、2人介護の筋ジストロフィーの方が療養介護に入所、脳性麻痺の入浴2人介助利用の方が、合志市から熊本市に転居等、身体介護が減り収入減になった。新規利用もあり、利用者数は前年度とあまり変化はない。

重度訪問介護は、医療的ケアもあり、他事業所や訪問看護師と連携し、「できる限り在宅で過ごしたい」というご本人の希望に沿えるよう支援した。ヘルパーの確保が難しい面はある。

同行援護では2名の利用者に対し、朝の散歩と、公共交通機関を利用したの買い物やイベント参加への介助等を行った。また、利用者宅が火災にあい落ち込まれていたところ、避難先でも同行援護で朝の散歩を継続し、精神的支えになっている。同行援護資格研修受講も進めていきたい。

(5) 移動支援事業(地域生活支援事業・市委託事業)

自閉症の方の仕事から帰宅後の散歩支援、身体障害、知的障害、自閉症の方の余暇活動のための外出支援を継続的にできた。他部署の職員も登録ヘルパーとして休日に稼働したことで、利用者のQOLの向上が図れた。利用希望が増えている。

(6) 有償ヘルパーサービス事業(障がい 独自事業)

独居の利用者が入院の際、病院に着替えを届けて欲しいとの依頼があり、有償ヘルパーで対応した。

2 業務を推進していく場合の課題

訪問介護は人材が資本である。今後、人材確保のために、合志市社協全体での初任者研修開催等の取り組みが課題。

3 今後の方向性

(1) 在宅支援の要となるヘルパーの資質向上と、人材確保、後継者育成に努める。

(2) 障害福祉サービスから介護保険サービスへ移行や併用の利用者が増えているため、当事業所の良さを活かした切れ目のない支援の継続を提案していく。

(3) 他部署との連携を図り、重層的支援の構築を図る。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
192-196	訪問介護事業	継続	介護保険事業																												
(事業内容) 在宅生活に支障がある要介護(要支援)認定者、生活機能の衰えを早期に発見する基本チェックリスト該当者や有償ホームヘルプサービス事業(独自事業)を必要とする高齢者へ訪問介護サービスを提供。 ○ 指定訪問介護(要介護1～5) ○ 予防訪問介護(要支援1、2) ○ 訪問型サービスA ○ 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(市委託) ○ 有償ホームヘルプサービス事業(独自サービス)		営 業 日	月曜日～土曜日																												
		営 業 時 間	8:30～17:30 他、必要に応じ対応																												
		休 日	日曜日 12/29～1/3																												
(実績) <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績数</th><th>サービス別</th><th>延べ利用者数(人)</th><th>訪問件数(件)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">介護保険</td><td>介護</td><td>755</td><td>6,230</td></tr> <tr> <td>予防(総合)</td><td>519</td><td>2,731</td></tr> <tr> <td rowspan="2">市委託事業</td><td>訪問型サービスA</td><td>276</td><td>1,047</td></tr> <tr> <td>やすらぎ</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>独自事業</td><td>有償ヘルパー</td><td>26</td><td>31</td></tr> <tr> <td></td><td>合 計</td><td>1,576</td><td>10,039</td></tr> </tbody> </table>		実績数	サービス別	延べ利用者数(人)	訪問件数(件)	介護保険	介護	755	6,230	予防(総合)	519	2,731	市委託事業	訪問型サービスA	276	1,047	やすらぎ	0	0	独自事業	有償ヘルパー	26	31		合 計	1,576	10,039	対 象 者	介護やその予防が必要な高齢者		
実績数	サービス別	延べ利用者数(人)	訪問件数(件)																												
介護保険	介護	755	6,230																												
	予防(総合)	519	2,731																												
市委託事業	訪問型サービスA	276	1,047																												
	やすらぎ	0	0																												
独自事業	有償ヘルパー	26	31																												
	合 計	1,576	10,039																												
(新規利用者数) ○新規利用者 54 人、○中止 47 人		利 用 定 員	120名程度																												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
197-200	障がい者(児)訪問支援事業	継続	障がい者(児)訪問事業																												
(事業内容) 心身に障害を持った方へ家事援助、身体介護、通院等介助を提供する居宅介護。重度の障害を持ち常に介護を必要とする方への重度訪問介護。視力障害の方の外出を支援する同行援護。障害のある方の余暇活動および社会参加のための移動支援事業(市委託)。有償ホームヘルプサービス事業(独自事業)等の訪問サービスを提供。		営 業 日	月曜日～土曜日																												
		営 業 時 間	8:30～17:30 必要に応じ対応																												
(実績) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>サービス別</th><th>延べ利用者数(人)</th><th>総利用時間数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護等</td><td>身体介護・家事援助</td><td>454</td><td>5,764</td></tr> <tr> <td>重度訪問介護</td><td></td><td>36</td><td>1,537</td></tr> <tr> <td>同行援護</td><td></td><td>18</td><td>76</td></tr> <tr> <td>委託事業</td><td>移動支援</td><td>60</td><td>374</td></tr> <tr> <td>独自事業</td><td>有償ヘルパー</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr> <td></td><td>合計</td><td>569</td><td>7,753</td></tr> </tbody> </table>		項 目	サービス別	延べ利用者数(人)	総利用時間数	居宅介護等	身体介護・家事援助	454	5,764	重度訪問介護		36	1,537	同行援護		18	76	委託事業	移動支援	60	374	独自事業	有償ヘルパー	1	2		合計	569	7,753	休 日	日曜日 12/29～1/3
項 目	サービス別	延べ利用者数(人)	総利用時間数																												
居宅介護等	身体介護・家事援助	454	5,764																												
重度訪問介護		36	1,537																												
同行援護		18	76																												
委託事業	移動支援	60	374																												
独自事業	有償ヘルパー	1	2																												
	合計	569	7,753																												
		対 象 者	障がい手帳所持者(児)																												
(新規利用者数) ○新規利用者 8人、○中止 2人		利 用 定 員	60名程度																												

令和7年度 事業報告書

担 当 課	班
障がい者支援センター「れんがの家」	基幹相談支援班・相談支援班・児童発達支援班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

【基幹相談支援(委託事業)】

- ・ **地域連携の要** 困難ケース複合課題に対し、各専門機関との個別調整や伴走支援を強化。地域全体の相談支援における連携の要として、支援体制の充実を図った。
- ・ **実務支援の展開** 合志市内相談支援事業所への助言、伴走支援を通じ、地域全体の相談スキルの平準化と支援の質の向上に向けた体制整備を進めた。

【相談支援(指定一般・指定障がい者(児)計画相談・合志市障がい者相談(委託)】

- ・ **収益の適性確保** 特定相談(計画相談)においては、新規利用者の受け入れを継続し、地域の相談機能を維持。また、各種加算の算定要件を厳格に管理、意識し、安定的な運営基盤の確保と収益の拡大を図った。
- ・ **専門性の維持** 基幹相談支援センターと緊密な連携により、困難事例への対応体制を整理。相談員の質の向上を図り、適正なサービス提供に努めた。

【児童発達支援(定員10名)】

- ・ **家庭支援の充実** 個別支援の充実を図るとともに、保護者の不安や課題に寄り添う家庭支援に注力。関係機関との連携を通じ、家庭全体を支える支援体制を図った。
- ・ **次期事業の準備** 保育所等訪問支援の体制整備を進め、次期センター設置を見据えた運営体制整備を進めた。

【地域活動支援センター】

- ・ **孤立防止支援** 居場所づくりを通じ、交流機会の提供に加え、関係機関と連携したひきこもり支援および基幹相談支援センターからのつなぎを円滑に受け入れ、社会参加促進に努めた。

2 業務を推進していく場合の課題

【基幹相談支援】

- ・ **相談窓口の役割分担** 相談機関が複数あることで生じる「役割の重複」や「連携の漏れ」を防ぐ為、法人全体の相談体制を整理し直す必要がある。

【相談支援】

- ・ **対人支援時間の確保** 新規受け入れの拡大に伴い、事務負担が増大。その結果、利用者と向き合う支援時間の確保に影響を及ぼしている。確実に収益を確保するための業務効率化が急務である。

【児童発達支援】

- ・ **包括的な家庭支援** 家庭支援のニーズが増加しており、児童および家族への支援体制の充実が求められる。

【地域活動支援センター(委託事業)】

- ・ **居場所機能** 多様なニーズに応えるための居場所機能のさらなる拡充が必要である。

3 今後の方向性

【基幹相談支援・相談支援】

- ・ **一体的な運営体制の確立** 基幹・委託・特定の三層構造を最適化し、法人内における相談支援業務の円滑な連携体制の構築を進める。あわせて、情報共有及び役割分担の明確化を図ることにより、地域ニーズへの対応力の向上を目指す。
- ・ **業務行程のデジタル化の推進** ICTの活用により事務負担の軽減を図り、支援に充てる時間を最大限に確保することで、専門性の高い相談支援の実現と適正な収益性の確保を両立できる体制を整備する。

【児童発達支援・保育所等訪問支援】

- ・ **包括的な家庭支援の推進** 個別支援の充実に加え、相談支援、訪問支援及び関係機関との連携を強化し、家庭における困りごとに対して具体的な助言及び支援を行うことで、親子が安心して生活できる環境整備を進める。
- ・ **次期センター設置を見据えた基盤整備** 次期センターの設置を見据え、保育所等訪問支援を地域連携における重要な機能として位置づけるとともに、必要な機能整理及び運営体制の強化を進める。

【地域活動支援センター(委託事業)】

- ・ **利用継続支援の強化** 関係機関との情報共有を密にし、利用者一人ひとりの状況に応じた伴走型支援を推進することで、安定的な利用継続につなげる。
- ・ **運営体制の再構築** 利用継続支援を進める一方で、将来的な事業継続の妥当性について法人内で評価を行い、委託契約更新の可否を含めた抜本的な見直しを検討する。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																		
215	児童発達支援事業1	継続	児童福祉法																																		
(事業内容) 発達に心配のある児童や障がいを持った児童が、身近な場所で年齢に応じた丁寧な支援を受けられるよう、個別支援計画に基づき、様々な領域の遊びや基本的な生活習慣の指導を取り入れ、児童の発育を促しながら実施した。今年度は、午前の小集団を、午前:年中、年少、未満児と、午後:年長のグループに分け、それぞれの発達に応じた活動を行った。併せて、午後:年長児の個別活動を行い、就学に向けた療育にも取り組んだ。また、保護者会や面談等に取り組み、療育活動内容を保護者に知っていただくとともに、関わり方や今後の進路等の相談など、家族支援にも力を注いだ。 また、今年度も、「障がい者芸術展」、お菓子の香梅光の森店で開催した「れんがのなかまたち展」にも出展、芸術に触れ感性を育むとともに、地域社会への啓発も行った。		営 業 日	月～土 但し土曜日は 第1.3開所(月 により変動)																																		
		営 業 時 間	8:30～17:30																																		
		対 象 者	未就学の障 がい児																																		
		利 用 定 員	10名																																		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																		
215	児童発達支援事業2	継続	児童福祉法																																		
(年間実績者数) <table><tr><td>延べ利用者数</td><td>開所日数</td><td colspan="4">平均利用者数(日)</td></tr><tr><td>2,294人</td><td>268日</td><td colspan="4">8.6人</td></tr></table> (登録者数) <table><tr><td rowspan="2">障がい 種別</td><td>身体</td><td>知的</td><td>発達</td><td>無診断</td><td>計</td></tr><tr><td>0</td><td>1</td><td>3</td><td>31</td><td>35人</td></tr></table> <table><tr><td rowspan="2">年齢別</td><td>未満児</td><td>年少</td><td>年中</td><td>年長</td><td>計</td></tr><tr><td>2</td><td>11</td><td>8</td><td>14</td><td>35人</td></tr></table> ・新規契約数:21人		延べ利用者数	開所日数	平均利用者数(日)				2,294人	268日	8.6人				障がい 種別	身体	知的	発達	無診断	計	0	1	3	31	35人	年齢別	未満児	年少	年中	年長	計	2	11	8	14	35人		
		延べ利用者数	開所日数	平均利用者数(日)																																	
		2,294人	268日	8.6人																																	
		障がい 種別	身体	知的	発達	無診断	計																														
0	1		3	31	35人																																
年齢別	未満児	年少	年中	年長	計																																
	2	11	8	14	35人																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																		
215	児童発達支援事業3	継続	児童福祉法																																		
(見学・会議等連携) <table><tr><td>保護者見学</td><td>22件</td><td>家族支援/子育てサポート</td><td>187件</td></tr><tr><td>関係機関連携</td><td>24件</td><td>個別支援会議</td><td>各児年に2回実施</td></tr></table> ・4、5、6月「保護者面談・事業説明会」 ・7月「療育参観・懇談会」(年長児・保護者)、「親子活動ミュージックケア」(利用児・保護者) ・8月「就学に向けて～ペアレントメンターさんとお話会～」(年中児・保護者)、「親子れんが」 ・9月「親子活動ミュージックケア」(利用児・保護者)、「親子れんが」、敬老会 ・10月「アウトドアクッキング(パパっとうどん大作戦!～アイスもつくるよ～)」(利用児・保護者)、ハロウィン ・11月「療育参観・懇談会」(年少児以下・保護者) ・12月「ふれあい館クリスマスコンサートに参加しよう!」(利用児・保護者) ・1、2月「年長児保護者対象個別面談」 ・3月「年長児お別れ会」(年長児とその保護者) 【外部講師】 ・歯科衛生士による口腔チェック、指導(2ヶ月に1回) ・元特別支援学校教諭(月2回) 【地域住民のボランティア協力的行事及び地域交流行事】 ・ハロウィン、ふれあい館デイサービスとの交流(敬老会)、地活との陶芸協同制作(卒園記念品)		保護者見学	22件	家族支援/子育てサポート	187件	関係機関連携	24件	個別支援会議	各児年に2回実施																												
		保護者見学	22件	家族支援/子育てサポート	187件																																
		関係機関連携	24件	個別支援会議	各児年に2回実施																																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
202～207	合志市地域活動支援センター	継続	合志市受託事業
(事業内容) 合志市委託事業として障がいをお持ちの方々の余暇活動及び相談支援を実施した。利用者間の関係づくりや相談援助なども細かに対応し、創作・生産活動を通して共同活動を行う事によりコミュニケーションを図った。生産活動の完成品は市内のユーパレス弁天・カントリーパークの物産、れんがの家で販売した。 今年度も、「障がい者芸術展」、お菓子の香梅光の森店で開催した「れんがのなかまたち展」にも出展者を募り、意欲向上に繋げた。 (年間利用者数) ・延利用者数:1,008 人・登録者数:103 人(地域別:合志市 91 人、菊池市 9 人、菊陽町 1 人、大津町 0 人、熊本市 2 人、他 0 人) (活動実績) ・創作活動:253 件、生産活動:200 件、相談援助:34 件 ・手話:49回(114人)、陶芸:48回(495人)、制作活動:39回(47人)・外出行事:2回(6人)、季節行事:11回(54人)、避難訓練:3回(10人)		営 業 日	火・水・金・土
		営 業 時 間	9:00～ 16:00
		対 象 者	障がい者 菊池圏域住民



ミュージックケア(親子活動)
～子育て世代をつなぐ他課との連携～



ハロウィン(行事)
～地活の皆さんと地域交流～



保護者懇談会(年長児家族支援)
～就学に向けた学校見学や福祉サービス
についての情報交換会～

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
211	合志市相談支援事業1(「れんがの家」のみ)	継続	合志市受託事業																				
(事業内容) 障がい者(児)・そのご家族等の相談に応じ、福祉サービスの紹介や、相談支援を行った。合志市障害相談委託事業所でもあることから、他県から転居予定の方、市民、市民以外、サービス事業所、保育園、幼稚園、学校(支援学校)、行政等関係機関からの相談や、医療機関等も含めて相談対応を行った。複雑な課題を抱えるケースにも、社協内、関係機関で必要な情報共有し、課題の解きほぐしを行なった。今年度も、菊池圏域自立支援協議会員として各部会への参加、サービス部会活動等に参画した。 R7年度一般相談件数:292件 <table><tr><td>支援方法</td><td>訪問</td><td>来所</td><td>同行</td><td>電話</td><td>メール</td><td>会議</td><td>調整</td><td>他</td><td>計</td></tr><tr><td></td><td>27</td><td>13</td><td>10</td><td>154</td><td>5</td><td>2</td><td>28</td><td>53</td><td>292</td></tr></table>		支援方法	訪問	来所	同行	電話	メール	会議	調整	他	計		27	13	10	154	5	2	28	53	292	営業日	月～土
		支援方法	訪問	来所	同行	電話	メール	会議	調整	他	計												
			27	13	10	154	5	2	28	53	292												
		営業時間	8:30～17:15																				
休日 日、祝日	12/29～1/3 (日祝、営業時間外等は24時間電話での対応)																						
		対象者	合志市住民																				
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
211	合志市相談支援事業2(「れんがの家」のみ)	継続	合志市受託事業																				
(年間相談支援内容) 支援内容ごとの件数 <table><tr><td>① 福祉サービス調整 142件</td><td>⑦ 家計・経済 4件</td></tr><tr><td>② 障がい病気の理解 3件</td><td>⑧ 生活技術 3件</td></tr><tr><td>③ 健康医療 10件</td><td>⑨ 就労 8件</td></tr><tr><td>④ 不安・情緒安定 18件</td><td>⑩ 社会参加余暇活動 1件</td></tr><tr><td>⑤ 保育・教育 3件</td><td>⑪ 権利擁護 1件</td></tr><tr><td>⑥ 家族・人間関係 0件</td><td>⑫ その他 99件</td></tr></table> ※1件の相談において複数の内容があり、支援方法と支援内容の件数に誤差が生じる。		① 福祉サービス調整 142件	⑦ 家計・経済 4件	② 障がい病気の理解 3件	⑧ 生活技術 3件	③ 健康医療 10件	⑨ 就労 8件	④ 不安・情緒安定 18件	⑩ 社会参加余暇活動 1件	⑤ 保育・教育 3件	⑪ 権利擁護 1件	⑥ 家族・人間関係 0件	⑫ その他 99件	営業日	月～土								
		① 福祉サービス調整 142件	⑦ 家計・経済 4件																				
		② 障がい病気の理解 3件	⑧ 生活技術 3件																				
		③ 健康医療 10件	⑨ 就労 8件																				
④ 不安・情緒安定 18件	⑩ 社会参加余暇活動 1件																						
⑤ 保育・教育 3件	⑪ 権利擁護 1件																						
⑥ 家族・人間関係 0件	⑫ その他 99件																						
営業時間	8:30～17:15																						
休日 日、祝日	12/29～1/3 (日祝、営業時間外等は24時間電話での対応)																						
		対象者	合志市住民																				
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
209	指定特定相談支援事業	継続	障がい者総合支援法																				
(事業内容) 障がい者の方が自立した生活に向けて適切にニーズに合った福祉サービスを利用できるよう、相談に応じながら、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行った。 R7年度年間実績 <table><tr><td>計画相談契約者総数</td><td>226件</td></tr><tr><td>サービス利用計画総数</td><td>161件</td></tr><tr><td>モニタリング報告総数</td><td>485件</td></tr></table>		計画相談契約者総数	226件	サービス利用計画総数	161件	モニタリング報告総数	485件	営業日	月～土														
		計画相談契約者総数	226件																				
		サービス利用計画総数	161件																				
		モニタリング報告総数	485件																				
営業時間	8:30～17:15																						
休日	日、祝日 12/29～1/3																						
		対象者	障がい者																				

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
210	指定障がい児相談支援事業	継続	障がい者総合支援法 児童福祉法																
(事業内容) 障がいのある児童が適切にニーズに合った福祉サービスの利用ができるよう保護者の相談に応じながら、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行った。 令和7年度年間実績 <table><tr><td>計 画 相 談 契 約 者 総 数</td><td>415件</td></tr><tr><td>サ ー ビ ス 利 用 計 画 総 数</td><td>482件</td></tr><tr><td>モ ニ タ リ ン グ 報 告 総 数</td><td>619件</td></tr></table>		計 画 相 談 契 約 者 総 数	415件	サ ー ビ ス 利 用 計 画 総 数	482件	モ ニ タ リ ン グ 報 告 総 数	619件	営 業 日	月～土										
		計 画 相 談 契 約 者 総 数	415件																
		サ ー ビ ス 利 用 計 画 総 数	482件																
		モ ニ タ リ ン グ 報 告 総 数	619件																
		営 業 時 間	8:30～17:15																
休 日	日、祝日 12/29～1/3																		
対 象 者	障がい児																		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
214	障がい者基幹相談支援センター事業	新規	障がい者総合支援法																
(事業内容) 障害に関する総合的専門的な相談支援を行いうとともに、地域の相談支援事業所への助言、必要な情報提供、研修などを実施し、相談支援体制の機能強化を図った。また、医療的ケア児等の災害時における避難訓練を行政と協働しながら実施し、災害時支援体制構築に努めた。 今年度年間実績 <table><tr><td>総 合 的 ・ 専 門 的 相 談 支 援</td><td>430件</td></tr><tr><td>地域の相談支援体制の強化の取組</td><td>188件</td></tr><tr><td>自治体と協働した協議会の運営等による 地 域 づ く り の 取 組</td><td>135件</td></tr><tr><td>権利擁護及び虐待防止の取組</td><td>53件</td></tr><tr><td>地 域 生 活 拠 点 等 の 運 用</td><td>11件</td></tr><tr><td>災害時における障がい者(児)等への 支 援 の 協 力</td><td>18件</td></tr><tr><td>地域移行・地域定着支援の促進</td><td>32件</td></tr><tr><td>医療的ケア児等のコーディネート</td><td>7件</td></tr></table>		総 合 的 ・ 専 門 的 相 談 支 援	430件	地域の相談支援体制の強化の取組	188件	自治体と協働した協議会の運営等による 地 域 づ く り の 取 組	135件	権利擁護及び虐待防止の取組	53件	地 域 生 活 拠 点 等 の 運 用	11件	災害時における障がい者(児)等への 支 援 の 協 力	18件	地域移行・地域定着支援の促進	32件	医療的ケア児等のコーディネート	7件	営 業 日	月～金
		総 合 的 ・ 専 門 的 相 談 支 援	430件																
		地域の相談支援体制の強化の取組	188件																
		自治体と協働した協議会の運営等による 地 域 づ く り の 取 組	135件																
		権利擁護及び虐待防止の取組	53件																
地 域 生 活 拠 点 等 の 運 用	11件																		
災害時における障がい者(児)等への 支 援 の 協 力	18件																		
地域移行・地域定着支援の促進	32件																		
医療的ケア児等のコーディネート	7件																		
営 業 時 間	8:30～17:15																		
休 日	土日、祝日 年末年始																		
対 象 者	・障がいや難病がある 市民とその家族、支 援者 ・地域の相談機関、 事業所																		

令和7年度 事業報告書

担 当 課	班
スペースアれんが課	放課後等デイサービス班 生活介護班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

【放課後等デイサービス(重心児5名、重心児外10名)】

児童福祉法および法人・事業所の基本理念、放課後等デイサービスガイドラインに基づき、こどもの豊かな育ちを支援することを目的に取り組みを行った

(1) 総合的な支援

- ・ こども一人ひとりの発達段階や障がい特性に応じた支援を行い「発達支援」「家族支援」「地域生活支援・地域連携・移行支援」の視点を踏まえた支援を実施した。こどもたちの発達の可能性に着目し、将来の成長を見据えながら、生きる力の育成を目標に、5領域(「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」)の視点を踏まえ、生活や遊びを通した個別支援の実践に取り組んだ。
- ・ 家族支援の一環として「親Cafe」(保護者会)を実施し、保護者同士が悩みや経験を共有し、相互に支え合うピアサポートの機会を提供した。また、きょうだい児を含めた家族交流会「みんなでボッチャ」を定例化し、保護者同士のつながり作りを推進した。あわせて、面談や定期的な相談支援を通して、家庭との連携強化に努めた。
- ・ 機能訓練士等による「専門的支援」を実施し、こどもの障がい特性やニーズに応じて専門職(作業療法士)による評価・計画を行い、個別及び小集団の支援を行った。
- ・ 法人運営の変更に伴い、ランチおよび手作りおやつを提供を終了した。

【日中一時支援】

- ・ レスパイト利用の目的から放課後デイサービスとのすみ分けを明確にし、事業継続を図った。
- ・ 放課後等デイサービスと同一時間帯における利用受入れは令和8年3月末で終了。

【生活介護】(定員7名)

成人期の利用者に対し、楽しみややりがいを基盤にしながらか心豊かな生活を送ることができるよう支援を行った。

- ・ スペース面での課題はあるものの、利用希望者の増加に対応し、工夫しながら受け入れを行った。引きこもり傾向のある利用者やグループホームからの利用希望にも対応し安定した事業運営につなげた。
- ・ 地域とのつながり作りを目的に、地域での農作業や市の委託による記章リボンの制作作業に取り組んだ。

2 業務を推進していく場合の課題

【放課後デイサービス】

- ・ 医療的ケア児および強度行動障がい児の増加に伴い、専門職(看護師・強度行動障害支援者養成研修修了者等)の適切な人員配置とさらなる専門性の向上が求められる。
- ・ 次期センター新設に伴う組織体制の再構築や報酬改正への対応など、運営体制全体の見直しが必要である。

【生活介護】

- ・ 施設整備や環境面の課題を踏まえた運営方針の見直しを行うとともに利用希望者の受入れ体制についての検討が必要である。

3 今後の方向性

【2課共通】

- ・ 次期施設整備および組織編成に対応し、法人理念に基づいたライフステージを支える事業展開を推進する。

【放課後等デイサービス】

- ・ 国の示す障がい児通所支援の基本指針を踏まえ、中核機能である自立支援の充実を図る。あわせて遊びや体験活動、地域交流活動等、こどもが主体的に参画できる機会を拡充し、家族や地域社会・関係機関と連携した事業展開を行う。

【生活介護】

- ・ 生産活動の充実と販売機会の拡大に取り組み、利用者の意欲や達成感の向上を図るとともに成果の還元につなげる。
- ・ 利用ニーズの増加に伴い、定員数の見直しを行う。(現行の定員7名→令和8年4月から定員9名を予定)

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
214	放課後等デイサービス(障がい児・医療的ケア児)	継続	児童福祉法																
(事業内容) スペーシアれんがにおいて、障がいのある学齢期のこどもたちを、授業の終了後又は休業日に預かり、生活能力の向上のために必要な訓練、地域社会との交流促進、その他様々な社会体験を通し、こどもたちの健全育成を図ることを目的に実施した。報酬改定に合わせ、保護者のレスパイトを目的に延長支援体制を整えた。 (年間実績者数・放課後等デイサービス事業) <table><tr><td colspan="2">令和7年度</td></tr><tr><td>利 用 実 人 数</td><td>27人</td></tr><tr><td>延 べ 利 用 者 数</td><td>2639人</td></tr><tr><td>開 所 日 数</td><td>292日</td></tr><tr><td>平 均 利 用 者 数 (日)</td><td>9.0人</td></tr></table> <table><tr><td>医療的ケア児</td><td>個別サポート児</td><td>個別サポート児外</td></tr><tr><td>2人</td><td>13人</td><td>12人</td></tr></table>		令和7年度		利 用 実 人 数	27人	延 べ 利 用 者 数	2639人	開 所 日 数	292日	平 均 利 用 者 数 (日)	9.0人	医療的ケア児	個別サポート児	個別サポート児外	2人	13人	12人	営 業 日	月曜日～土曜日
		令和7年度																	
		利 用 実 人 数	27人																
		延 べ 利 用 者 数	2639人																
		開 所 日 数	292日																
平 均 利 用 者 数 (日)	9.0人																		
医療的ケア児	個別サポート児	個別サポート児外																	
2人	13人	12人																	
営 業 時 間	9:00～17:00																		
休 日	日、祝日 12/29～1/3																		
対 象 者	障がい児																		
利用定員	障がい児:10名																		

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
214	放課後等デイサービス(重症心身障がい児)	継続	児童福祉法										
(事業内容) スペーシアれんがにおいて、重度心身障がいのある学齢期のこどもたちを、授業の終了後又は休業日に預かり、生活能力の向上のために必要な訓練、地域社会との交流促進、その他様々な社会体験を通しこどもたちの健全育成を図ることを目的に実施した。医療的ケアを必要とする児童に対して看護師の人員配置を整え、より細やかなケアの提供を実施した。 (年間実績者数・放課後等デイサービス事業(重症心身障がい児) <table><tr><td colspan="2">令和7年度</td></tr><tr><td>利 用 実 人 数</td><td>11人</td></tr><tr><td>延 べ 利 用 者 数</td><td>1,171人</td></tr><tr><td>開 所 日 数</td><td>292日</td></tr><tr><td>平 均 利 用 者 数 (日)</td><td>4.0人</td></tr></table>		令和7年度		利 用 実 人 数	11人	延 べ 利 用 者 数	1,171人	開 所 日 数	292日	平 均 利 用 者 数 (日)	4.0人	営 業 日	月曜日～土曜日
		令和7年度											
		利 用 実 人 数	11人										
		延 べ 利 用 者 数	1,171人										
		開 所 日 数	292日										
平 均 利 用 者 数 (日)	4.0人												
営 業 時 間	9:00～17:00												
休 日	日、祝日 12/29～1/3												
対 象 者	重度心身障がい児												
利用定員	5人												

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態				
214	放課後等デイサービス(障がい児、医療的ケア、重症心身障がい児)共通	継続	児童福祉法				
(本人支援;専門職(作業療法士等による専門的支援) <table><tr><td>重症心身障がい児</td><td>230件/年</td></tr><tr><td>重症心身障がい児外</td><td>140件/年</td></tr></table> (外部講師による支援) ・口腔歯科センター歯科医による歯科検診(保護者同伴) ・歯科衛生士による口腔ケア及び指導(2か月に1回:6回実施) ・ストリートダンス教室(毎月1回) (主な活動行事等) ・外出(熊本城・熊本県立劇場、フードパル熊本)、ふれあいデイサービスとの交流夏まつり、キッズクラブとの交流、障がい者芸術展、クッキング、れんがのなかまたち展、OTジャーナル作品出展、保護者交流会(先輩保護者と利用保護者との交流会親cafe・ボッチャ交流)、卒業生との交流会(ようこそ先輩)、手話教室交流、地域ボランティアさんとの交流(木工教室、お話会など)		重症心身障がい児	230件/年	重症心身障がい児外	140件/年	営業日	月曜日～土曜日
		重症心身障がい児	230件/年				
		重症心身障がい児外	140件/年				
		営業時間	9:00～17:00				
		休日	日、祝日 12/29～1/3				
対象者	障がい児 重症心身障がい児						
利用定員	15人						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
214-2	放課後等デイサービス(障がい児、医療的ケア、重症心身障がい児) 共通 その2	継続	児童福祉法												
(家族への支援)		営 業 日	月曜日～土曜日												
① こどもの年齢や発達による様々な出来事や情報などに対し、必要時や定期的な面談を行い情報共有や相談を行う。		営 業 時 間	9:00～17:00												
<table><tr><td>家族支援加算</td><td>年間 116件</td></tr></table>		家族支援加算	年間 116件	休 日	土、日、祝日 12/29～1/3										
家族支援加算	年間 116件														
② 家族交流会を行い、保護者やきょうだい児のつながりづくりを行う。		対 象 者	障がい児 重症心身障がい児												
<table><tr><td>「みんなでボッチャ」家族交流会</td><td>12家族参加 (35名)</td></tr></table>		「みんなでボッチャ」家族交流会	12家族参加 (35名)	利用定員	15 人										
「みんなでボッチャ」家族交流会	12家族参加 (35名)														
(事業所や関係機関と連携した支援)															
① こどもの現在、そして将来の豊かな育ちを目的にこどもと家族を中心に、各事業所、学校、医療機関等々と連携した支援を行う															
<table><tr><td>関係機関連携加算</td><td>年間 20件</td></tr></table>		関係機関連携加算	年間 20件												
関係機関連携加算	年間 20件														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
215	日中一時支援事業	継続	合志市委託事業												
(事業内容)		営 業 日	月曜日～土曜日												
合志市在住の障がいのある小・中・高校生の預かりサービスを行った。主に保護者の就労による要望に対し、放課後等デイサービス営業時間外の早朝・夕方の利用児童の保護者就労等による預かりを目的として対応している。		営 業 時 間	7:30から9:00 17:00～9:00 一日利用												
(年間利用者数・利用児童数)		休 日	日、祝日、年末年始、長期休の土曜												
<table><tr><td></td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>利 用 実 人 数 数</td><td>14人</td></tr><tr><td>延 べ 利 用 者 数</td><td>701人</td></tr><tr><td>開 所 日 数</td><td>292日</td></tr><tr><td>平 均 利 用 者 数</td><td>2.4人</td></tr></table>			令和7年度	利 用 実 人 数 数	14人	延 べ 利 用 者 数	701人	開 所 日 数	292日	平 均 利 用 者 数	2.4人	対 象 者	障がい児		
	令和7年度														
利 用 実 人 数 数	14人														
延 べ 利 用 者 数	701人														
開 所 日 数	292日														
平 均 利 用 者 数	2.4人														
<table><tr><td>区分</td><td>行動援護対象者</td><td>その他</td><td>合計</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>6人</td><td>8人</td><td>14人</td></tr></table>		区分	行動援護対象者	その他	合計	令和7年度	6人	8人	14人	利用定員	10人				
区分	行動援護対象者	その他	合計												
令和7年度	6人	8人	14人												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
216	生活介護	継続	総合支援法												
(事業内容)		営 業 日	月曜日～金曜日												
日常生活に必要な援助を要する障がいのある方に対し、入浴、排せつ及び食事等の介護、日常生活上の支援、創作活動、生産活動その他身体機能・生活能力向上のための機会を提供した。生産活動においては「廃物せつけん」や小物等を作り、クラッシーノ合志等で委託販売した。生産活動のほか、地域交流・社会参加の一環として地域の農園ボランティア、地域新聞によるピアノ教室など地域とのつながりを活かす取り組みを実施した。		営 業 時 間	8:30～17:30												
(年間実績者数)		休 日	土、日、祝日 12/29～1/3												
<table><tr><td></td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>登 録 者 数</td><td>13人</td></tr><tr><td>延 べ 利 用 者 数</td><td>1,472人</td></tr><tr><td>開 所 日 数</td><td>241日</td></tr><tr><td>平均利用者数(日)</td><td>6人</td></tr></table>			令和7年度	登 録 者 数	13人	延 べ 利 用 者 数	1,472人	開 所 日 数	241日	平均利用者数(日)	6人	対 象 者	障がい者		
	令和7年度														
登 録 者 数	13人														
延 べ 利 用 者 数	1,472人														
開 所 日 数	241日														
平均利用者数(日)	6人														
(障害区分別利用者数)		利用定員	7 人												
<table><tr><td>区分</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>合計</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>0人</td><td>2人</td><td>6人</td><td>5人</td><td>13人</td></tr></table>		区分	3	4	5	6	合計	令和7年度	0人	2人	6人	5人	13人		
区分	3	4	5	6	合計										
令和7年度	0人	2人	6人	5人	13人										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
216	生活介護 その2	継続	総合支援法
(主な生産活動) ・廃油石鹸、ビーズアクセサリ、エコバッグ、あいまるポーチ ・社協事務作業補助(ほっとライン同封作業) (主な販売先) ・施設販売…クラッシーノ合志、カントリーパーク ・イベント販売…キッズフェス (主な活動行事等) ・外出(ピクニック、道の駅旭志コスモス鑑賞、障がい者芸術展、なかまたち展鑑賞)クッキング、生産活動、創作活動(芸術展出展、OTジャーナル表紙募集)、美化作業(地域清掃、洗車、室内清掃)、機能訓練、買い物学習 (外部講師・ボランティアによる支援) ・歯科衛生士による口腔チェック、指導(2ヶ月に1回) ・地域講師によるピアノ教室(月2回)・地域の農園ボランティア活動(年2回)		営 業 日	月曜日～金曜日
		営 業 時 間	8:30～17:30
		休 日	土、日、祝日 12/29～1/3
		対 象 者	障がい者
		利 用 定 員	7 人

令和7年度 事業報告書

担 当 課	班
このみ坂保育園	このみ坂保育園

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 施設の運営・経営管理について

児童福祉法及び関係法令を遵守し、社内管理規定や運営方針、経理管理や職員体制（規定の職員配置）等、安定した運営を図ることができた。また、本年度においても、昨年度に引き続きチーム保育推進加算を受けることが出来た。（この加算要件として、保育士の平均経験年数12年以上の施設等条件あり）

(2) 保育内容について

- ① 本会及び園の基本理念を基盤とした保育方針のもと、保育課程を編成し、年間及び毎月の指導計画、毎週の週案を立案、日々の保育についての評価・反省・子どもの個人記録は担任だけでなく、全職員が子どもの育ちの状況を理解し、一人ひとりの気持ちに寄り添う保育を行った。
- ② 異年齢編成の保育では、協調性が養われるとともにお互いが思いやりをもって接することの大切さを学ぶ場となった。
- ③ 令和6年度より保護者が主催となり夏祭りの再開や園の年間行事で運動会・カミングホーム・デイキャンプ等を工夫することにより行事が開催できた。
- ④ 障がいの有無にかかわらず、様々な背景を持っている子どもが集団生活を楽しく過ごせるような工夫を配慮し、全職員が見守りに努め、安心して日々過ごすことができるように心掛けた。また、関係機関へ相談やケース会議を開催して連携を行った。
- ⑤ 健康管理（病気）、事故対応（ケガ・病院受診）では、保育看護を担当する看護師を中心に対応を行った。
- ⑥ 給食では、栄養士、調理師が中心となり、在園児に対し、農園で収穫した野菜を食材として使うことで子どもの食育活動にも効果があった。離乳食については、0歳児担当職員や給食委員会を中心に保護者との調整を繰り返しながら取り組みを行った。
- ⑦ 地域交流について、感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ・胃腸炎等）には配慮を行い、社協のデイサービスが行う敬老のお祝い行事に合わせ、高齢者へ歌などを披露し交流を図ることが出来た。また、シングルシルバーふれあいのつどいでは、和太鼓の披露や農園や絵本の読み聞かせを通して異世代とのつながりを強めた。
- ⑧ 「つどいの広場」は、家庭で子育て中の方の居場所としての役割を担った。給食ランチ会・おしゃべり広場・音楽遊び等、行事の再開や保護者同士のつながりからピアカウンセリングが広がるなど多くの利用があり、子育ての負担感の軽減に努めた。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) キャリアアップ制度を利用して処遇改善を図り、専門リーダーの育成を行うとともに、その役割を業務の中で遂行する。
- (2) 保育現場の負担軽減に向けた業務改善。
- (3) 保育士の人材確保・保育の質の向上。
- (4) 施設や遊具・備品等の整備を図り、計画的に改修等を行う。

3 今後の方向性

- (1) 環境の変化を踏まえ、子どもの健康管理や安全対策に取り組む。
- (2) 行事の見直しと取り組み。
- (3) 異年齢保育の充実。
- (4) 職員の業務に対する見直しと資質向上。
- (5) ICT化による業務の効率を目指す。（令和8年度目標：更改業者への情報更新作業）

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
217-220	通常保育事業 (異年齢保育・障がい児保育・体力、食育推進)	継続	児童福祉法
(1) 保育理念である「人を思い、人を育て、ヒューマニズムを育む保育園」を基本に、「優しさや思いやり」を育てることを大切にする保育に取り組んだ。社協の保育園としての特色を生かし、異世代交流、地域交流や体験活動などを日常に取り入れた。 入所児童数(定員90名) 園児総数(86～99名) ① 異年齢保育では3・4・5歳児の年齢層の子どもたちが、生活や遊びの中で人と関わりながら育ち合う学びがあった。 ② インクルーシブ保育を心掛け、支援や配慮が必要とされる子どもには保護者や関係機関との連携を図りながら対応した。 ③ 体力・食育推進は、保育者だけでなく、外部講師や地域のボランティアさんと共に活動した。 ④ 職員の平均経験年数12年以上他いくつかの条件があるが、令和7年度においても、チーム保育推進加算を受けることが出来た。	事業費	140,003千円	
	実施日時	R7年4月1日～ R8年3月31日	
	実施場所	このみ坂保育園	
	対象者	0歳児～5歳児)	
	人数	園児総数98名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
221-223	その他の事業 (延長保育・一時保育・副食費徴収事業)	継続	児童福祉法
(1) 延長保育事業 (月曜日～土曜日 18:01～20:00) 多様な就労形態に対応するため、通常保育を延長して保育を行った。新型コロナウイルス感染症5類への変更に伴い、延長保育時間を通常の20:00までとし保護者の勤務時間のニーズに合わせて対応した。 (2) 一時保育(自主事業) 子育て支援である、児童の健全育成、保護者支援等福祉の増進を図ることを目的とし自主事業で行った。 (3) 副食費徴収事業 令和元年10月から3・4・5歳児の保育料の無償化に伴い、主食費・副食費については園より口座振替で徴収を行っているが、スムーズに引落しが行えている。	事業費	4,000 千円	
	実施日時	R7年4月1日～ R8年3月31日	
	実施場所	このみ坂保育園	
	対象者	このみ坂保育園児 及び合志市内対象児	
	人数	延長利用児童54名 利用者総数1,570名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
224-225	地域子育て拠点事業(ひろば型)	継続	合志市受託事業
(つどいの広場:わかば) 地域の子育て支援として、子育て中の親子等が家庭に引きこもることなく、気軽に集える場所として、様々なイベントを通して楽しみながら交流を行っている。コロナ前に定期開催していた人気のイベント(給食体験)を再開して喜んでいただいている。 (親子交流、ピアカウンセリング、情報の提供、子どもの発達相談、季節のイベント、給食ランチ会、お茶会、音楽遊び等) 開催 月～金曜日 10:00～15:00 利用料 なし (参加状況) ・開催日242日 (行事企画回数54回 参加者769名) ・新規来園者89組 ・利用者 乳幼児1,171名 保護者1,149名 その他(ボランティア) 35名(総数2,355名)	事業費	4,250千円	
	実施日時	R7年4月1日～ R8年3月31日	
	実施場所	このみ坂保育園内 専用保育室	
	対象者	家庭内保育を行っている親子	
	人数	参加総数2,355名	



安心創造ネットワーク

社会福祉法人 合志市社会福祉協議会

□本 所 保健福祉センターふれあい館 TEL 096-242-7000
〒861-1102 熊本県合志市須屋2251番地1 FAX 096-242-6635

ホームページ <https://www.koshi-shakyo.or.jp>